DS AUTOMOBILES

DS 3 CROSSBACK E-Tense

取扱説明書

ごあいさつ

この たび はDS 3 CROSSBACK E-Teneseをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、DS 3 CROSSBACK E-Teneseの取り扱いについて記載してあります。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、ご理解を深めるようお願い申し上げます。
本書は車内に保管し、いつでも読み返すことができるようにしてください。
車に添え付けられているメンテナンスノート（整備手帳）は、携行が義務付けられています。この取扱説明書とともに常時携行していただくようお願い申し上げます。

おことわり

・この取扱説明書は、発売時点の車両仕様をもとに作成しております。DS AUTOMOBILESでは絶えず製品の改良を行っており、予告なく仕様が変更されることがあります。お客様の車両と装備品、仕様等が本書に掲載されている写真、イラスト、仕様等と細部が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。
・本書は、オプション装備を含む当モデルの全ての装備の説明を記載しております。各装備の有無については車両の仕様によって異なるため、お求めいただいた車両に装備されていない物が記載されていることがありますのであらかじめご了承ください。

重要安全情報

この取扱説明書には、車を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。
また、車を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されており、それに伴う事故を避けるためのアドバイスも含まれています。これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や車の破損などにつながる可能性があります。
危険に関する警告や注意は、車体各部に貼り付けた3種類の警告ラベルで表示されています。さらに、本書は注意に関する記載を、人身と物損に分けています。

⚠警 告

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

⚠注 意

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が傷害を負うおそれがあることを示しています。

注 意

指示に従わなかった場合、車を破損させるおそれがあることを示しています。

MEMO

取り扱い上で、重要な点や注意点、アドバイスなどを示しています。

⚠ このマークが付いた指示に従わなかった場合、人身に関わる(死亡や傷害の)おそれがあることを示しています。

車をご使用いただく前に

●消耗品、アクセサリーについて

DS 3 CROSSBACK E-Tenseに使用する消耗品やアクセサリー類は、当社の純正部品をご使用ください。市販されている汎用の消耗品やアクセサリー類の中には、車の機器に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性がある製品が含まれていることがあります。DSシリーズ車本来の安全性や耐久性を損わないためにも、純正の部品やアクセサリー類のご使用をお勧めします。

●改造について

DS 3 CROSSBACK E-Tenseの非合法な改造は、法に触れるだけでなく車の安全性や耐久性を著しく損なうおそれがありますので、むやみな改造を行わないでください。本書に記載のない整備や修理については、当社指定サービス工場にご用命ください。
この車の電気配線には、多重通信システムの制御信号が流れています。当社純正以外のナビゲーションシステムやラジオなどのアクセサリー類の取り付けのために車の配線に加工や接続をすると、EVシステムやブレーキの制御に障害を与え、その結果、機器の故障や事故に至るおそれがあります。これらの取り付けにあたっては、当社指定サービス工場にご相談ください。
また、当社が供給していないアクセサリー類の取り付けや、あるいは当社の指示に従わない装着方法によって発生した、車または機器の不具合もしくは事故などに関わる損害の補償をいたしません。

●エコノミーモード

EVシステムが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大40分間行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。
引き続きアクセサリーを使用したいときは、5分以上EVシステムが始動している状態のままにしてください。

環境・リサイクルへの取り組み

●自動車リサイクル法

自動車リサイクル法は、使用済自動車（廃車）を適正に処理して、資源の再利用を促進することでゴミを減らすことを目的に作られた法律です。
具体的には、廃車することで発生する再利用できないシュレッダーダストの削減、環境に有害な物質（フロンなど）の適正処理などを行い、環境保護に役立てるものです。そのため、車の所有者、自動車会社（輸入事業者を含む）、自動車関連事業者それぞれに役割が定められています。

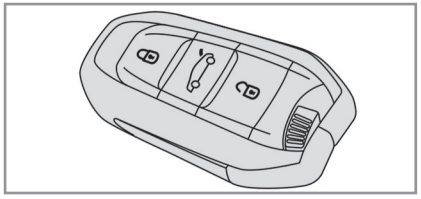
●リサイクルへの取り組み

当社では、自動車リサイクル法が制定される以前から環境保護を行うためのリサイクルに関して対応してきております。
DS 3 CROSSBACK E-Teneseは、リサイクル可能な素材を車体の多くの部分や部品に採用しています。
車の総重量のうち、90%は何らかの形でリサイクルすることが可能です。
すべてのプラスチック部品には、素材を表す記号がつけられており、簡単に取りはずしや分解ができるように考慮されています。
そのほとんどは熱可塑型を使用していますので、熔解したり粉砕して別の自動車部品として蘇らせることができます。
金属部品も同様に、100%の再利用が可能です。この中にはアルミニウムを始め、プラチナやロジウムといった貴重な金属も含まれます。
なお、アスベストやカドミウムといった有害物質は、設計の段階から使用を除外しています。

●環境への配慮

当社指定サービス工場での定期点検整備をきちんと行うことは、環境保護と公害発散の防止につながります。
当社指定サービス工場では、交換済みのオイルや油脂類、損耗部品などを正しく処理することによって環境保護のために貢献しています。
特にエアコンに使用されている冷媒ガス（フロン：HFC134a）は、地球温暖化につながるため大気に放出してはなりません。
回収や破壊などの適正な処置をとるためにも、車を廃車にするときは当社指定サービス工場にご相談ください。
環境保護は、たとえキーレスエントリーのリモコンの電池1個であっても、お客様のご協力によって実践することができます。

●スマートキー（→P.2-2）



スマートキーをリモコンとして使い、ボタンの操作で施錠・解錠することができます。

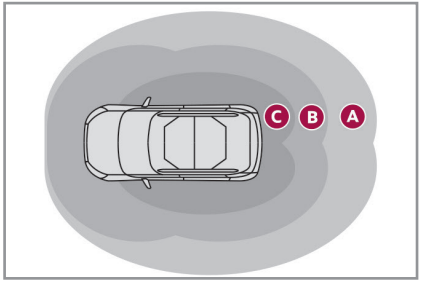
車の解錠

車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠され、すべてのドアハンドルが展開します。

車の施錠

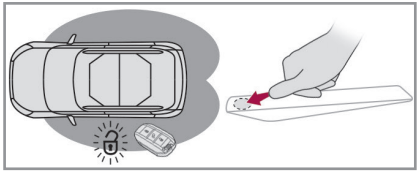
車に向けてリモコンの施錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアハンドルが格納します。

●プロキシミティキーレスエントリー機能（→P.2-2）



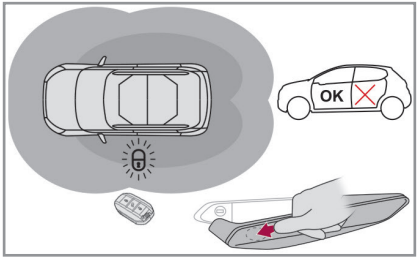
スマートキーを携帯して車両の検知エリアに入る／出ると車の解錠／施錠が自動的に行われます。

車の解錠



スマートキーを携帯してゾーン**C**に入ります。または、スマートキーを携帯してドアハンドルを軽く押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠され、すべてのドアハンドルが展開します。

車の施錠



スマートキーを携帯し、車両から離れてゾーン**B**から出ます。ブザーが鳴り、すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアハンドルが格納します。または、スマートキーを携帯して前席ドアのドアハンドルを軽く押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアハンドルが格納します。

MEMO

ゾーン**A**に入るとエクステリアサイドランプが点灯します。*

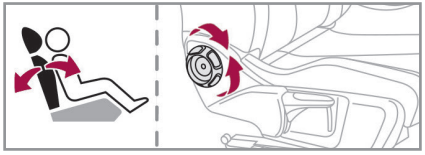
*仕様により異なります。

●フロントシートの調整（手動）（→P.1-2）

前後調整

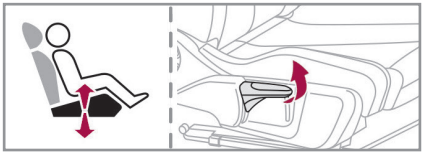
レバーを引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを放すとその位置で固定されます。

背もたれの角度調整



ダイヤルを回して背もたれの角度を調整します。

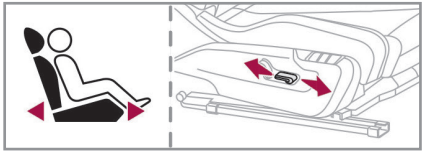
高さ調整



レバーを上下に動かして高さを調整します。

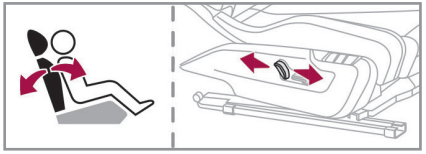
●フロントシートの調整（電動）（→P.1-3）

前後調整



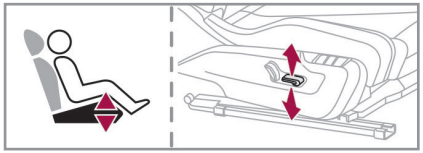
スイッチを前後にスライドして調整します。

背もたれの角度調整



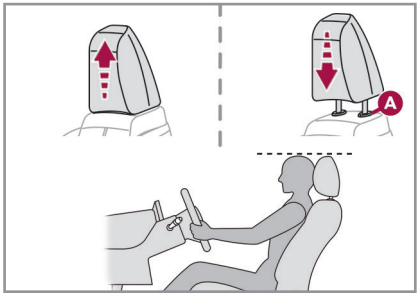
スイッチを前後に倒して背もたれの角度を調整します。

高さ調整



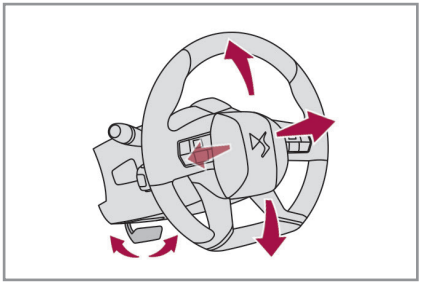
スイッチを上下に動かして高さを調整します。

●フロントヘッドレストの調整（→P.1-4）



ヘッドレストの上端と乗員の頭の上が揃うように、ヘッドレストを上下に動かして調整します。
下げるときは、ラグ**A**を押しながらヘッドレストを押します。

●チルト・テレスコピックステアリング（→P.3-5）

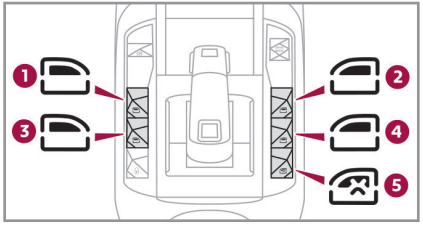


1. ロックレバーを手前に引き、ステアリングのロックを解除します。
2. ステアリングホイールの高さや奥行きを調整します。
3. ロックレバーを押し下げて、ステアリングをロックします。

⚠警 告

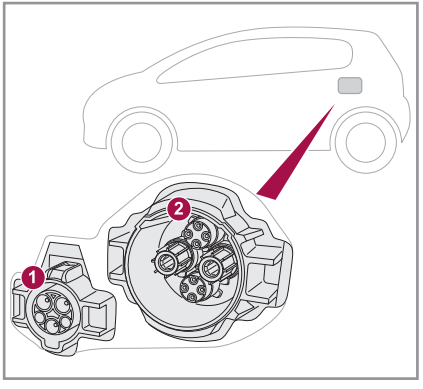
ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

●パワーウィンドウ（→P.2-14）



①：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
②：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
③：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
④：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
⑤：リアウィンドウキャンセルスイッチ

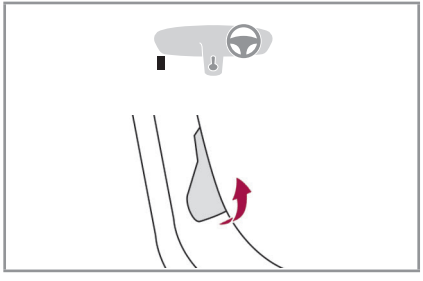
●充電ポート（→P.7-18）

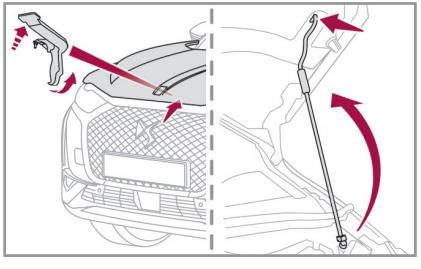


ドアを解錠すると、充電ポートリッドも連動して解錠されます。充電ポートリッドの後ろ側を押して開きます。
リチウムイオンバッテリーを充電するときは、充電コネクターを3kW／6kW普通充電ポート①または急速充電ポート②に接続します。

①：3kW／6kW普通充電ポート
②：急速充電ポート

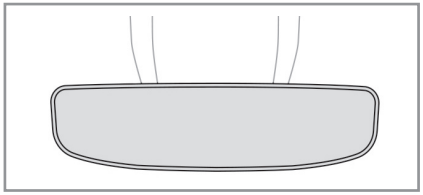
●ボンネット（→P.2-18）





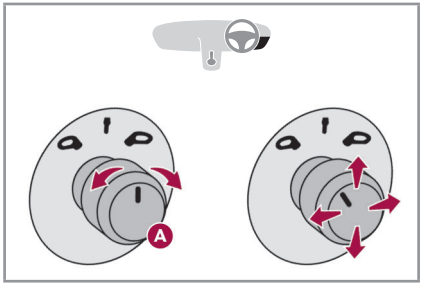
1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネット下のロックレバーを引き上げてから、ボンネットを持ち上げます。
3. 支柱をキャッチに固定します。

●バックミラーの調整（→P.1-8）



ミラーを動かして、後方がよく見えるように角度を調節します。
このミラーは、周囲の明るさに応じて自動的にミラーの明るさを調整します。

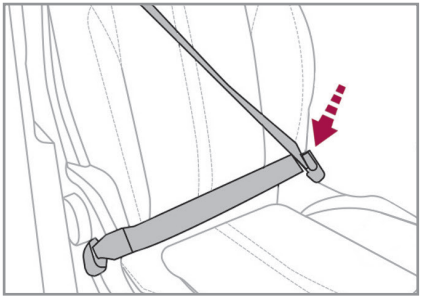
●ドアミラーの調整（→P.1-7）



1. スイッチAを左または右に回して調整するミラーを選択します。
2. スイッチAを上下左右に動かして、角度を調整します。

スイッチAを下側に回すと、ミラーが格納されます。
スイッチAを上側に回すと、ミラーが展開されます。

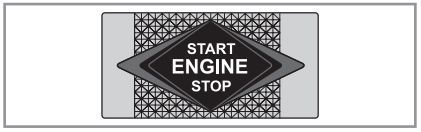
●シートベルト（→P.1-11）



水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。

バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

●EVシステムの始動（→P.3-2）



スマートキーが車内にあるときに、EVシステムを始動および停止することができます。

始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. シフトポジションが**P**になっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら**ENGINE START/STOP**スイッチを押します。
   ブザーが鳴り、**READY**インジケーターが点灯するまでブレーキペダルを踏み続けてください。**READY**インジケーターが点灯すれば、EVシステムは正常に始動しています。

停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションを**P**にします。
3. **ENGINE START/STOP**スイッチを押します。
4. EVシステムが停止し、ステアリングがロックされます。

EVシステムを停止した後、車から降りる前に、次のことを確認してください。

・シフトポジションが**P**になっている
・**READY**インジケーターが消灯している

ENGINE START/STOPスイッチのポジション

オフ

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションまたはスタートポジション（EVシステムが始動している状態）のとき、ブレーキペダルを踏まずに**ENGINE START/STOP**スイッチを押すとオフになります。
ハザードランプが使用できます。

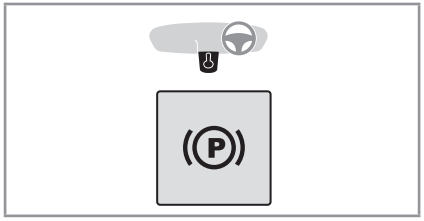
アクセサリーポジション

ENGINE START/STOPスイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずに**ENGINE START/STOP**スイッチを押すと、アクセサリーポジションになります。
警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

スタートポジション

ブレーキペダルを踏みながら**ENGINE START/STOP**スイッチを押すと、スタートポジションになります。
EVシステムが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

●エレクトリックパーキングブレーキ (→P.3-12)



手動操作

EVシステムの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはEVシステムが始動している状態のときに、ブレーキペダルを踏みながらパーキングブレーキスイッチを押し込んでから放すと、パーキングブレーキが解除されます。

自動操作

EVシステムを停止すると、パーキングブレーキが自動的にかかります。

アクセルペダルを踏んで発進すると、パーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

AUTO (P) OFF この表示灯が点灯しているときは、パーキングブレーキの操作をすべて手動で行う必要があります。

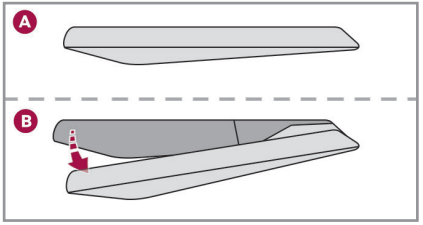
⚠警 告

エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。**ENGINE START/STOP**スイッチがアクセサリーポジションの状態のまま、またはEVシステムが始動している状態のままで、お子さまを車内に残して車を離れないでください。

MEMO

EVシステムが始動した状態のままで車を離れるときは、手動でパーキングブレーキをかけてください。

●リトラクタブルドアハンドル (→P.2-10)



リトラクタブルドアハンドルは車両の施錠／解錠に合わせて自動的に格納**A**／展開**B**します。

格納する

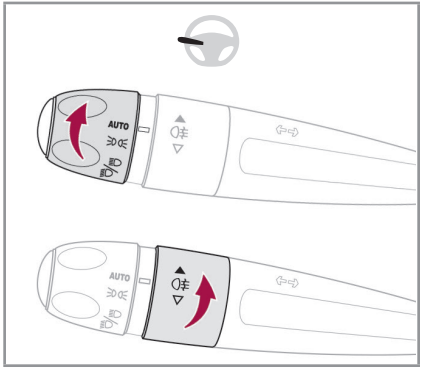
施錠すると格納します。また、リトラクタブルドアハンドルを軽く押すと格納されます。

時速3km以上で走行すると、自動的に格納します。

展開する

解錠すると展開します。また、内側ドアハンドルを引いてドアを開ける、センターコンソールのロックボタンを押すか引く（施錠状態のとき：1回、解錠状態のとき：2回）と展開します。

●ライトスイッチ（→P.4-26）



ヘッドランプ

AUTO　オートライトモード

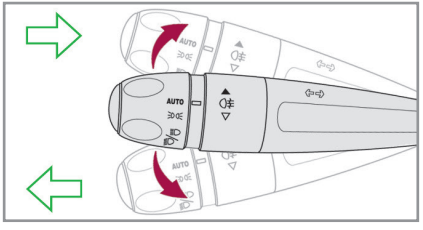
ポジションランプが点灯します。

ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

リアフォグランプ

リアフォグランプが点灯／消灯します。

●方向指示器（→P.4-35）

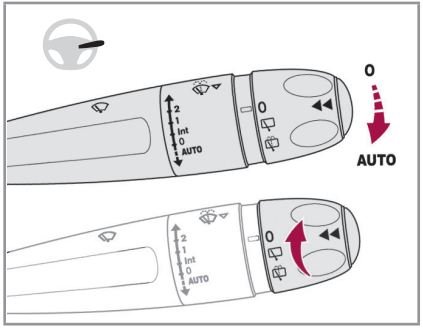


ライトスイッチレバーを上下に動かします。

MEMO

ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

●ワイパー／ウォッシャー（→P.4-36）



フロントワイパー

AUTOモードにするには、ワイパーレバーを押し下げます。
ワイパーレバーをもう一度押し下げるとAUTOモードが解除されます。
ワイパーレバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射されます。

リアワイパー

停止

間欠作動

ウォッシャー作動

●タッチスクリーン（→P.5-9）

基本操作

← 前のページに戻ります。

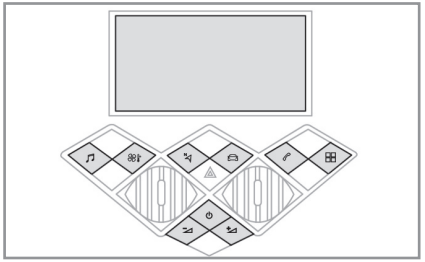
MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

OK 設定項目の変更後、変更画面にある**OK**にタッチして設定を有効にします。

さらに詳細な設定項目がある場合には、アイコンにタッチします。

メニュー



オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

エアコンの設定画面を表示します。

ナビゲーションを表示します。（装着車のみ）
Apple CarPlay や Android Auto™のマップを表示します。（使用中のみ）*

車の機能の設定を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。
Apple CarPlay や Android Autoの画面を表示します。（使用中のみ）

画像ファイルを表示します。

スイッチを押すとミュート（消音／停止）になります。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにした後しばらくの間は、スイッチを押すとタッチスクリーンの画面が点灯します。

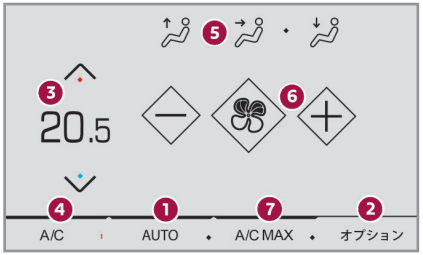
音量を調節します。

タッチスクリーンの画面上部のアイコンにタッチすると、タッチスクリーンの設定画面を表示します。

MEMO

●タッチスクリーンに指3本でタッチすると、メニューが表示されます。
●一部の画面は指で左右にスワイプ（タッチした状態で指を滑らせる）することで画面を切り替えることができます。

●オートエアコン（→ P.5-3）



①：オートモードの設定

AUTO　オートモードを作動／停止します。

②：オプション

オプション　オートモードの作動モードを変更できます。

SOFT　風量を制限して作動します。

オートモード

NORMAL　通常の風量で作動します。

オートモード

FAST　風量を多めにして作動します。

オートモード

③：温度の設定

ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。

④：エアコンオン／オフ

A/C　冷房・除湿機能を作動／停止します。

⑤：吹き出し口の切り替え

吹き出し口が切り替わります。

⑥：風量の調整

＋　風量が増減します。

－

⑦：急速冷房

A/C MAX　室温を急速に冷やしたいときに使用します。

エアコンの全機能のオフ

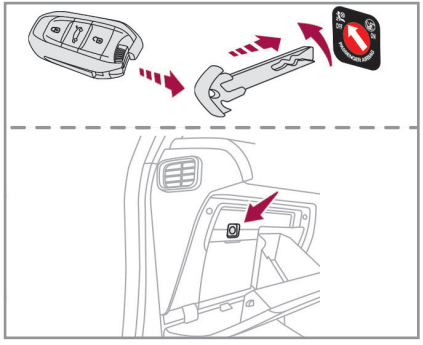
OFF　ダッシュボードのアイコンにタッチすると、エアコンの全機能が停止します。

内／外気の切り替え

ダッシュボードのアイコンにタッチして、内気モード／外気モードを切り替えます。

*仕様により異なります。

●助手席エアバッグキャンセルスイッチ（→P.1-24）



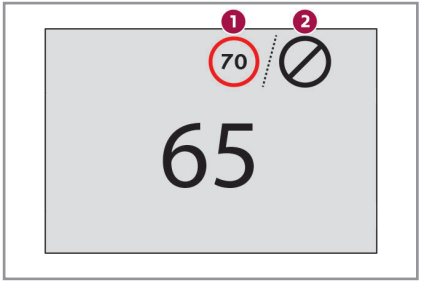
1. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
2. グローブボックスを開きます。
3. スマートキーから緊急用キーを取り出します。
4. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込みます。
5. 助手席に大人が乗車しているとき、もしくは助手席に前向きチャイルドシートを取り付けた場合はONにします。助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けた場合には、必ずOFFにします。
6. そのまま緊急用キーを抜きます。

●シートベルト着用／非着用ディスプレイ（→P.1-12）

インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯が点灯または点滅して、シートベルトの着用状況を表示します。

①：助手席側シートベルト警告灯
②：運転席側シートベルト警告灯
③：後席左側シートベルト警告灯
④：後席中央シートベルト警告灯
⑤：後席右側シートベルト警告灯

●トラフィックサインインフォメーション*（→P.3-31）

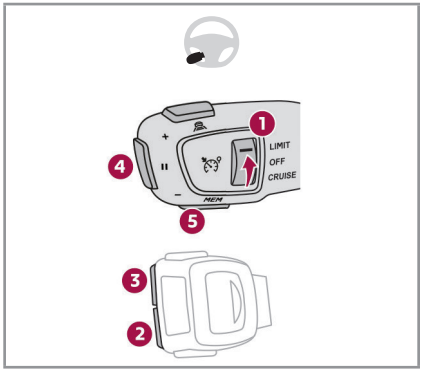


①：速度規制標識の制限速度表示
②：速度規制標識の速度規制区間終了の表示

速度規制標識を認識して、インストルメントパネル内のディスプレイに制限速度を表示します。
表示された制限速度は、スピードリミッターやアクティブクルーズコントロールの走行速度に設定することができます。
また、進入禁止の道路標識を認識し、車両が進入禁止区域に進入したと判断したときは、進入禁止の道路標識とともにメッセージを表示します。

*仕様により異なります。

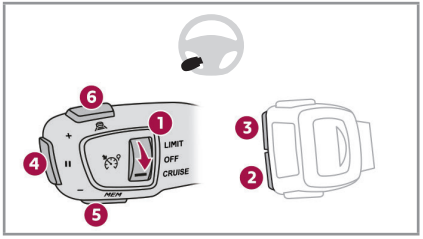
●スピードリミッター（→P.3-52）



①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：設定速度の減少
③：設定速度の増加
④：システムの作動／停止
⑤：トラフィックサインインフォメーション*の表示速度受付

EVシステムが始動している状態のときに設定してください。

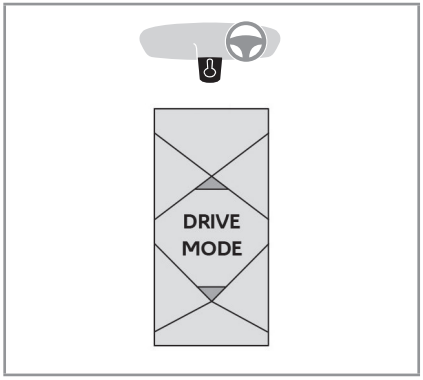
●アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）*（→P.3-35）



①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：速度設定／設定速度の減少
③：速度設定／設定速度の増加
④：システムの一時停止／復帰／自動ブレーキによる車両停止後の再発進許可
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付
⑥：車間距離の表示と設定

速度の設定およびシステムの作動は走行中に可能です。

●ドライブモード*（→P.3-11）



走行状況に応じて、センターコンソールにあるボタンを押してドライブモード（Sport（**スポーツ**）／Normal（**ノーマル**）／Eco（**エコ**））を選択することができます。
選択するドライブモードはインストルメントパネルに表示されます。

MEMO

EVシステムを始動する度に自動的に**Normal**（**ノーマル**）が選択されます。

目　次

安全なドライブについて
安全装置について
運転装置について
もしものとき
その他

第１章　安全に運転するために

フロントシート…… 1-2
ミラー…… 1-7
リアシート…… 1-9
シートベルト…… 1-11
チャイルドシート…… 1-14
エアバッグ…… 1-23
走行する前に…… 1-29
冬季の取り扱い…… 1-29
保安炎筒…… 1-31

第２章　各部の開閉のしかた

スマートキー…… 2-2
イモビライザー（盗難防止システム）…… 2-8
ドア／ドアロック…… 2-10
パワーウィンドウ…… 2-14
チャイルドセーフティ…… 2-16
ボンネット…… 2-18
テールゲート…… 2-19

第３章　運転装置の使いかた

EVシステムの始動…… 3-2
ステアリング／ホーン…… 3-5
車両接近通報装置…… 3-5
ドライブセレクター…… 3-6
ドライブモード…… 3-11
エレクトリックパーキングブレーキ…… 3-12
ヒルスタートアシスタンス…… 3-16
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）…… 3-17
レーンキープアシスト…… 3-20
アクティブセーフティブレーキ…… 3-25
トラフィックサインインフォメーション…… 3-31
アクティブクルーズコントロール
（ストップ&ゴー機能付き）…… 3-35
レーンポジショニングアシスト…… 3-45
スピードリミッター…… 3-52
ブラインドスポットモニター…… 3-55
フロント／バックソナー…… 3-58
バックカメラ…… 3-61

第 4 章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル……4-2
ヘッドアップディスプレイ……4-6
警告灯類／表示灯類……4-8
サービスインジケーター……4-21
オドメーター……4-22
パワーインジケーター……4-23
リチウムイオンバッテリー残量計……4-24
マニュアルチェック……4-25
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）……4-25
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）……4-26
ワイパー／ウォッシャー……4-36
間接式タイヤ空気圧警告……4-40
ドライブコンピューター……4-41

第 5 章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー……5-2
タッチスクリーン……5-8
E-Tenseリモートコントロール……5-17
ルームランプ……5-20
インテリア……5-22
ラゲッジルーム……5-26

第 6 章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ……6-2
内装のお手入れ……6-3
モータールームの点検……6-5
電球の交換……6-9
ヒューズの交換……6-12
電費の改善について……6-13
推奨交換時期……6-14
推奨油脂類……6-14
推奨点検時期……6-15

もしものとき

パンク修理キット……7-2
12Vバッテリーが上がったとき……7-8
けん引されるとき……7-14
EV車の充電システム……7-15

車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示……8-2
外形寸法……8-3
アクセサリー類……8-4
索引……8-6
付録……8-11

安全のために

重大な事故や車両火災におよぶおそれのある内容と回避方法、一般的な注意事項などについて記載してあります。重要な内容ですので、必ずお読みください。

点検整備のお願い

点検整備を必ず実施してください

- 車を安全に使用していただくため、お客様の責任において日常点検と法定定期点検の実施が法律で義務付けられています。点検内容については、別冊の「**メンテナンスノート**」をお読みください。
- 日常点検を行い異常があるときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。（音、振動、臭い、水・油漏れなど）

走行する前の注意

燃えやすいものは積まないでください

- 燃料が入った容器や可燃性のガスが入ったスプレー缶などは積まないでください。炎天下の駐車で室内が高温になったときや万一のとき、引火や爆発するおそれがあります。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

運転席足元・運転席下にはものを置かないでください

・ 空き缶などを置くと、ブレーキペダルやアクセルペダルに挟まり、走行中にペダル操作ができなくなるおそれがあります。思わぬ事故につながりますので、絶対に行わないでください。

フロアマットはしっかりと固定して使用してください

・ 運転前にフロアマットが正しく取り付けられていることを点検してください。また、フロアマットを重ねて敷くことはしないでください。フロアマットがペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがあります。

スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください

・ 誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ダッシュボードなどにものを取り付けたり、置かないでください

・ ダッシュボードなどにものを置いたまま運転すると、視界の妨げや移動して安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

・ また、アクセサリー品を取り付けたり、シールを貼り付けると、エアバッグ作動の妨げやエアバッグ作動時にアクセサリー品が飛ばされて、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

荷物は確実に固定してください

・ 助手席や後席に荷物を積むと、急ブレーキのときなど荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。荷物はできるだけラゲッジルームに積み、アクセサリー品（オプション）のネットやベルトを使用して固定してください。

・ 荷物の積み重ねによる後方視界の妨げがないようにしてください。

走行するときの注意

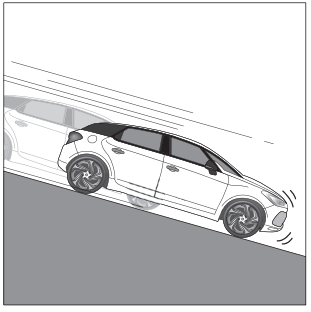
走行中は ENGINE START/STOP スイッチを押さないでください

・ 走行中に **ENGINE START/STOP** スイッチを押し続けるとEV システムが停止して、ブレーキ倍力装置が働きません。そのためにブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなるために思わぬ事故につながるおそれがあります。非常に危険なので、絶対に行わないでください。

長い下り坂では回生ブレーキ * を併用してください

・ ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。坂の勾配に応じて、シフトポジションを **B** にして回生ブレーキを併用してください。ただし、満充電に近いときや低温時は回生ブレーキの機能が制限されます。必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。

* 回生ブレーキ
走行中にガソリン車のエンジンブレーキの代わりにモーターを使用して減速するブレーキ



安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

車を移動するときは EV システムを始動してください

・ EV システムが始動していないときは、ブレーキの効きが悪くなります。ハンドルがロックされて操作ができなくなることもあります。
車を少し移動させるときでも、必ず EV システムを始動してください。
車を押したり傾斜を利用して車を移動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください。また、エレクトリックパーキングブレーキのオートマチック機能を解除している場合は、パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください

・ ブレーキパッドが早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください

・ ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を、運転中に操作することは法律で禁止されています。
・ ハンズフリーであっても注意力が散漫になり、事故の原因につながるおそれがありますので、車を安全な場所に停車して使用することをお勧めします。

カーナビゲーションシステムなどの操作は停車時に行ってください

・ 運転中にカーナビゲーションシステムなどを操作しないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

雨天の走行は次のことに注意してください

・濡れた路面では、タイヤのグリップが低下して滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけ、急加速、急ブレーキ、急激な回生ブレーキ、急ハンドルを避けてください。

・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、ハイドロプレーニング現象 * を起こしてハンドル操作やブレーキが効かなくなります。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起きやすいので注意してください。

* ハイドロプレーニング現象
水たまりを高速で走行しているときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、車がコントロールできなくなる現象。

・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、周囲の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで繰り返しブレーキペダルを軽く踏んでください。

冠水した道路の走行は避けてください

・冠水した道路を走行すると、EV システムが停止するだけでなく、漏電やショートなどの車両故障につながるおそれがあります。

やむを得ず冠水した道路を走行するときは次のことをお守りください。ただし、冠水した道路の水面が15cm を超えるような場合は走行しないでください

・時速10km 以上で走行しない

・車を停止したり、EV システムを停止したりしない
冠水した道路から脱出したら、できるだけ早く安全な場所で、ブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキの湿りを乾かしてください。車の状態に不安がある場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

霧で見えにくいときはフォグランプを併用してください

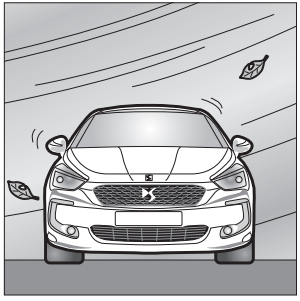
・霧で視界が悪いときは、昼間でもヘッドランプ（下向き）とフォグランプを点灯して、周囲の車や歩行者に車の存在を知らせてください。走行は、センターライン、ガードレール、前の車のテールランプを目安にして十分な車間距離をとってください。
・オートライトシステムは、周囲が明るい昼間はヘッドランプが点灯しません。手動で点灯してください。

雪が降っているときの滑りやすい路面に注意してください

・雪道や路面が凍結しているときは、非常に滑りやすくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。冬用タイヤまたはタイヤチェーン／ネットを使用していても急加速、急ブレーキ、急激な回生ブレーキ、急ハンドルを避け、十分な車間距離をとり低速で走行してください。

横風が強いときに走行が乱れないように注意してください

・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に下げてください。
・特にトンネルの出口、橋や土手の上、大型車の追い越しや追い越されたときなどには、横風の影響を受けやすいので注意してください。

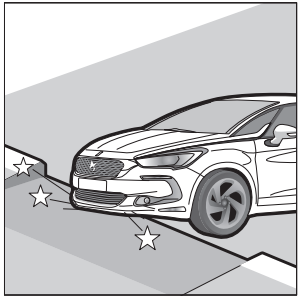


高速道路に入る前にリチウムイオンバッテリーの残量などを確認してください

・リチウムイオンバッテリーの残量が十分にあるかを確認してください。
・タイヤの空気圧を確認してください。空気圧不足で高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するおそれがあります。
・万一のために、停止表示板（停止表示灯）を車に用意しておいてください。（法律で義務付けられています。）

段差ではフロントスポイラーのこすれに注意してください

・段差のある場所は、速度を落としてゆっくりと進んでください。路面の状態によっては、フロントスポイラーがこすれることがあります。
・フロント側から進入すると車止めにこすれたり当たることがありますので注意してください。



車を後退させるときは周囲に注意してください

・バックミラーやカメラには確認できない死角があります。車を後退させるときは、前もって車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

お子さまを乗せるときの注意

お子さまは後席に座らせてください

・お子さまを助手席に乗せないでください。走行中にお子さまの動作が気になったり、運転装置へのいたずらなど事故につながるおそれがあります。
・また、万一の事故などで助手席の SRS エアバッグが作動したときに、ケガをするおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用させてください

・お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを膝の上に抱いての乗車は、絶対にしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときにお子さまを支えることができず、ケガをするおそれがあります。
シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨にかからないなどで正しく着用できない小さなお子さまには、ベビーシートやチャイルドシートを使用してください。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

チャイルドシートは後席に正しく取り付けてください
(→P.1-14)

- チャイルドシートの使用は6歳未満のお子さまに法律で義務付けられています。6歳以上のお子さまでもシートベルトが正しく着用できないときは、チャイルドシートを使用してください。お子さまの安全のため、短時間の走行でも身体に合った当社純正品のベビーシートやチャイルドシートを使用してください。
- 取り付け方法は、シートに付属している取扱説明書に従って後席に正しく取り付けてください。乳幼児用のベビーシートは進行方向に対して後ろ向きに、チャイルドシートは前向きに取り付けてください。
- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席の位置を一番後ろに移動して前向きに取り付けてください。ベビーシートタイプで後ろ向きに装着するときは、助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にしてください。衝撃でケガをしたり、最悪の場合死亡するおそれがあります。キャンセルスイッチがない車では、進行方向に対して後ろ向きに装着しないでください。
- 当社純正のベビーシート、チャイルドシートの詳細については、当社販売店にお問い合わせください。

ドア、ウィンドウなどの開閉は大人が操作してください

- ドアやウィンドウなどの開閉は、お子さまに操作させないでください。開閉時に手や首、足などを挟み、思わぬケガをするおそれがあります。また、同乗者が操作するときも十分に注意してください。
- 後席にいるお子さまが操作できないように、ウィンドウを後席スイッチで開けられなくし、車内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティ機能を必ず使用してください。

ウィンドウから手や顔を出さないでください

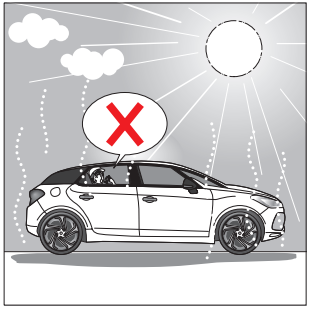
- 急ブレーキ時に窓枠にぶつけたり、車外の障害物に当たったりして、思わぬケガをするおそれがあります。

シートの可動部分に気をつけてください

- お子さまが、リアシートやフロントシートの隙間に手を入れたり、可動部分に触れたりして思わぬケガにつながるおそれがあります。同乗者の方が十分に注意をしてください。
- 走行中は必ずベビーシートやチャイルドシートに座らせるか、シートベルトをさせてください。

お子さまだけを車内に残さないでください

・車から離れるときは、EV システムを停止し、スマートキーを携行して必ずお子さまも一緒に降ろしてください。
・お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・炎天下の車内は50℃以上の高温になり、脱水症状、熱射病などの生命の危険に関わるおそれがあります。



EV 車特有の音や振動について

EV 車は通常の車のようにエンジン音や騒音がしないことがあります。安全に注意して運転してください

・時速30km 以下で走行中は、車両の接近を周囲の歩行者に知らせるために、車両接近通報装置が作動し音を鳴らします。車両接近通報装置が作動していても周囲の騒音が大きいときなどは、歩行者が車両の接近に気が付かないことがあります。周囲の状況に十分に注意して走行してください。
・次のような音や振動が発生することがありますが、異常ではありません。
  ・EV システム始動時に聞こえるリチウムイオンバッテリーリレーの音
  ・ブレーキペダルを踏み込んだときに聞こえるバキュームポンプの音
  ・走行時に聞こえるロードノイズや風切り音
  ・坂道発進時の振動や音

駐停車するときの注意

ハンドルをいっぱいに回した状態を続けないでください

・車庫入れなどで、EV システムが始動している状態のままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。

車から離れるときは EV システムを停止し、施錠してください

- シフトポジションを P にしてから EV システムを停止し、パーキングブレーキがかかっていることを確認して、ドアを施錠してください。無人で車が動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道では、シフトポジションを P にし、さらにタイヤに輪止めをしてください。
- 貴重品を車内に残さないでください。施錠しても盗難につながるおそれがあります。
- お子さまや介護の必要な方だけを車内に残さないでください。車の発進や車内の高温／低温による思わぬ傷害などが発生するおそれがあります。

炎天下での駐車時は、ライター、スプレー缶、炭酸飲料などを車内に放置しないでください

- 車体やシート、ステアリングなどが高温となり、やけどをするおそれがあります。駐車後に乗車されるときは注意してください。
- 車内にお子さまやペットなどを乗せたまま車から離れることは、絶対におやめください。車内の温度が50℃を超えることもあり、大変危険な状態になります。
- ライターやスプレー缶、炭酸飲料などは、自然発火や破裂を起こすおそれがあります。車内に放置しないでください。
- ガスライターを床やシートのすき間に落としたままにすると、シートを動かしたときに着火して火災につながるおそれがあります。
- メガネをダッシュボードなどに置いたままにすると、変形やひび割れのおそれがあります。また、レンズにより火災を起こすことがあり危険です。

仮眠するときは必ず EV システムを停止してください

- 無意識にドライブセレクターレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして車が発進するおそれがあります。
- 車内で仮眠するときは、EV システムを停止し、助手席または後席でしてください。

モータールーム内に可燃物を放置しないでください

- モータールーム内に燃えやすい物を置き忘れないように注意してください。引火のおそれがあります。
- 車両を長時間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝などがないことを確認してください。もし走行中に焦げた臭いを感じたときは、直ちに停車して確認してください。

走行中に異常を感じたとき

警告灯が点灯・点滅したときは、直ちに停車して適切な処置をしてください

・ 走行中に警告灯が点灯や点滅したときは、直ちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。(「第4章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた」を参照)
そのまま走行すると故障の原因になるだけでなく、重大な事故につながるおそれがあります。
・ 走行中は車の状態に気を配り、いつもと異なる音や臭い、振動などを感じたときは、直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。
・ 故障などでやむを得ず路上に停車するときは、ハザードランプの他に停止表示板を使用して、他の車両に停止していることを知らせてください。

走行中にタイヤがパンクやバーストしたときは、あわてずに安全な場所に停車してください

・ 走行中、タイヤに異常があったときは、あわてずにハンドルをしっかり握り、徐々に速度を下げて安全な場所に停車してください。
急ブレーキや急ハンドルは、車のコントロールができなくなるおそれがあります。

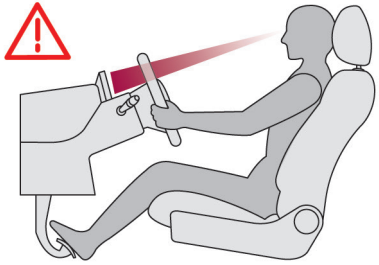
走行中に床下やタイヤなどに大きな音や衝撃を感じたときは車の下部を点検してください

・ 直ちに安全な場所に停車し、車の下部を点検してください。ブレーキ液やリチウムイオンバッテリーの液漏れ、サスペンション部品、タイヤ関係、駆動系部品などの変形や損傷は、そのまま使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷を見つけたときは、運転を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

シート位置についての注意

走行する前に、正しい運転（乗車）姿勢がとれるシート位置に設定してください

- 運転操作を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 万一衝突したときにシートベルトや SRS エアバッグ、ヘッドレストなどの乗員保護装置の効果が軽減されて、重大な傷害を受けるおそれがあります。



運転者

- 背中が背もたれから離れないように、深く腰掛けます。
- フロントウィンドウから前方がよく見える位置に、シートの高さを調整します。
- ペダルが十分踏み込めるように、シートの前後位置を調整します。
- 膝がダッシュボードに当たらないようにします。
- 背もたれは倒しすぎない角度に調整します。
- ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。
- ランバーサポートの調整ができる場合は、背中に合うように張り出しを調整します。
- ステアリングホイールは、ハンドルを握ったときにひじが伸びきらず、少し曲がっている状態で、メーター類が見やすい位置に調整します。

安 全 装 置 に つ い て

走行する前にミラーの位置を調整してください

・後方が確実に確認できるように、ドアミラー、バックミラーを正しく調整してください。
・走行中に調整すると、運転操作を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は正しい運転姿勢を保ってください

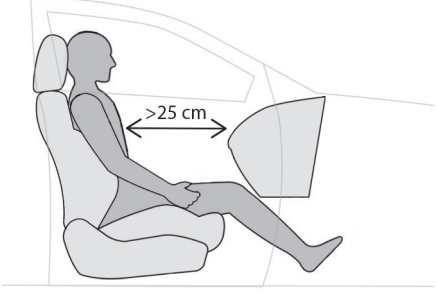
・走行中は正しい運転姿勢を保ち、ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。

他の乗員

・背中が背もたれから離れないように、深く腰掛けます。
・胸部がダッシュボードから25cm 以上離れるように、シートの前後位置を調整します。
・ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。

走行中は背もたれを倒しすぎないようにしてください

・急ブレーキをかけたときや万一衝突したときにシートベルトなどの乗員保護装置の効果が十分に発揮されず、身体がシートベルトの下に潜り込んだり、シートベルトが首にかかり傷害を受けるおそれがあります。



安 全 装 置 に つ い て

シートベルトについての注意

シートベルトは正しく着用してください

・乗車した全員が正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しなかったり、正しく着用していないと、万一衝突したときにプリテンショナー *、フォースリミッター ** 付きシートベルト、エアバッグなどの乗員保護装置の機能が適切に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

* プリテンショナー
前方からの強い衝撃を受けたときに、瞬間的にシートベルトを引き込み身体を固定して乗員保護装置の効果を高める装置。

** フォースリミッター
シートベルトに一定以上の衝撃を受けたときに、身体にかかる衝撃を減少させる装置。

・肩部ベルトを肩に十分にかけ、首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。また、腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にしてください。

妊娠中の方や疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください

・医師に注意事項をご確認ください。
・腰部ベルトが腹部にかからないように、腰骨のできるだけ低い位置にしてください。また、肩部ベルトは腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

損傷のあるシートベルトは直ちに交換してください

・損傷したシートベルトを使用すると、衝突したときなどに十分な効果を発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトやプレートを、シートやドアに挟まないでください。傷が付くおそれがあります。
・万一重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見受けられなくても、シート、シートベルトを交換してください。
・プリテンショナー付きシートベルトの取りはずしや交換・廃棄は当社指定サービス工場以外では行わないでください。

SRS エアバッグについての注意

・SRSエアバッグシステムは（SRS＝Supplemental Restraint System）補助拘束の事です。
・SRSエアバッグは、センサーが一定以上の衝撃を感知したときにのみ作動します。衝突などで車が大きく変形しても、衝撃吸収ボディ構造により衝撃が段階的に吸収されたときは、SRSエアバッグが作動しないことがあります。

フロントエアバッグの効果は正しい姿勢とシートベルトとで発揮します

・SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助するシステムで、シートベルトに代わるものではありません。このシステムはシートベルトを必ず着用してください。
・シートに正しく座りシートベルトを正しく着用していないと、衝突などで身体が前方に放り出されたときに SRS エアバッグシステムがふくらみ、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。
・運転者とステアリングホイールとの間には、適当な距離を確保してください。あまり近すぎると、エアバッグの効果が低下したり、エアバッグそのものでケガを負うおそれがあります。
・ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。他の位置（12時の位置や真ん中、内側）を持つと思わぬケガにつながったり、エアバッグが作動した際に重大なケガを負うおそれがあります。

フロントエアバッグは車両前方からの衝撃を緩和します

・SRS フロントエアバッグは、**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、または EV システムが始動している状態のときに、車両前方から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けると瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を緩和するシステムです。

フロントエアバッグの保護性能が発揮されるために次の点に注意してください

・運転者が顔や胸をステアリングに近付けすぎると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい運転姿勢で座り、ステアリングに近付きすぎないようにしてください。
・助手席に乗車する人は、シート前端に座ったり、ダッシュボードに足を乗せていたりすると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい乗車姿勢で座り、ダッシュボードに近付きすぎないようにしてください。

エアバッグの近くにものを置いたり、ステッカーなどを貼り付けないでください

・ステアリングを交換したり、ステアリングのパット部にステッカーなどを貼り付けないでください。
・助手席側エアバッグの周辺（ダッシュボード）にカー用品や芳香剤を置いたり、傘などを立てかけないでください。
・エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされて、ケガをするおそれがあります。

SRS サイドエアバッグ／カーテンエアバッグについての注意

・SRSサイドエアバッグ／カーテンエアバッグは、車両側面から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を分散、緩和させる乗員保護装置です。

サイドエアバッグ／カーテンエアバッグは車両側面からの衝撃を緩和します

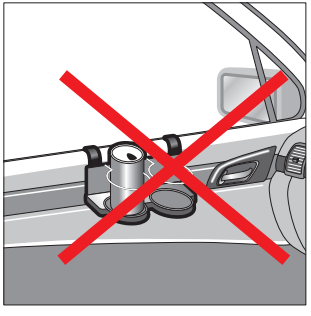
・ サイドエアバッグは、前席は背もたれの側面（ドア側）、後席はリアピラーに収納されています。カーテンエアバッグは、ドアピラー部からルーフにかけて収納されています。
・ シートの側面周囲には、ものを置かないでください。
・ シートにシートカバーや上着をかけたり、ベルトを巻きつけないでください。

ドアやウィンドウにもたれかからないでください

・ SRS サイドエアバッグ収納部に手、足、顔を近付けたり、ドアやウィンドウにもたれかかるような姿勢でシートに座らないでください。エアバッグがふくらむときに強い衝撃を受け、非常に危険です。

ドアやサイドエアバッグの近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けないでください

・ SRS サイドエアバッグ収納部の近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされてケガをするおそれがあります。



運 転 装 置 に つ い て

ABS と ESC ／ ASR についての注意

ABS（アンチロックブレーキシステム）を過信しないでください

・ ABS は Antilock Brake System の略で、急ブレーキをかけたときに車輪がロックするのを防ぎ車の操縦性を確保しようとする装置で、制動距離を短くするための装置ではありません。
・ 次のような路面では、ABS なしの車よりも制動距離が長くなることがあります。速度は控えめにして車間距離を十分にとってください。
  ・ 砂利道や雪道、凍結路などを走行しているとき
  ・ タイヤチェーン／ネットを装着しているとき
  ・ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
  ・ 石だたみなどの悪路を走行しているとき

ESC ／ ASR（エレクトロニックスタビリティコントロール／トラクションコントロール）を過信しないでください

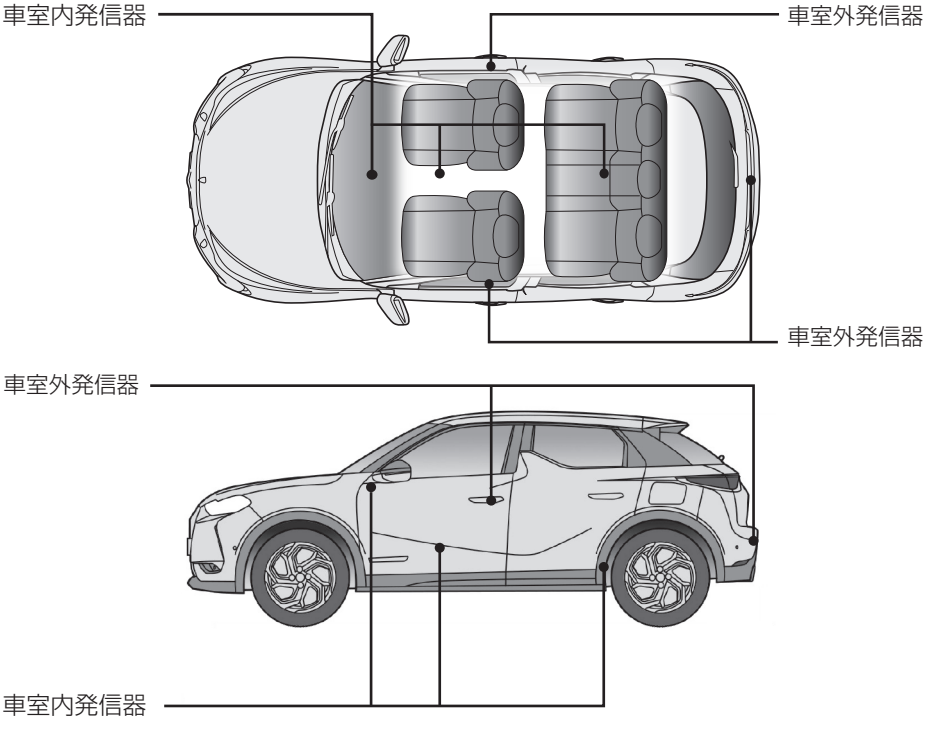
・ESCシステムは、滑りやすい道路での旋回時などに、車の動きと運転者が意図するコースとに著しい差が発生したとき、自動的にブレーキや電動モーターの出力を制御して車の走行安定性を確保しようとするシステムです。
・ASRは滑りやすい道路での発進や急加速時に生じる空転を防ぎ、車の走行安定性を向上させようとするシステムです。
・ESC／ASRが作動した状態でも、車の走行安定性には限界があります。ESC／ASRを過信せずに速度を下げて、車間距離を十分にとって安全運転を心がけてください。

スマートキーについての注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、スマートキー検知用の車室内発信器・車室外発信器から約22cm 以内に近付かないようにしてください

・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

アンテナ位置



ドライブセレクターレバーの操作についての注意

クリープ現象に注意してください

・ クリープ現象とは、EV システムが始動している状態のときにシフトポジションを P または N 以外にすると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出すことです。
・ 停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキとアクセルのペダル位置に注意してください

・ ペダルの踏み違いは、思わぬ事故につながります。EV システムを始動する前にペダルの位置を確認してください。
・ また、アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。

発進前／停車後のドライブセレクターレバーの操作はブレーキを踏んでください

・ EV システムを始動するときはブレーキペダルをしっかり踏み込んでください。
・ 発進時のドライブセレクターレバーの操作は、ブレーキペダルをしっかり踏み込んで行ってください。急発進して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アクセルペダルはゆっくり踏んでください

・ アクセルペダルを急激に踏み込むと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中はシフトポジションをNにしないでください

・ 走行中にシフトポジションを N にすると、回生ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ オートマチックトランスミッション内のオイルの潤滑が悪くなり、故障するおそれがあります。

後退した後はシフトポジションを N に戻してください

・後退した後は、すぐシフトポジションを R から N に戻す習慣をつけてください。

シフトポジションは目で確認してください

・シフトポジションを変更するときは、必ずシフトポジションを目で確認してください。

駐車はシフトポジションを P にしてください

・駐車するときはシフトポジションを P にして、パーキングブレーキをかけてください。クリープ現象などで無人で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込み、急発進したりし、事故につながるおそれがあります。

無用な空ぶかしはしないでください

・万一、シフトポジションが P、N 以外にあると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クルーズコントロールについての注意

クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをオフにしてください

誤ってクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドライビングサポート機能についての注意

アクティブセーフティブレーキなどのドライビングサポート各機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、路面や天候などの条件によっては作動しない場合があります。機能を過信せずに常に安全運転をお願いします。

オーバーヒートについての注意

オーバーヒートの症状について

・次のような症状が現れるとともに、インストルメントパネルのSTOP 警告灯が点灯します。
・電動モーターの出力が急に低下する。
・ボンネット（モータールーム）から蒸気が出てくる。

オーバーヒートの対応について

・ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。モータールーム内が高温になっているため、やけどなどをするおそれがあります。
・冷却水温度が下がるまで、冷却水タンクのキャップを開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出して、やけどをするおそれがあります。
・オーバーヒートを起こしたまま走行を続けると、電動モーターなどに重大な損傷を起こすおそれがあります。安全な場所に停車し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

故障したとき／事故が起きたときの注意

走行中に路上で故障したとき

・一般道では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて、車の後方に停止表示板を置いてください。
・高速道路や自動車専用道路では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、車内の乗員を安全な場所に避難させてください。次に非常点滅灯を点滅させ、車の後方に停止表示板を置いて（法律で義務付けられています）ください。

路上で動けなくなったとき

・車を移動するときは、シフトポジションを**N**にしてパーキングブレーキを解除し、安全な場所へ移動させてください。

踏切内で動けなくなったとき

・同乗者や付近の人に協力してもらい安全な場所まで押してもらってください。車を移動するときは、EV システムを始動してシフトポジションを **N** にし、パーキングブレーキは解除します。
・車を移動できないときは、乗員を安全な場所へ避難させ、直ちに踏切警報機に設置してある非常ボタンを押します。緊急を要するときは、保安炎筒を使用して列車に車が踏切内に停車していることを知らせます。

事故が起きたとき

・事故が起きてしまったときは、あわてずに次の処置をとります。

1. 続発事故を防ぐために、他の交通の妨げにならない安全な場所へ車を移動し、EV システムを停止します。
2. 負傷者がいるときは、救急車の出動を要請するとともに負傷者に応急手当を行います。
   ただし、頭部を負傷しているときは動かさないようにしますが、続発事故のおそれがあるときは安全な場所へ避難させます。
3. 警察に連絡します。
   事故が発生した場所、事故状況、負傷者の有無、負傷の程度を報告し、指示を受けてください。
4. 事故の相手があるときは、相手側の氏名や住所、電話番号、自動車保険の番号などを確認してください。
5. 車をご購入された販売店と保険会社に事故状況をご連絡ください。

その他

盗難についての注意

スマートキーは必ず携行してください

・車から離れるときは、必ずEVシステムを停止し、スマートキーを携行してください。
・また、スペアキーを車内に置いたり、バンパーや車体の一部に貼り付けておくことは、盗難のおそれがありますので絶対におやめください。

ドアやウィンドウを確認してください

・車から離れるときは、すべてのドアが正しくロックされていることを確認してください。また、ウィンドウがきちんと閉じているかを確認してください。

路上駐車は絶対におやめください

・短時間の駐車でも、いたずらや盗難を防ぐために違法な路上駐車を避け、明るく管理の行き届いた駐車場に入ることを心がけてください。

車内に現金や貴重品は絶対に置いたままにしないでください

・現金や貴重品、携帯電話、バッグ、上着などを車内に置いたまま車を離れないでください。

こんなことにもご注意を

車の改造は禁止されています

・車の改造や当社純正部品以外の使用は、車の性能が十分に発揮できないだけでなく、思わぬ事故の原因につながるおそれがあります。また、保証の適用外になるだけでなく、故障の原因になることがあります。
・電装品や無線機などの取り付け、取りはずしは、当社指定サービス工場にご相談ください。
取り付け、取りはずしが適切でないと、電子機器部品に悪影響をおよぼすだけでなく、故障や火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ハンドルの取りはずしや交換は、絶対に行わないでください。ハンドルにはSRSエアバッグが内蔵されていますので、正常に作動しなかったり不意に作動して思わぬ事故になるおそれがあります。

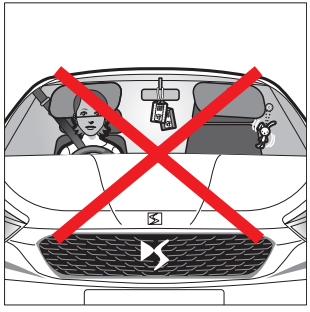
タイヤ、ホイールは指定サイズを使用してください

・タイヤ、ホイールは指定された規格の製品を使用してください。指定以外の製品を装着すると、ブレーキシステムに悪影響をおよぼしたり、走行安定性を損なうおそれがあります。
・交換は当社指定サービス工場で行ってください。

そ の 他

ウィンドウにアクセサリーを取り付けないでください

- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けると、視界の妨げになったり、走行中に飛んでケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災を起こすことがあり危険です。



冬季はタイヤの滑り止めや解凍剤などをご用意ください

- 冬季のトラブルを軽減するために、冬用タイヤチェーン／ネットや解凍剤などの準備およびバッテリーの点検を行っておくことをお勧めします。詳しくは当社指定サービス工場にご相談ください。
- 積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬用タイヤを装着してください。
  冬用タイヤに交換するときは、必ず指定サイズで同じメーカーの同じ銘柄のものを4輪に装着してください。
- タイヤチェーン／ネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に取り付けてください。
- タイヤチェーン／ネットの装着は、安全な場所に停車し、各取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  装着後は100m くらい走行して、ゆるみや車体に当たっていないかを再度確認してください。
- 12V バッテリーは、気温が低くなると性能も低下します。バッテリー液や比重、充電状態を点検してください。
- ウォッシャー液の凍結を防ぐために、夏季よりも混合割合を高くしてください。

タバコの吸殻の火は消して灰皿へ入れてください

- タバコやマッチなどの火は、確実に消して灰皿へ入れてふたを閉めてください。
- 灰皿の中に吸殻を入れすぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。思わぬ火災につながるおそれがあります。

ワイヤレス充電器についての注意

ワイヤレス充電器の電波がおよぼす影響について

・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

リチウムイオンバッテリーの充電についての注意

・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器などの医療用機器を使用されている方は、機器におよぼす影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器などの医療用機器を使用されている方は、次のことをお守りください。充電により、医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
  ・3kW ／ 6kW 普通充電するときは、短い時間であっても、充電ケーブル、コントロールユニット、充電器などに近付かないでください。
  ・急速充電器を使用したり、急速充電器を設置している場所に近付いたりしないでください。
  ・急速充電器の操作は自分で行わず、他の方にお願いしてください。
  ・充電中は車内にとどまったり、車両に近付かないでください。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用されている方は、機器におよぼす影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

オーディオについての注意

このオーディオは Bluetooth® の機能を備えています。植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、オーディオから約22cm 以内に近付かないようにしてください

- 電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

第1章　安全に運転するために

フロントシート…… 1-2
ミラー…… 1-7
リアシート…… 1-9
シートベルト…… 1-11
チャイルドシート…… 1-14
エアバッグ…… 1-23
走行する前に…… 1-29
冬季の取り扱い…… 1-29
保安炎筒…… 1-31

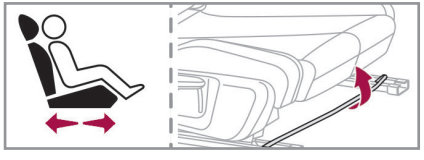
フロントシート

⚠警 告

●運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
●シートを調整するときには、身体の一部や障害物が妨げにならないように注意し、正しい位置に固定してください。

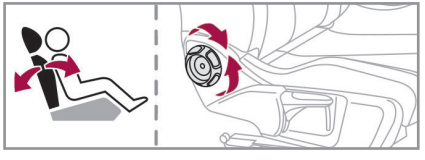
●フロントシートの調整（手動）

前後調整



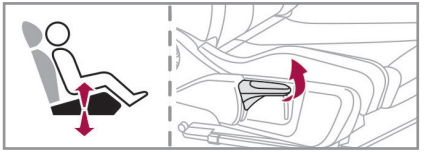
レバーを引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを放すとその位置で固定されます。

背もたれの角度調整



ダイヤルを回して背もたれの角度を調整します。

高さ調整



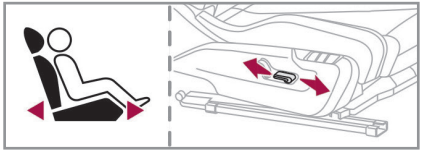
レバーを上下に動かして高さを調整します。

● フロントシートの調整（電動）

MEMO

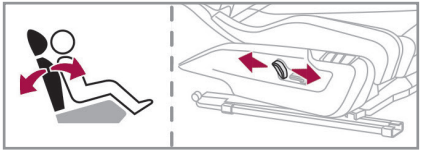
電動シートの調整は EV システムが始動している状態のときに行ってください。

前後調整



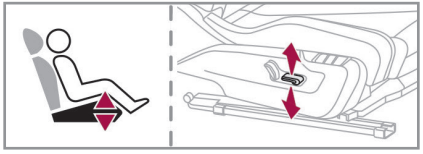
スイッチを前後にスライドして調整します。

背もたれの角度調整



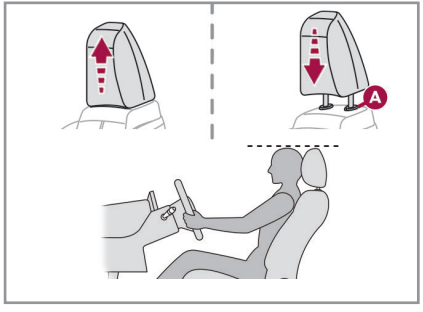
スイッチを前後に倒して背もたれの角度を調整します。

高さ調整



スイッチを上下に動かして高さを調整します。

●ヘッドレストの調整



高さ調整

ヘッドレストを引き上げると上がります。

ラグ **A** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

⚠警 告

高さはヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うように調整してください。

ヘッドレストの脱着

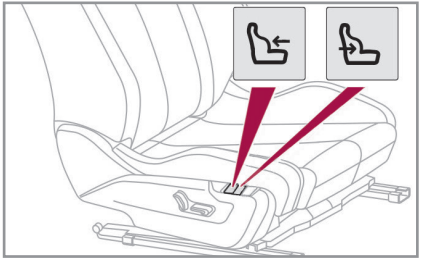
1. 背もたれを後方へ倒します。
2. ヘッドレストを最上の位置に移動します。
3. ラグ **A** を押しながら引き上げます。
4. ヘッドレストを戻すには、ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

⚠警 告

●ヘッドレストは衝突の際にはずれないように、支柱によって支えられています。

●ヘッドレストをはずして運転しないでください。

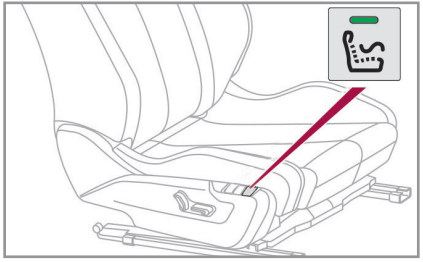
●ランバーサポート *



スイッチを押してランバーサポートの張り出しを調整します。

* 仕様により異なります。

●アクティブランバーサポート *



EV システムが始動している状態のときに使用できます。作動すると6分間ランバーサポートのぼう張、収縮が行われ、4分間のインターバルののち再度6分間作動します。1時間経過すると、自動的に停止します。

機能の作動

ボタンを押すと、インジケーターが点灯し、機能が作動します。

機能の停止

作動中にボタンを押すと、インジケーターが消灯し、機能が停止します。

●シートヒーター *

シートヒーターは運転席と助手席に装備され、EV システムが始動している状態のとき、別々に作動させることができます。
アイコンにタッチして設定した温度に自動調整されます。

表示灯が消灯：オフ
表示灯が一つ点灯：低
表示灯が二つ点灯：中
表示灯が三つ点灯：高

⚠注 意

●次の方がシートヒーターを使用する場合は、低温やけどを負うおそれがあるため注意してください。
- 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な人
- 皮膚の弱い人
- 疲労の激しい人
- 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人

●異常な過熱や低温やけどの原因となるおそれがあるため、シートヒーターを使用するときは次のことをお守りください。
- 毛布やクッションなどをかけた状態で使用しないでください。
- 長時間連続して使用しないでください。

注 意

シートヒーターの損傷を防ぐために、次のことをお守りください。
- 重い荷物をシートの上に置いたり、針金やピンなどを突き刺したりしないでください。
- シートの上で立ち上がったり、膝を突いて体重をかけたりしないでください。
- シートの上に水や飲み物などをこぼさないでください。
- シートが濡れているときはシートヒーターを使用しないでください。

MEMO

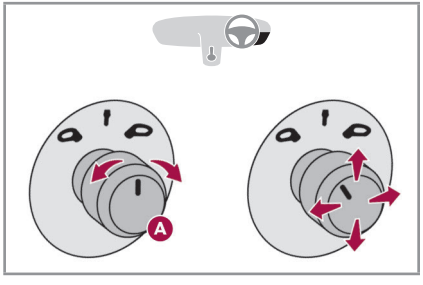
●電費を良くするためにも、以下のことをお守りください。
- シートに乗員が着席していないときは、シートヒーターを使用しないでください。
- シートが十分に温まったら、シートヒーターの温度設定を低くしてください。

●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもシートヒーターの設定は保持されます。

ミラー

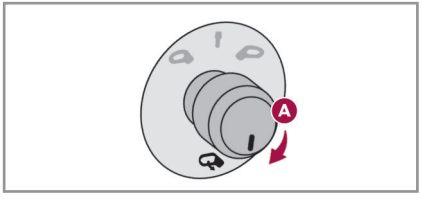
●電動ドアミラー

ドアミラーの調整



調整するミラーに合わせて、スイッチ **A** を左側または右側に回します。
ミラーはスイッチ **A** を動かして上下左右に角度が変えられます。
調整が終わったら、スイッチ **A** を中央の位置に戻します。

ドアミラーの格納と展開



スイッチ **A** を下側に回すと、ミラーが格納されます。
スイッチ **A** を上側に回すと、ミラーが展開されます。

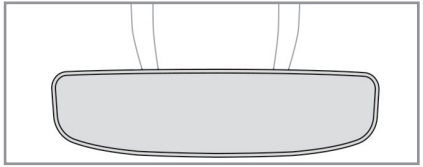
⚠注 意

- ●ミラーで見た距離感覚と実際の車との距離が異なります。車との感覚を判断する際には、この点に十分ご注意ください。
- ●電動ドアミラーを手で倒したり、戻したりしないでください。

MEMO

- ●手などを挟まないように、安全を確認してから操作してください。
- ●スイッチ **A** を使用してドアミラーを格納した場合は、車を解錠してもドアミラーは展開しません。スイッチ **A** を使用してドアミラーを展開してください。
- ●エアコンのリアウィンドウの視界確保モードは、ドアミラーの曇り取りも兼用しています。
- ●プロキシミティキーレスエントリー機能、リモコン、または緊急用キーで施錠または解錠すると、ミラーが自動的に格納または展開されます。この機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

●自動防眩バックミラー



センサーでミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。なお、シフトポジションを R にすると、後方視界を確保するために一時的に明るくなります。

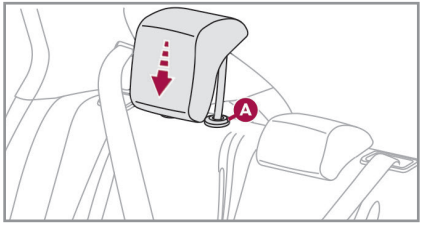
⚠注 意

安全のため、ミラーは後方がよく見える位置に調整してください。

リアシート

●リアシートヘッドレスト

高さ調整

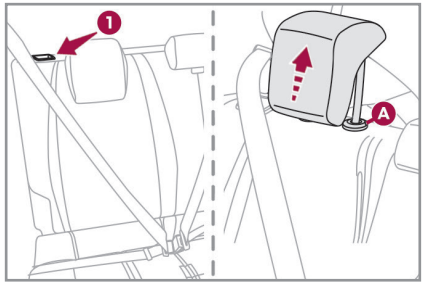


高い位置、低い位置の2段階が選択できます。
ヘッドレストを引き上げると上がります。ラグ **A** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

⚠警 告

シートに座るときは、ヘッドレストを高い位置に調整してください。

取りはずし



1. ボタン①を引き、背もたれを前方に倒します。
2. ヘッドレストを高い位置まで引き上げます。
3. ラグ **A** を押してヘッドレストを取りはずします。

⚠警 告

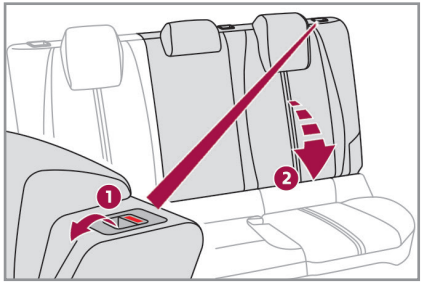
ヘッドレストを取りはずしたまま走行しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。

取り付け

ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

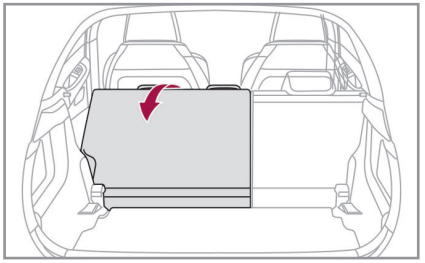
●リアシートの折りたたみ

折りたたみかた



1. フロントシートを前にずらします。
2. リアヘッドレストを低い位置にセットします。
3. 両サイドのシートのシートベルトは背もたれの脇に寄せます。
4. ボタン①を引き、背もたれ②のロックを解除します。
5. 背もたれ②を前方へ倒します。

戻しかた



1. 背もたれを起こして元の位置に戻します。
2. シートが確実に固定され、ボタンの赤い目印が見えないことを確認します。
3. 背もたれがシートベルトを巻き込んでいないか確認します。

⚠警 告

●リアシートを操作するときは、安全な場所に停車させてから行ってください。
●リアシートを元に戻すときには、背もたれがしっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定されていないと、急ブレーキや事故などのときにケガをするおそれがあります。また、ラゲッジルームの荷物が放り出され乗員がケガをするおそれがあります。

⚠注 意

リアシートを操作するときは、シートのまわりに障害物がないか確認してください。また、体が挟まれないように十分に注意してください。

注 意

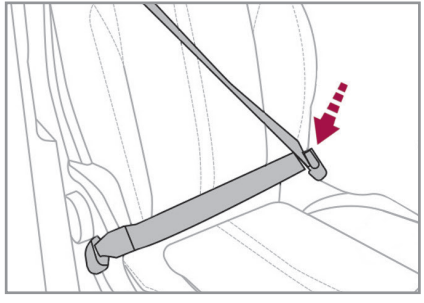
リアシートを戻すときにはシートベルトを巻き込まないようにしてください。

シートベルト

●フォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステム

車体が強い衝撃を受けたとき、瞬間的にシートベルトを引き込み、身体を拘束する効果を高める装置です。
この機構は、ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、または EV システムが始動している状態のときに作動します。
フォースリミッターは、事故の際に身体にかかるシートベルトの衝撃を和らげる働きをします。

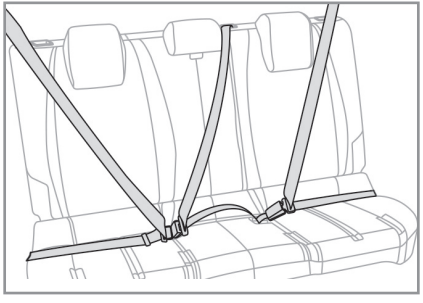
●フロントシートベルト



フロントシートのシートベルトはフォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステムです。

水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

●リアシートベルト



リアシートベルトは3点式で、両サイドはフォースリミッター付きです。

シートベルトのストラップを引き出し、バックルに差し込みます。ストラップを引っ張って、正常に装着されたかを確認します。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

●シートベルトの着用警告

インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯が点灯または点滅して、シートベルトの着用状況を表示します。

①：助手席側シートベルト警告灯
②：運転席側シートベルト警告灯
③：後席左側シートベルト警告灯
④：後席中央シートベルト警告灯
⑤：後席右側シートベルト警告灯

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはEV システムが始動している状態のとき、シートベルトを着用していないと、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。シートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯①②③④⑤が赤く点灯した場合、点灯した席のシートベルトが締められていません。シートベルトが締められていると消灯します。
後席の警告灯③④⑤は、いずれかが赤く点灯したままであっても、約30秒経過すると警告灯が消灯します。
時速20km 以上で走行中にシートベルトを着用していない、または着用していたシートベルトをはずすと、約2分間段階的に変化する警告音とともにシートベルト警告灯が点滅します。2分経過後は警告灯のみが点灯します。
上記の警告は、シートベルトを着用すると解除されます。

●着座検知

助手席の座面に圧力センサーがあり、約35kg 以上の重量が加わった状態でシートベルトを着用していないと警告灯は赤く点灯します。

MEMO

シートに重い荷物を置いて走行する場合は、シートベルトのストラップを引き出してバックルを差し込むと警告灯が点灯しなくなります。

⚠警 告

●乗車中、短時間のドライブといえどもシートベルトを必ず着用してください。
●妊娠中の女性も必ずシートベルトを着用してください。ただし、医師に注意事項をご確認願います。
●シートベルトは、正しい姿勢で身体に密着させなければ効果がありません。
●バックルを逆にしてバックプレートを差し込まないでください。また、差し込むときには、ねじらないでください。
●シートベルトは、上部を肩にしっかりとかけ、下部は腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。
●シートベルトを2人以上で共有しないでください。
●お子さまを膝の上に抱いて走行しないでください。
●シートベルトの部品をむやみにはずしたり改造しないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってプリテンションシステムを作動させると、ケガをするおそれがあります。

⚠警 告

●シートベルトにほつれや傷跡があるようなときは、当社指定サービス工場にご相談ください。部品交換が必要になることがあります。
●シートベルトを修理、交換する場合は当社指定サービス工場にご相談ください。
●シートベルトプリテンションシステムは、一度しか作動しません。作動後は必ず部品交換が必要になりますので、当社指定サービス工場で整備を受けてください。
●シートベルトプリテンションシステムは、エアバッグとは関係なく作動します。大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

注 意

シートベルトが傷んだり、絡まったりしないように、シートベルトを使用しないときは、必ず正しい位置に収納してください。

MEMO

●降車時には、シートベルトを確実に収納させてください。
●シートベルトがロックして引き出せないときは、ベルトを強く引いてから、ゆるめてください。
●シートベルトが汚れた場合は、せっけん水や洗剤で洗ってください。

チャイルドシート

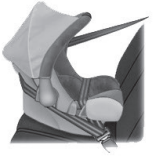
当社では、お子さまが乗る場合の安全を十分配慮して車の設計と製造を行っておりますが、お子さまが同乗するときの安全対策については、常に大人の方が十分ご注意いただくようお願いします。

⚠警 告

- 短時間の乗車でも、チャイルドシートとシートベルトを着用してください。また、思わぬ事故を防ぐためにも、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなるキャンセルスイッチや、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティをご利用ください。
- 後席のウィンドウは3分の1以上開けないようにしてください。
- お子さまの体格に合った正式に認可されたチャイルドシートを使用してください。適切なチャイルドシートにより、お子さまが守られます。
- お子さまを膝に乗せての運転はしないでください。大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- お子さまが正しい着座位置に座っていないと、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。また、エアバッグが作動した場合にも、思わぬケガを負うおそれがあります。

●3点式シートベルトを使用したチャイルドシート

新生児から体重13kg まで



このタイプのシートは、体重13kg までのお子さまに適しています。減速時に首に負担がかからないように、進行方向とは反対向きに取り付けてください。

体重15kg から36kg まで

体重15kg ～36kg までのお子さまにお勧めするタイプです。
このタイプのチャイルドシートは、後席左右（ドア側）のシートにのみ取り付けることができます。

体重15kg ～36kg までのお子さまにお勧めするタイプです。
このタイプのチャイルドシートは、助手席または後席左右(ドア側)のシートにのみ取り付けることができます。

●助手席へのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）

後ろ向きチャイルドシート
後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。

⚠警 告

後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。

前向きチャイルドシート
前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける際、助手席エアバッグの機能はキャンセルしないでください。

助手席の位置
シートの位置は一番後ろ、高さ調整機能が装備されている場合は、高さを一番高い位置に調整してください。
また、バックレストを元の位置に戻してください。

⚠警 告

●シートベルトがしっかりと締まっていることを必ず確認してください。
●レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。必要に応じて、助手席シート位置を調節してください。

●リアシートへのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）

後ろ向きチャイルドシート

後ろ向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、チャイルドシートが前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

前向きチャイルドシート

前向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

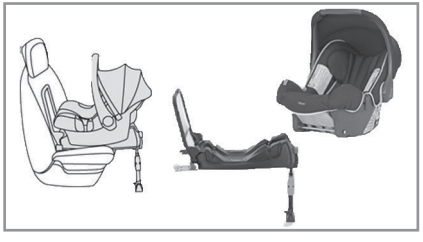
⚠警 告

- ●シートベルトがしっかりと締まっていることを確認してください。
- ●前向きチャイルドシートを取り付けるときは、背もたれとチャイルドシートの間のすき間が少なくなるようにしてください。
- ●レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。必要に応じて、前席のシート位置を調節してください。
- ●レッグサポート付きのチャイルドシートを後席中央に取り付けないでください。

＊仕様により異なります。

●ISOFIX チャイルドシート（当社推奨）

新生児から体重13kg まで



後ろ向きチャイルドシート。高さ調整が可能なバーを備えています。
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合シェルのみ使用してください。

体重9kg から18kg まで

前向きチャイルドシート、アッパーストラップ付き。
シートの角度を3段階に調節できます。
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

●i-Size チャイルドシート

i-Size チャイルドシートは、助手席*およびリアシートに設置されている、ISOFIX 規格のこの車専用チャイルドシートをワンタッチで固定するための金具に取り付けます。

●シート位置別チャイルドシート情報

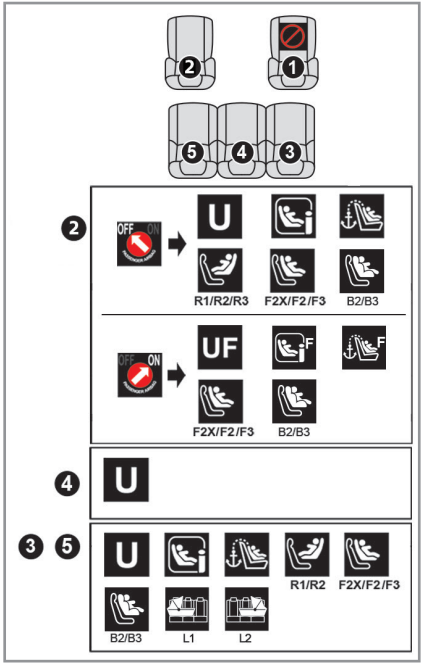
次の表は、チャイルドシートが車内のどのシート位置に対応しているかを示した一覧表です。

シート位置番号	シート位置					
	①運転席	②助手席		③後席右側	④後席中央	⑤後席左側
		エアバッグOFF[*1]	エアバッグON[*2]			
シートベルトを使用した一般的なチャイルドシート	X	○[*3]		○	○[*5]	○
i-Sizeチャイルドシート	X	○[*4]		○	X	○
トップテザーアンカーの有無	無	有		有	無	有
キャリコット	X	X		○[*6]	X	○[*6]
後ろ向きISOFIXチャイルドシート	X	R3[*4]	X	R3[*7]	X	R3[*8]
前向きISOFIXチャイルドシート	X	F3[*4]		F3	X	F3
ブースターシート	X	B3		B3	X	B3

※ i-Size チャイルドシートに対応するシート位置は、R1、R2、F2X、F2、B2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。
※ R3の固定具に対応するシート位置は、R1、R2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。
※ F3の固定具に対応するシート位置は、F2X、F2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。
※ B3の固定具に対応するシート位置は、B2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。
※チャイルドシートを取り付ける際には、確実に固定されているか確認してください。必要に応じて、ヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。
※当社では可能なかぎり、すべてのチャイルドシートにおいてリアシートに設置することを奨励しています。

○：チャイルドシートを取り付けできます。
X：チャイルドシートは取り付けできません。
有：トップテザーアンカーを装備しています。
無：トップテザーアンカーを装備していません。

*1 後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けるときは、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。
*2 助手席エアバッグの機能をキャンセルしていないときは、前向きチャイルドシートのみ取り付けることができます。
*3 助手席に取り付けるときは、バックレストを元の位置に戻し、シートを一番後ろまで下げてください。高さ調整機能が装備されている場合は、シートの高さを一番高い位置に調整してください。
*4 助手席には ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具が装備されていない場合があります。
*5 レッグサポート付きのチャイルドシートは後席中央に取り付けられません。
*6 キャリコットタイプのチャイルドシートを後席に取り付けた場合は、他のチャイルドシートを後席に取り付けることはできません。
*7 運転席のシートの高さを一番高い位置に調整してください。
*8 助手席の前後位置を一番前に調整してください。



①：運転席
②：助手席
③：後席右側
④：後席中央
⑤：後席左側

チャイルドシートは取り付けることができません。

助手席エアバッグの機能をキャンセルしている場合。

助手席エアバッグの機能をキャンセルしていない場合。

シートベルトを使用した前向きおよび後ろ向きのユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

シートベルトを使用した前向きのユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

i-Size チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

i-Size「前向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

トップテザーアンカーをシートのバックレストに装備しています。

ISOFIX「前向き」ユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

ISOFIX「後ろ向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

R1：ISOFIX 後ろ向き乳児用チャイルドシート

R2：ISOFIX 小型後ろ向き幼児用チャイルドシート

R3：ISOFIX 大型後ろ向き幼児用チャイルドシート

ISOFIX「前向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

F2X：ISOFIX 低型前向き幼児用チャイルドシート

F2：ISOFIX 低型前向き幼児用チャイルドシート

F3：ISOFIX 全高前向き幼児用チャイルドシート

ブースターシートの取り付けに適しているシート位置。

ISOFIX「キャリコット」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

L1：左向き位置用チャイルドシート

L2：右向き位置用チャイルドシート

⚠警 告

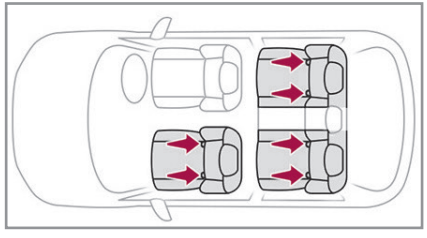
●助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。
●チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。

MEMO

チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

●ISOFIX チャイルドシートの取り付けかた

取り付け可能シート位置

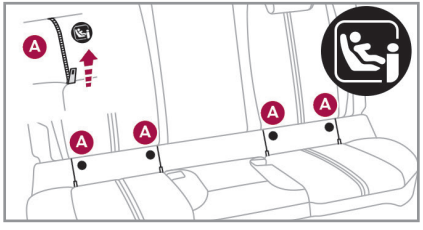


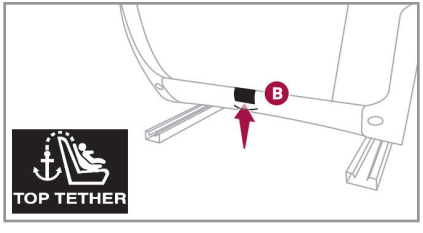
ISOFIX 規格のチャイルドシートを取り付けることができるシートを表しています。
取り付けが可能なシート位置にはそれぞれ3つの ISOFIX 規格のチャイルドシートをワンタッチで固定するための金具が装備されています。

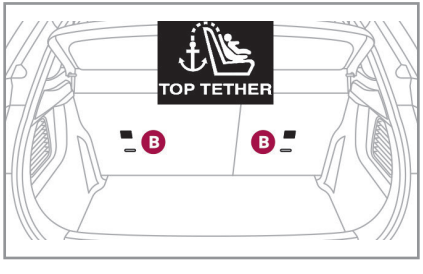
MEMO

助手席には **ISOFIX** チャイルドシートの取り付け金具が装備されていない場合があります。

取り付け金具







シートの背もたれとシートクッションの間に２つの金具 **A** があります。金具 **A** にジッパーが装備されている場合は、ジッパーを開けて使用してください。
トップテザー対応のシートは、ストラップをシート裏側のトップテザーアンカー **B** に装着してください。

取り付け方法については、チャイルドシートの説明書に従ってください。

⚠警 告

- チャイルドシートは正しく取り付けてください。事故などの場合に十分な保護ができなくなるおそれがあります。
- チャイルドシートは製造メーカーの指定に従って正しくご使用ください。チャイルドシートに指定された適正な年齢や体格を無視すると、シートベルトにより傷害を受けるおそれがあります。

MEMO

チャイルドシートを後席左側シートに取り付けるときは、後席中央シートのシートベルトを車内中央に寄せ、チャイルドシートがシートベルトの使用の妨げにならないようにしてください。

エアバッグ

エアバッグは ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、または EV システムが始動している状態のときだけ作動します。
エアバッグは致命的な事故の際にフォースリミッター付きシートベルトを補助して乗員を最大限守るように設計されています。
万一の際、エアバッグシステムが急激な減速を感知してそれがある到達点にまで達していたら即座にシステムが起動して乗員の保護を行います。
その直後エアバッグはしぼんで乗員が脱出しやすい空間を確保します。
エアバッグはシートベルトが十分フォローできる範囲内の衝撃では開きません。

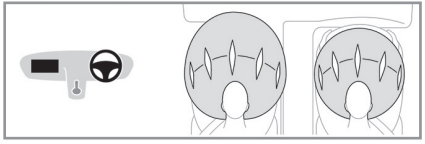
⚠警 告

展開後のエアバッグ構成部品は熱くなっておりますので、やけどを負う可能性があります。

MEMO

展開後のエアバッグはガスが抜けてすぐしぼむようにできています。このガスには若干の刺激性があります。

●フロントエアバッグ



運転席エアバッグはステアリング中央部に収納されています。
助手席エアバッグはダッシュボード内に収納されています。助手席エアバッグキャンセルスイッチが OFF のときは展開しません。

⚠警 告

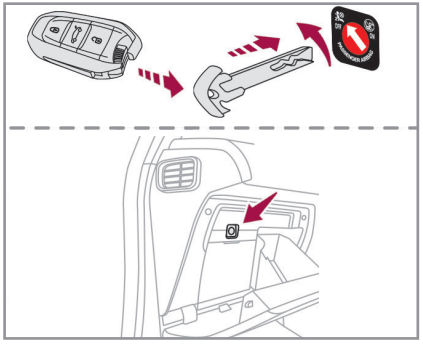
●ステアリングのスポーク部を握って運転したり、センターパッド部に手を置いて運転しないでください。
●助手席に座る人は、ダッシュボードに足を乗せないでください。
●ステアリングをはずしたり、物を突き刺したり、激しく物を当てないでください。

⚠警 告

●ステアリングホイールと助手席ダッシュボードには、エアバッグが組み込まれています。正しく作動させるために次のことをお守りください。
- エアバッグの組み込まれた箇所にカバーをかけたり、ステッカーなどを貼らないでください。
- 助手席側のダッシュボードの上に足や物を置いたり、立てかけたりしないでください。エアバッグがふくらむときに置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。
- エアバッグや近くにある部品をむやみにはずさないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってエアバッグを作動させるとケガをするおそれがあります。
- 喫煙中にエアバッグが作動するとケガややけどをするおそれがあります。

●ステアリングホイールやダッシュボードに近付きすぎる乗車姿勢では、作動したエアバッグによりケガをするおそれがあります。

●助手席エアバッグキャンセルスイッチ



チャイルドシートを進行方向とは逆向きに助手席へ取り付けるときは、助手席のエアバッグが作動しないようにします。これはエアバッグが作動してふくらんだときの衝撃からお子さまを守るためです。

ON

助手席に大人が着席しているときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを **ON** にします。助手席エアバッグが作動します。チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けないでください。

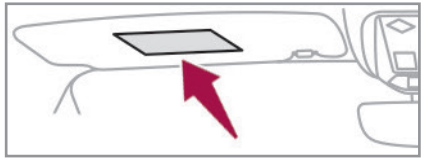
作動中は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、または EV システムを始動すると、シートベルト着用／非着用ディスプレイに警告灯が約1分間点灯します。

OFF

チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けたときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にします。助手席エアバッグは作動しません。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
2. グローブボックスを開きます。
3. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込み、**OFF** の位置にします。
4. そのまま緊急用キーを抜きます。

キャンセル中は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、または EV システムを始動すると、シートベルト着用／非着用ディスプレイに警告灯が点灯します。

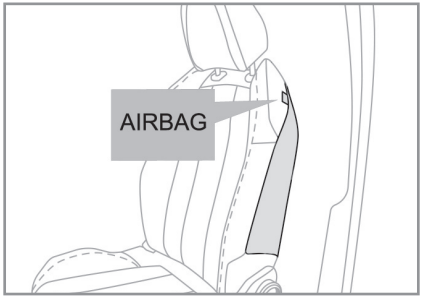


助手席サンバイザーに警告ラベルが貼り付けられています。

⚠警 告

作動停止設定をしていない前側エアバッグで保護されている座席には、**絶対に**チャイルドシートを後ろ向きに装着しないでください。**お子様の死亡**または**重症**の原因になることがあります。

●サイドエアバッグ



前席のサイドエアバッグは背もたれ側面（ドア側）に収納されています。後席のサイドエアバッグはリアピラーに収納されています。

サイドエアバッグは、横からの衝撃に対してのみ左右が独立して展開します。

⚠警 告

●シートカバーは当社が推奨するものだけを使ってください。
●背もたれにアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
●後席のサイドエアバッグがふくらむときに、ドア側のリアシート座面や、折りたたんだリアシートのシートバックの上に置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。
●ドア側に近付きすぎた座りかたをしないでください。

●カーテンエアバッグ

ドアピラー部から天井にかけて収納されており、横からの衝撃に対し前席と後席の乗員を保護するために左右が独立して展開します。

⚠警 告

●天井やピラーにアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
●天井に取り付けられているグリップハンドルをはずさないでください。カーテンエアバッグが機能するための一部になっています。

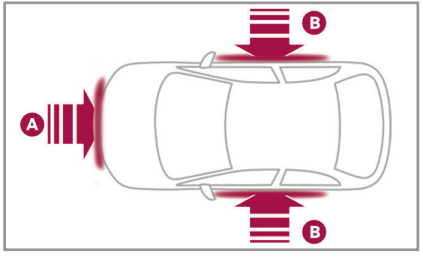
●故障しているときは

インストルメントパネル上の警告灯が点灯します。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

エアバッグ警告灯が点灯しているときは、後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けないでください。
当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●エアバッグの作動条件



A. フロント衝撃ゾーン
B. サイド衝撃ゾーン

フロントエアバッグの作動条件

フロント衝撃ゾーン **A** に、車両前方から後方へ縦方向の強い衝撃を水平に受けたときに、運転席エアバッグと助手席エアバッグが連動して作動します。
助手席エアバッグの作動を解除しているときは、助手席エアバッグは連動して作動しません。

サイドエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーン **B** に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、衝撃を受けた側が作動します。

カーテンエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーン **B** に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、サイドエアバッグと連動して作動します。

⚠警 告

- ●車両への衝撃の強さは、衝突時の車速や衝突した障害物によって異なります。
- ●車両側面への衝撃や衝突が弱いとき、および横転、転覆したときは、エアバッグが作動しないことがあります。
- ●正面衝突したとき、または、追突されたときは、サイドエアバッグやカーテンエアバッグは作動しません。
- ●エアバッグ単独では衝撃を吸収する効果が十分ではありません。必ず、シートベルトを正しく着用してください。
- ●エアバッグシステムの改造は絶対に行わないでください。

MEMO

エアバッグは一度しか作動しません。フロントエアバッグ、サイドエアバッグやカーテンエアバッグが作動した場合は、シートや内装部材、コントロールユニットなどの交換が必要になります。事故の後は、必ず当社指定サービス工場で点検や部品の交換を行ってください。

走行する前に

●タイヤの点検

空気圧の確認
タイヤの空気圧は、スペアタイヤも含めて毎月1回ないし長距離を走行する前に点検してください。
適正値は、助手席側のドアピラー部に表示されています。表示されている値は、タイヤの温度が低いときの値です。空気圧はタイヤの温度が上昇すると増加しますので、暖まっている状態で空気圧が高いからといって空気を抜かないでください。

間接式タイヤ空気圧警告灯（→ P.4-40）
車には、タイヤの空気圧に大きな変化があった場合に警告をする機能がついています。警告灯が点灯したら、直ちに空気圧を点検してください。また、空気圧を調整した後は必ず初期化をしてください。

外観の点検
タイヤの接地面や両サイドに、著しい損傷や亀裂、釘や針金などの異物が刺さっていないかを点検してください。また、タイヤの接地面に部分的な異常摩耗がないかも点検してください。

スリップサイン
タイヤには、摩耗の限度を示すスリップサインが設けられています。タイヤの表面とスリップサインが同じ高さになったら、新品と交換してください。

冬季の取り扱い

●冬季用タイヤ
積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬季用タイヤを装着することをお勧めします。
冬季用タイヤに交換するときは、必ず納車時に装着されていたタイヤと同じサイズのものをご使用ください。
当社販売店では、車に適した性能の冬季用スタッドレスタイヤも用意しております。
スタッドレスタイヤは、車のバランスを保つために4輪全部に装着してください。
雪道や凍結した道路では、スタッドレスタイヤでも万全ではありません。運転には十分ご注意ください。

●スノーチェーン、スノーネット

スノーチェーン、スノーネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に装着してください。
取り付けは、平坦な安全な場所で、それぞれの取扱説明書に従って確実に行ってください。
チェーンやネットの装着後は、100m 程度走行してゆるみや車体への当たりがないかを確認してください。
当社販売店では、それぞれのタイヤに合わせた専用チェーンやネットを用意しております。

MEMO

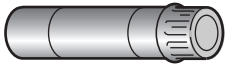
市販されているタイヤチェーンの中には、サイズが合っていても装着できないものがあります。

スタッドレスタイヤやスノーチェーンは、当社販売店でお求めください。

●その他

- 冬季には、12V バッテリーに高い負荷がかかります。12V バッテリーは常にフル充電にしてください。
- 非常に冷え込んだ天候のときは、パーキングブレーキが凍結することがあります。温度が非常に低い日は、パーキングブレーキの使用を避け、シフトポジションを P にして輪止めをかけてください。
- ライト類や方向指示器などは、冬季は非常に汚れやすくなります。定期的に清掃するように心がけてください。
- キーシリンダーには、潤滑剤を使用して注油しておいてください。
- ドアのゴム製シールには、凍結を防ぐためにシリコン潤滑油を塗付します。
- 空気取り入れ口は、いつもきれいに保つようにしてください。
- 雪隔け時には特に車が汚れます。また、融雪剤には塩分を含んでいるものがあります。こまめに車全体を洗浄し、車体の下やホイールアーチ部もよく洗ってください。

保安炎筒



車室内に備えつけてあります。
踏み切りや高速道路などの危険な場所で故障したときに使用します。
使用方法は、保安炎筒に記載してあります。あらかじめよく読んでおいてください。
発炎時間は約5分間です。
保安炎筒に表示してある有効期間が切れる前に、新品をお求めになり交換してください。

⚠警 告

●お子さまに触らせないでください。いたずらなどによる発火で、思わぬ事故になるおそれがあります。
●ガソリンなどの可燃物の近くでの使用は危険です。また、炎を顔や体に向けるとやけどの危険があります。

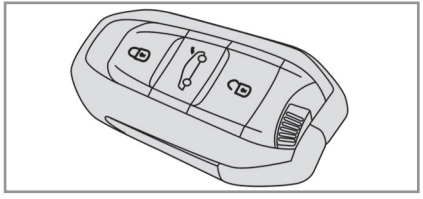
⚠注 意

●非常用信号としてのみご使用ください。
●トンネル内ではハザードランプを使用してください。トンネル内で使用すると、煙により視界が悪くなり危険です。

第2章　各部の開閉のしかた

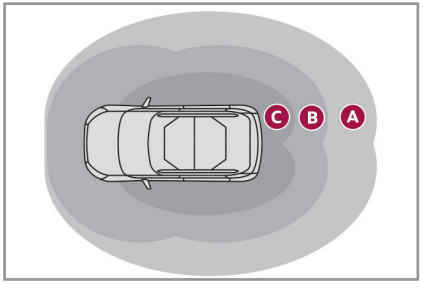
スマートキー…… 2-2
イモビライザー（盗難防止システム）…… 2-8
ドア／ドアロック……2-10
パワーウィンドウ……2-14
チャイルドセーフティ……2-16
ボンネット……2-18
テールゲート……2-19

スマートキー



DS 3 CROSSBACK E-Teseには、スマートキーを携帯しているだけで、ドアやテールゲートの解錠／施錠やEVシステムの始動ができる、プロキシミティキーレスエントリー機能が装備されています。
プロキシミティキーレスエントリー機能は、スマートキーを携帯して車両の検知エリアに入る／出るとドアやテールゲートの解錠／施錠が自動的に行われます。
また、スマートキーをリモコンとして使い、ボタンの操作で施錠／解錠することもできます。
スマートキーには緊急用キーが付いています。

●プロキシミティキーレスエントリー機能の作動範囲



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能の検知エリアはゾーン**A***、ゾーン**B**、ゾーン**C**に分けられます。

ゾーン**A***：車両から約3mの範囲です。検知エリアの外側からゾーン**A**に入るとエクステリアサイドランプが点灯します。
ゾーン**B**：車両から約2mの範囲です。車両から離れてゾーン**B**から出ると自動的に車両が施錠されます。
ゾーン**C**：車両から約1.5mの範囲です。ゾーン**C**に入ると自動的に車両が解錠されます。

プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能はタッチスクリーンの設定でオン／オフできます。

注 意

検知エリアにスマートキーがある場合は盗難に注意してください。

MEMO

スマートキーは微弱な電波を使用しています。以下の場合は、正常に作動しなかったり、不安定な動作になったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているとき
- スマートキーが金属に接していたり、覆われたりしているとき

*仕様により異なります。

●解錠

解錠の仕様を、以下の2つから選択することができます。

1. 通常解錠モード
   すべてのドアおよびテールゲートを同時に解錠する（充電ポートリッドも解錠）
2. 選択解錠モード
   最初の操作で運転席ドアのみ解錠する（充電ポートリッドも解錠）。次の操作でその他のドアおよびテールゲートを解錠する

設定の変更はタッチスクリーンで行います。

MEMO

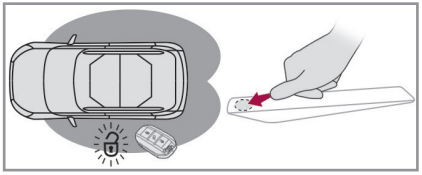
初期設定は通常解錠モードになっています。

●通常解錠モード

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。
すべてのドアのドアハンドルが展開します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオンの場合は、スマートキーを携帯してゾーンCに入ります。または、スマートキーを携帯してドアハンドルを軽く押します。
すべてのドアおよびテールゲートが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

●選択解錠モード

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの解錠ボタンを1回押します。運転席ドアのみが解錠され、運転席ドアのドアハンドルのみが展開します。
もう1度解錠ボタンを押すと、その他のドアおよびテールゲートが解錠され、その他のドアのドアハンドルが展開します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する

プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオンの場合は、スマートキーを携帯して運転席側のゾーンCに入ります。または、スマートキーを携帯して運転席ドアのドアハンドルを軽く押します。
運転席ドアのみ解錠され、運転席ドアのドアハンドルのみ展開します。
スマートキーを携帯して助手席ドアのドアハンドルを軽く押すと、すべてのドアおよびテールゲートが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

MEMO

- ●解錠するとハザードランプが数秒間点滅します。ドアミラーは最初の解錠と同時に展開します。
- ●解錠した後、30秒以内にドアまたはテールゲートを開かないと、自動的に再度施錠されます。
- ●解錠の仕様が選択解錠モードに設定されているときは、スマートキーが解錠操作するドア側（運転席ドアまたは助手席ドア）の検知エリアにないと、プロキシミティキーレスエントリー機能を使用した解錠はできません。
- ●スマートキーがプロキシミティキーレスエントリー機能のゾーン**B**の範囲内にあるとき、ドアの操作をしないで15分以上経過すると、プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオフになります。また、ブザーが鳴り、すべてのドアとテールゲートが施錠されます。車両のロックを解除するには、リモコンの解錠ボタンを押すか、いずれかのドアハンドルを軽く押します。

●テールゲートの解錠

リモコンを使用する

テールゲートオープナーボタンを長押しします。テールゲートが解錠され、少し開きます。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する

スマートキーを携帯してテールゲートのスイッチを押します。テールゲートが解錠され、少し開きます。

テールゲートの解錠モードを変更する

テールゲートの選択解錠モードをオフにすると、テールゲートの解錠と同時に、すべてのドアが解錠されます（すべてのドアのドアハンドルが展開します）。
設定の変更はタッチスクリーンで行います。

MEMO

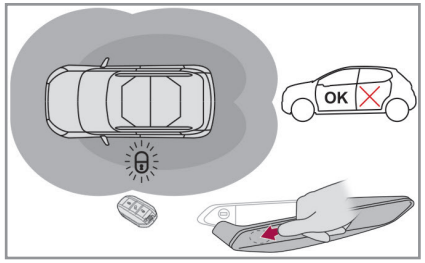
- ●テールゲートの解錠モードが選択解錠モードのときは、テールゲートを開けた後、テールゲートを閉じると自動的に施錠されます。
- ●テールゲートの解錠モードが選択解錠モードのときは、スマートキーがテールゲート周辺の検知エリアにないとプロキシミティキーレスエントリー機能を使用したテールゲートの解錠はできません。
- ●テールゲートを解錠した後は、必ずテールゲートを閉じて施錠してください。

●施錠

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの施錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオンの場合は、スマートキーを携帯し、車両から離れてゾーンBから出ます。ブザーが鳴り、すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアハンドルが格納します。または、スマートキーを携帯して前席ドアのドアハンドルを軽く押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。

MEMO

- ●車両のロックが解除されているとき、前席ドアのドアハンドルが格納されている場合は、ドアハンドルを押すと展開します。もう一度ドアハンドルを押すとすべてのドアとテールゲートが施錠されます。
- ●施錠操作するリモコンのボタンを押し続けると、パワーウィンドウが自動的に閉まります。
- ●施錠するとハザードランプが数秒間点灯し、同時にドアミラーが格納します。
- ●以下のときは、施錠できません。
  - **ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき
  - EVシステムが始動している状態のとき
  - いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉まっていないとき
  - スマートキーが車内にあるとき

MEMO

●スマートキーのバッテリーや12Vバッテリーの消費を抑えるために、以下のような状態になることがあります。
- 約1週間車両を使用しないと、スタンバイモードとなってプロキシミティキーレスエントリー機能の自動解錠機能が停止します。車両のロックを解除するには、リモコンの解錠ボタンを押すか、前席ドアのドアハンドルを軽く押します。その後、EVシステムを始動するとプロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能が再開されます。
- EVシステムが始動していない状態でプロキシミティキーレスエントリー機能のゾーン**A**に繰り返し出入りし、何度もエクステリアサイドランプが点灯すると、エクステリアサイドランプが一時的に点灯しなくなります。*

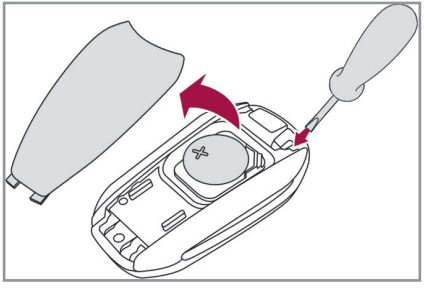
MEMO

- 長期間（3週間以上）車両を使用しないと、スタンバイモードとなってプロキシミティキーレスエントリー機能が自動的に停止します。機能を復帰させるには、リモコンの解錠ボタンを押して車両のロックを解除してからEVシステムを始動してください。これは車外に保管しておいた予備キーでも同様です。

⚠警 告

リモコンの施錠ボタンを使用してパワーウィンドウを閉めるときは、乗員が手や頭など、体を挟まれないように確認してから操作してください。

●電池（CR2032 3V）の交換



リモコンの電池が消耗すると、メッセージが表示されます。
切れ込みに細いドライバーなどを差し込んでケースを開け、電池を交換してください。

*仕様により異なります。

⚠警 告

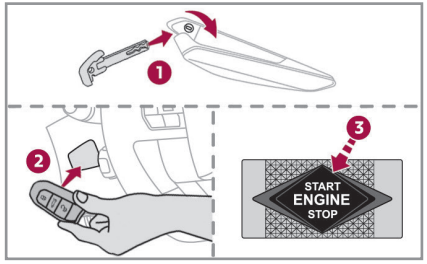
●電池交換の際には、お子さまが誤って飲み込むなどしないよう注意してください。
●リモコンの電波が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

MEMO

●交換用電池は当社指定サービス工場でお求めいただけます。
●環境汚染防止のため、使用済みの電池は正しく廃棄してください。

●リモコンの初期化

電池交換の後などにリモコンが作動しなくなったら、以下の手順で初期化をしてください。



1. 運転席ドアのドアハンドルをいっぱいまで押し込んで展開します。
2. ドアハンドルを引いて、緊急用キー①をドアの鍵穴に差し込み解錠します。
3. ステアリングコラムのリーダ②にスマートキーを当てます。
4. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
5. シフトポジションがPになっていることを確認します。
6. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチ③を押してEVシステムを始動します。

MEMO

●初期化の手順を行ってもリモコンが作動しないなど、不具合が解消しない場合は、当社指定サービス工場へご連絡ください。
●キーナンバーのついたタグを保管しておいてください。スマートキーを紛失して、新しいスマートキーを作成する際にこの番号が必要となります。
●車を離れる際、ポケットの中などでリモコンのボタンを誤って押さないようご注意ください。気がつかないうちに車のロックが解除されてしまうおそれがあります。また、車から離れたところで何度もボタンを押すと、認識されなくなることがあります。その際は初期化をしてください。

イモビライザー（盗難防止システム）

DS 3 CROSSBACK E-Tenseには、イモビライザー（盗難防止装置）が装備されています。
これはスマートキーの内部に車を識別する装置が内蔵されており、車側とのコードが合致しないときは、EVシステムの始動ができないようにするものです。

●スマートキー
車とともにお渡しするスマートキーの内部（プラスチック部分）には、車を識別する電子装置が内蔵されています。
それぞれのスマートキーは、車ごとに個別のコードが登録されています。
ENGINE START/STOPスイッチを押すと、車のイモビライザーシステムがこのコードを読み取って、EVシステムの始動を可能にします。
もしコードが設定されていなかったり異なるコードのときは、EVシステムを始動することはできません。
ENGINE START/STOPスイッチをオフにすると、システムは直ちにEVシステムをロックします。

システムに異常が発生したときは、**ENGINE START/STOP**スイッチを押すと、メッセージが表示されます。EVシステムは始動しません。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

●車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。
●イモビライザーの改造をしないでください。故障の原因になるおそれがあります。
●スマートキーの内部には電子装置が組み込まれています。強い電磁波や高温にさらしたり、強い衝撃を与えたり、水に濡らしたりしないでください。故障の原因となります。

●スペアキー

車とともにお渡しするスペアキーにもコードが登録されています。
もし予備のスマートキーが必要なとき、あるいはスマートキーを取り替えるときには、すべてのスマートキーを登録し直す必要があります。お手持ちのすべてのスマートキーを当社指定サービス工場にご持参の上、登録作業をお申し付けください。

注 意

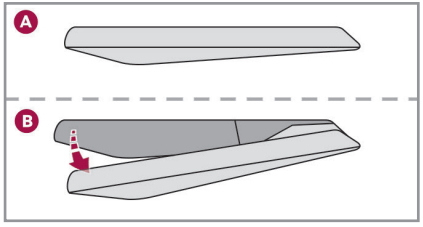
万一、スマートキーを紛失したり盗難にあった場合は、安全のために他のスマートキーを登録し直して失ったスマートキーを無効にする（EVシステムを始動できなくする）ことをお勧めします。お近くの当社指定サービス工場にご相談ください。

MEMO

新しいスマートキーを購入しても、イモビライザーシステムにコードを登録しないかぎり、そのスマートキーでEVシステムを始動することはできません。

ドア／ドアロック

●リトラクタブルドアハンドル



リトラクタブルドアハンドルは車両の施錠／解錠に合わせて自動的に格納**A**／展開**B**します。

格納する

施錠すると格納します。また、リトラクタブルドアハンドルを軽く押すと格納されます。

時速3km以上で走行すると、自動的に格納します。

展開する

解錠すると展開します。また、内側ドアハンドルを引いてドアを開ける、センターコンソールのロックボタンを押すか引く（施錠状態のとき：1回、解錠状態のとき：2回）と展開します。

MEMO

- ●リトラクタブルドアハンドルは、展開後にドアを開閉すると、約3分後にドアの解錠状態を保ったまま自動的に格納されます。
- ●12Vバッテリーが上がっているときなど、リトラクタブルドアハンドルが作動しないときは、ドアハンドルをいっぱいまで押し込むと展開します。そのまま引き出し、鍵穴に緊急用キーを差し込んでドアを解錠／施錠できます。
- ●低温などのためにドアハンドルが凍結し、リトラクタブルドアハンドルが作動しないときは、ドアハンドルをいっぱいまで押し込むと展開します。

注 意

ドアハンドルをいっぱいまで押し込む動作を繰り返し行うと、破損しリトラクタブルドアハンドルが展開しなくなるおそれがあります。

●車外からドアを開ける

車両を解錠するとドアハンドルが展開します。ドアハンドルを引くとドアが開きます。
詳細は「スマートキー」項を参照してください。

●車内からドアを開ける

内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。
解錠の仕様が選択解錠モードになっているときは、運転席側の内側ドアハンドルを引くと、運転席ドアのロックのみ解除され、運転席ドアのドアハンドルが展開します。その他のドアの内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

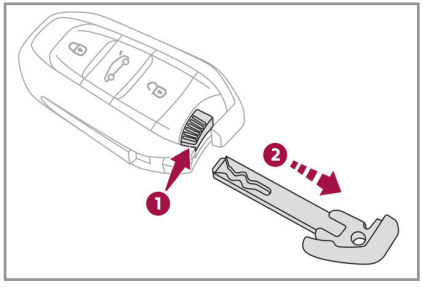
●半ドア警告

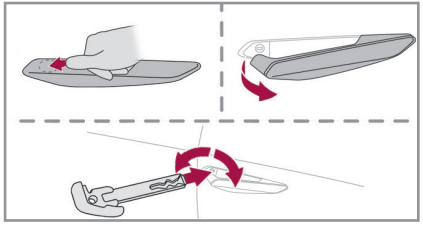
EVシステムが始動している状態で運転席ドアを開けると、警告音とともに警告灯が点灯し、EVシステムを停止するように促すメッセージが表示されます。
その他のドアを開けると、警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
そのまま走行すると、時速10km以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

●緊急用キー

以下のようにスマートキーの機能が使用できないときは、運転席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠／解錠します。

- スマートキーで施錠／解錠できないとき
- スマートキーの電池がないとき
- 車両が強い電磁波などを受けているとき





1. スマートキーのレバー①を押して、緊急用キー②を取り出します。
2. 運転席ドアのドアハンドルをいっぱいまで押し込んで展開します。
3. ドアハンドルを引いて、緊急用キーをドアの鍵穴に差し込み施錠または解錠します。

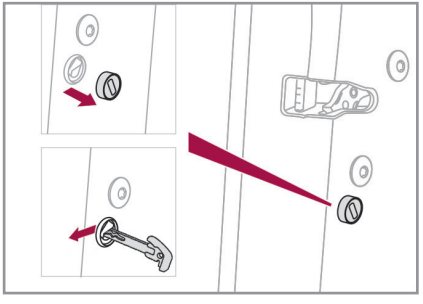
●マニュアルロック（非常時）

12Vバッテリーが上がっているときや、12Vバッテリーの接続をはずしているときなどで、集中ドアロックが作動しないときには次の方法でドアをロックすることができます。

前席ドア

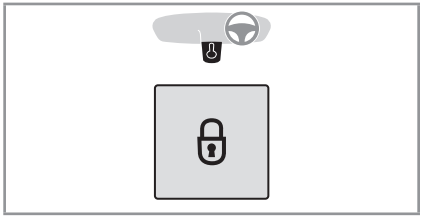
1. ドアハンドルが格納されている場合は、ドアハンドルをいっぱいまで押し込んで展開します。
2. ドアハンドルを引いて、緊急用キーをドアの鍵穴に差し込み施錠または解錠します。

後席ドア



1. チャイルドセーフティが解除されていることを確認します。
2. 緊急用キーを使って、ドア端部にある穴から黒いゴムキャップをはずします。
3. 緊急用キーを穴に差し込み、内側に動かしてドアをロックします。（緊急用キーは回さないでください。）
4. 緊急用キーをはずし、ゴムキャップを元に戻してからドアを閉めます。

● ドアロック／オートドアロック



ロックボタンを押すか引くと、車両の施錠ができます。
施錠するとインジケーターが点灯します。
ドアのいずれかが開いている場合には内側からの集中ロックはできません。
解錠するときはボタンを再度押すか引いてください。

MEMO

外側から施錠されている場合は、インジケーターが点滅し、ロックボタンを押しても解錠しません。内側ドアハンドルを引いて解錠してください。

●オートドアロック機能

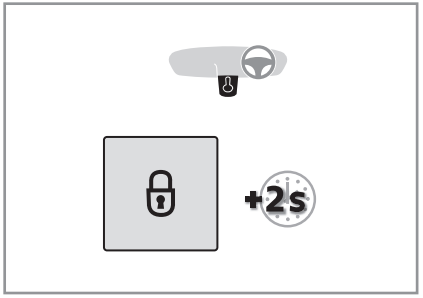
時速10km以上で走行すると、自動的に施錠されます。

完全に閉まっていないドアやテールゲートがあると、オートドアロックは作動しません。警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

- ●時速10km以上で走行中にロックボタンを押すか引くと、ドアおよびテールゲートが一時的に解錠されます。
- ●テールゲートが開いたままでも、ロックスイッチを押すと集中ロックができます。

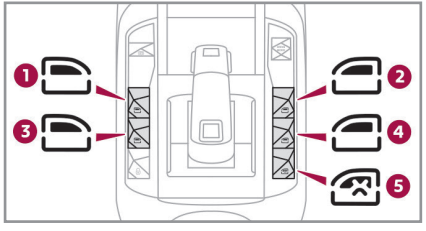
●オートドアロック機能のオン／オフ



機能をオンにするには
ボタンを2秒以上押すか引き続けます。
警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

機能をオフにするには
ボタンを再度2秒以上押すか引き続けます。
警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

パワーウィンドウ



①：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
②：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
③：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
④：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
⑤：リアウィンドウキャンセルスイッチ

●マニュアルウィンドウ開閉

スイッチを軽く押したり引いている間だけウィンドウが開閉します。スイッチから手を離すと同時にウィンドウも停止します。

●ワンタッチ開閉

スイッチを1回強く押すか引くと、スイッチから手を離しても、ウィンドウは自動的に全開閉します。

途中で止めるときは、再度スイッチを押すか引きます。

MEMO

ENGINE START/STOPスイッチをオフにしてから約45秒間、パワーウィンドウの操作ができます。それ以降は、再度**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにする、またはEVシステムを始動してから操作をしてください。

●リアウィンドウキャンセルスイッチ

スイッチ⑤を押すか引くと、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなります。お子さまの危険防止に有効です。
スイッチ⑤のインジケーターが点灯している場合は、後席での操作はできません。
スイッチ⑤のインジケーターが消灯している場合は、後席での操作は可能です。

MEMO

●後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなっているときも、運転席ドアにある後席ウィンドウ開閉スイッチでの操作は可能です。
●電動チャイルドセーフティ装備車は、リアウィンドウキャンセルスイッチを押すか引くと、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなると同時に、車内から後席ドアを開けられなくなります。

●挟み込み防止機能

パワーウィンドウには、挟み込み防止機能が付いており、障害物があると上昇をやめて数センチ下降します。

●パワーウィンドウの再初期化

12Vバッテリーをはずした後など正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチを押してウィンドウを全開にします。
2. ウィンドウを閉じる操作をします。（1回の操作で2～3cm程度しか動きません）
3. ウィンドウが全閉するまで手順2の操作を繰り返します。
4. ウィンドウが全閉したら、さらにスイッチを1秒以上引き続けてください。

⚠注 意

初期化中は挟み込み防止機能は働きません。安全に配慮してください。

⚠警 告

●運転者が運転席以外のウィンドウを操作する場合は、ウィンドウを閉めるのに障害物がないか確認をしてください。
●ウィンドウを閉めているとき、誤って障害物などが接触したときは、直ちにウィンドウを開けてください。
●乗員がウィンドウを閉める際には運転者がその操作に対して注意を払ってください。
●お子さまにはウィンドウの操作をさせないでください。
●車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。

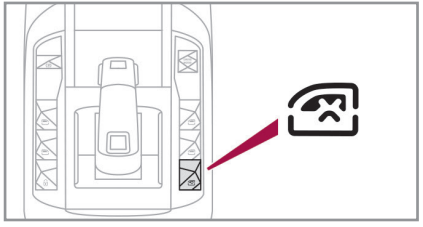
注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上ウィンドウやドアシールから離してご使用ください。

チャイルドセーフティ

車内のドアハンドルで後席ドアを開けられなくすることができます。お子さまの危険防止に有効です。

●電動チャイルドセーフティ *

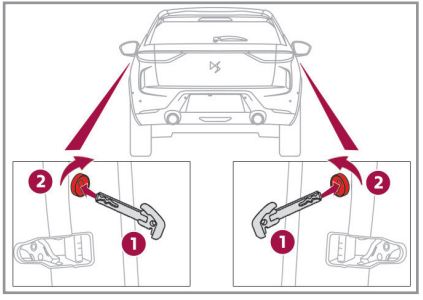


電動チャイルドセーフティを作動させるには、ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはEVシステムが始動している状態のときにボタンを押すか引きます。インジケーターが点灯します。
電動チャイルドセーフティを解除するには、もう一度ボタンを押すか引きます。

MEMO

- ●チャイルドセーフティは、ドアロックの作動とは別に独立して作動します。車両が強い衝撃を受けると、チャイルドセーフティは自動的に解除され、非常時に、後席からの脱出を可能にします。
- ●チャイルドセーフティがオンになっていても、外からドアを開けることができます。

●手動チャイルドセーフティ *

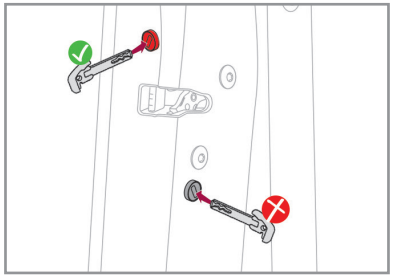


手動チャイルドセーフティを作動させるには、緊急用キーをドアの端部にある赤い穴に差し込み、左側のドアは右方向に、右側のドアは左方向に回します。
手動チャイルドセーフティを解除するには、緊急用キーをドアの端部にある赤い穴に差し込み、左側のドアは左方向に、右側のドアは右方向に回します。

*仕様により異なります。

MEMO

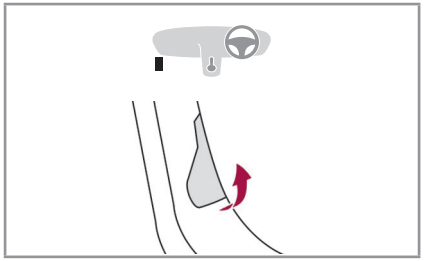
●手動チャイルドセーフティはドア端部にある赤い穴に緊急用キーを差し込みロックします。ドア端部にある黒いゴムキャップは12Vバッテリーのバッテリー上がりなどのときにドアをロックするために使用します。間違えないように注意してください。

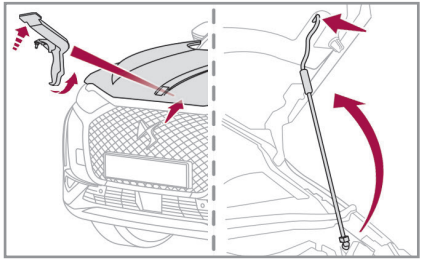


MEMO

●チャイルドセーフティは、ドアロックの作動とは別に独立して作動します。
●チャイルドセーフティをかけていても、外からドアを開けることができます。

ボンネット





●ボンネットを開けるには

1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネットの下のロックレバーを引き上げてから、持ち上げます。
3. 支柱をキャッチに固定します。

ボンネットを開ける際には、6-5ページの警告をお読みください。

⚠警 告

モータールームでどのような作業を行うときも、あらかじめ**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてEVシステムを停止してください。作動中の部品に巻き込まれるなどして重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注 意

●ボンネットを開ける操作は、必ず停車してから行ってください。
●強風時はボンネットが風であおられないようご注意ください。

●ボンネットを閉めるには

支柱を元の位置に戻してからボンネットを引き下げ、下から30cmぐらいの位置で手を離すと、重みで自然に閉まります。上から押さないでください。

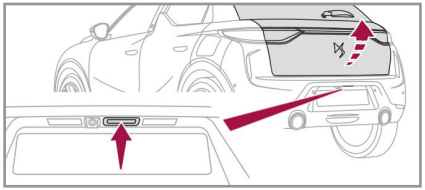
⚠警 告

ボンネットを閉めた後、ロックされたことを確認してください。

テールゲート

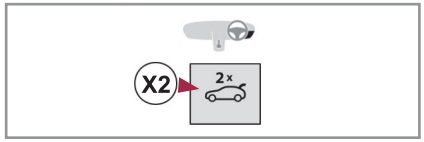
●テールゲートを開ける

車外から開ける



ドアの施錠／解錠と連動しています。
テールゲートのボタンを押してから持ち上げます。
テールゲートの施錠／解錠については、P.2-2の「スマートキー」項を参照してください。

車内から開ける



運転席側ダッシュボードにあるスイッチを2回押すと、テールゲートが少し開きます。

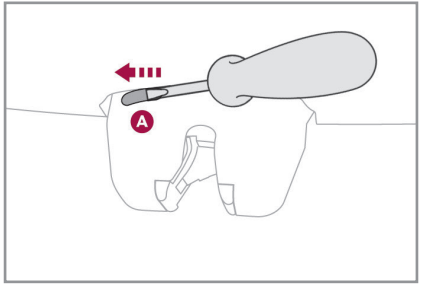
MEMO

テールゲートを開いた後は、必ずテールゲートを閉じて施錠してください。

●テールゲートを閉める

テールゲート内側のハンドルを持って引き下げます。

●テールゲートが解錠しないとき



集中ドアロックシステムのトラブルなどでテールゲートが解錠できないときは、次のように行います。

1. リアシートを倒し、テールゲートの内側からロック機構にアクセスできるようにします。
2. 小さいドライバーをAに差し込んで中のバーを左に動かして解錠します。

MEMO

水没など予期せぬトラブルで車内に閉じ込められた場合、この方法でテールゲートを開けて脱出できます。

●テールゲート閉め忘れ警告

EVシステムが始動している状態のときにテールゲートを開けると、警告灯が点灯するとともに数秒間メッセージが表示されます。
そのまま走行すると、時速10km以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが数秒間表示されます。

⚠警 告

●安全上、操作上、法律上の理由で、テールゲートを開けた状態での走行はしないでください。
●テールゲートを閉めるときには、指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。
●テールゲートに損傷や作動不良がある場合は、すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。テールゲートが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。

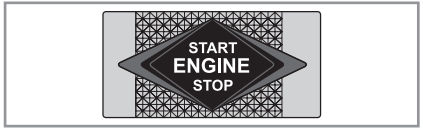
注 意

ストラットダンパーを引いてテールゲートを閉めないでください。ダンパーが変形して開閉ができなくなるおそれがあります。

第3章　運転装置の使いかた

EVシステムの始動……3-2
ステアリング／ホーン……3-5
車両接近通報装置……3-5
ドライブセレクター……3-6
ドライブモード……3-11
エレクトリックパーキングブレーキ……3-12
ヒルスタートアシスタンス……3-16
ESC（エレクトロニックスタビリティ
コントロール）……3-17
レーンキープアシスト……3-20
アクティブセーフティブレーキ……3-25
トラフィックサインインフォメーション……3-31
アクティブクルーズコントロール
（ストップ＆ゴー機能付き）……3-35
レーンポジショニングアシスト……3-45
スピードリミッター……3-52
ブラインドスポットモニター……3-55
フロント／バックソナー……3-58
バックカメラ……3-61

EV システムの始動



スマートキーが車内にあるときに、EVシステムを始動および停止することができます。

⚠警 告

●EVシステムを始動するときは、必ずパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
●EVシステムが始動している状態のときは、車から離れないでください。

注 意

車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。

●EVシステムの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. シフトポジションがPになっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチを押します。
   ブザーが鳴り、READYインジケーターが点灯するまでブレーキペダルを踏み続けてください。READYインジケーターが点灯すれば、EVシステムは正常に始動しています。

MEMO

●EVシステムの始動条件を満たしていない場合は、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。
●**ENGINE START/STOP**スイッチを押すとステアリングロックが解除されます。ステアリングロックが解除できないときは、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。ハンドルを左右に回しながら**ENGINE START/STOP**スイッチを押してください。
●ステアリングロックが解除されるとき、作動音がしたり、ハンドルがわずかに動いたりすることがあります。

●EVシステムの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションを**P**にします。
3. **ENGINE START/STOP**スイッチを押します。
4. EVシステムが停止し、ステアリングがロックされます。

EVシステムを停止した後、車から降りる前に、次のことを確認してください。
・ シフトポジションが**P**になっている
・ **READY**インジケーターが消灯している

MEMO

- ●EVシステムを停止すると、シフトポジションが自動的に**P**になります。
- ●EVシステムを停止してもステアリングがロックされないときは、ハンドルを左右に回してステアリングをロックしてください。
- ●車を完全に停止しないとEVシステムは停止しません。
- ●EVシステムが始動している状態で運転席ドアを開けると、警告音とともにEVシステムを停止するように促すメッセージが表示されます。

●ENGINE START/STOPスイッチのポジション

オフ

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションまたはスタートポジション（EVシステムが始動している状態）のとき、ブレーキペダルを踏まずに**ENGINE START/STOP**スイッチを押すとオフになります。
ハザードランプが使用できます。

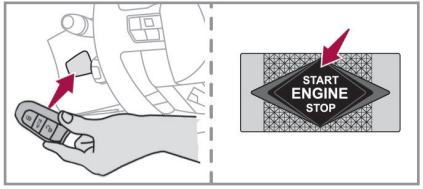
アクセサリーポジション

ENGINE START/STOPスイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずに**ENGINE START/STOP**スイッチを押すと、アクセサリーポジションになります。
警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

スタートポジション

ブレーキペダルを踏みながら**ENGINE START/STOP**スイッチを押すと、スタートポジションになります。
EVシステムが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

●EVシステムの緊急始動



スマートキーが車内にあるにも関わらず、**ENGINE START/STOP**スイッチを押してもEVシステムが始動しない場合は、以下の手順でEVシステムを始動します。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. シフトポジションが**P**になっていることを確認します。
3. ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当てます。
4. ブレーキペダルを踏みながら**ENGINE START/STOP**スイッチを押します。
5. EVシステムが始動します。

●EVシステムの緊急停止

緊急時のためにEVシステムを強制的に停止することができます。
強制的にEVシステムを停止するには、**ENGINE START/STOP**スイッチを約5秒間押し続けます。車両が停止すると同時にステアリングがロックされて動かなくなります。

⚠警 告

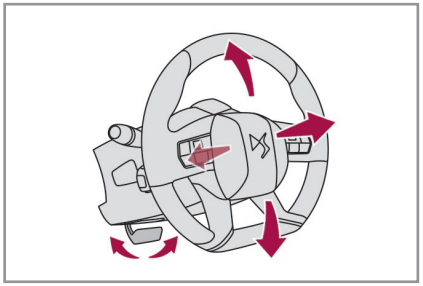
走行中にEVシステムを停止すると、ハンドルやブレーキの操作力の補助がなくなり、ハンドルが重くなったりブレーキの効きが悪くなります。車両のコントロールが難しくなるため、すみやかに安全な場所に停車してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

MEMO

- ●緊急時以外は使用しないでください。
- ●スマートキーが車内にないときは、ドアを閉じるとメッセージが表示されます。車内にスマートキーがない状態でEVシステムを停止しようとすると、緊急停止の操作を確認するメッセージが表示されます。EVシステムを停止するには、**ENGINE START/STOP**スイッチを約5秒間押し続けます。
- ●EVシステムを再始動するには、スマートキーが必要です。

ステアリング／ホーン

●チルト・テレスコピックステアリング

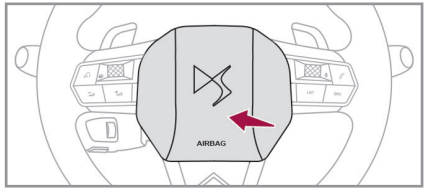


ロックレバーを手前に引くと、ステアリングのロックが解除されます。
ステアリングホイールの高さや奥行きを調整し、ロックレバーを押し下げてロックしてください。

⚠警 告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

●ホーン



ステアリングホイールのセンターパッドを押してください。

MEMO

ホーンを使用する際には、節度を守り、差し迫った危険を感じるなどの緊急の場合に使用してください。

車両接近通報装置

車両接近通報装置は、低速走行中に車両が歩行者に接近していることを音で知らせるシステムです。
車両接近通報装置は、以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

- 時速30km以下で走行しているとき
- シフトポジションがPまたはN以外のとき

システムに異常がある場合、警告灯が点灯します。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

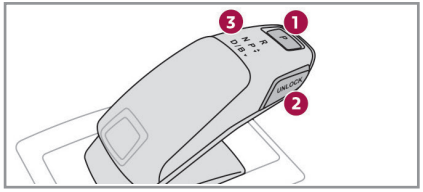
⚠警 告

次のようなときは、周囲の歩行者に車両接近通報装置の音が聞こえにくくなります。

- 周囲の騒音が大きいとき
- 雨または強風のような悪天候のとき

ドライブセレクター

● ドライブセレクターレバー



1. パーキングボタン
2. ロック解除ボタン
3. シフトポジション表示

● シフトポジション

シフトポジションは、インストルメントパネル内のインジケーターおよびドライブセレクターレバーのシフトポジション表示③に表示されます。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてもしばらくの間、シフトポジション表示③にシフトポジションが表示されます。

P. パーキング：駐車するとき、またはEVシステムを始動するときに使用します。

パーキングブレーキを併用してください。

- **P**にするときは、パーキングボタン①を押します。
- EVシステムを停止すると、シフトポジションが自動的に**P**になります。

R. リバース：後退します。

- **P**から**R**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ロック解除ボタン②を押しながらドライブセレクターレバーを強く押します。
- **N**から**R**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ロック解除ボタン②を押しながらドライブセレクターレバーを押します。
- **D**または**B**から**R**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ロック解除ボタン②を押しながらドライブセレクターレバーを強く押します。

N. ニュートラル：動力が伝わらない状態です。EVシステムを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。

- **P**から**N**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ロック解除ボタン②を押しながらドライブセレクターレバーを押すか引きます。
- **D**または**B**や**R**から**N**にシフトするときは、ドライブセレクターレバーを押すか引きます。

D. **ドライブ**：通常走行します。
- **P**から**D**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ロック解除ボタン②を押しながらドライブセレクターレバーを強く引きます。
- **N**から**D**にシフトするときは、ドライブセレクターレバーを引きます。
  時速5km以下のときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ドライブセレクターレバーを引きます。
- **R**から**D**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ドライブセレクターレバーを強く引きます。
- **B**から**D**にシフトするときは、ドライブセレクターレバーを引きます。

B. **Bモード**：強い回生ブレーキが作動します。
- **B**にシフトするときは、**D**にシフトしてからドライブセレクターレバーを引きます。

MEMO

●ドライブセレクターレバーは操作後に手を放すと元の位置に戻ります。
●シフトポジションを**B**から他のポジションに変更した後や**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにした後、再度シフトポジションを**B**にするには、**D**にシフトしてからドライブセレクターレバーを引いてください。

●回生ブレーキ

回生ブレーキは、ガソリン車のエンジンブレーキの代わりにモーターを使用して減速します。
減速時に発電するため、発電した電力でリチウムイオンバッテリーを充電することができます。
回生ブレーキは、次のときに作動します。
- シフトポジションが**D**または**B**で走行中にアクセルペダルをゆるめたとき
- シフトポジションが**D**または**B**で走行中にブレーキペダルを踏んだとき

MEMO

- ●シフトポジションを**B**にすると、**D**のときよりも回生ブレーキの効きが強くなります。
- ●満充電に近いときや外気温が低いときは回生ブレーキの性能が制限され、回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。ブレーキペダルを踏んで減速してください。
- ●回生ブレーキが作動しているときも、走行速度が速いときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。

●クリープ現象

停車中にシフトポジションを**D**、**R**または**B**にすると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。
お子さまが乗車しているときは、EVシステムを始動したままお子さまだけを残して車を離れないでください。
点検のためにEVシステムが始動している状態のまま車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトポジションを**P**にしてください。

●シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んで、ロック解除ボタン②を押していないと**P**から他のシフトポジション、または他のシフトポジションから**R**にすることはできません。

MEMO

- ●

警告音とともにこのアイコンとメッセージが表示されたら、ロック解除ボタン②を押しながらシフトポジションを変更してください。
- ●
警告音とともにこのアイコンとメッセージが表示されたら、ブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを変更してください。

●シフトポジションNでEVシステムを停止する

シフトポジションがNの状態でEVシステムを停止するには、以下の操作を行います。

1. 停車し、EVシステムが始動している状態のときにシフトポジションをNにします。
2. EVシステムを停止します。
3. EVシステムを停止した後、約5秒以内にENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにします。
4. ブレーキペダルを踏んでドライブセレクターレバーを1回押すか引きます。
5. ブレーキペダルを踏んだまま、エレクトリックパーキングブレーキを解除します。
6. ブレーキペダルを放します。
7. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。

MEMO

- ●EVシステムを停止すると約5秒後にシフトポジションが自動的にPになります。
- ●シフトポジションがNのときに運転席ドアを開けると警告音が鳴ります。ドアを閉めると警告音が止まります。
- ●ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにするとき、またはアクセサリーポジションからオフにするときはブレーキペダルを放した状態で操作してください。ブレーキペダルを踏んだまま操作するとEVシステムが始動するため、手順を最初からやり直してください。
- ●次回EVシステムを停止するときはシフトポジションが自動的にPになります。

● ドライブセレクターレバーの異常

警告音とともにSERVICE警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、ドライブセレクターレバーに異常があります。このとき、インストルメントパネルにシフトポジションが表示されているのに、ドライブセレクターレバーにシフトポジションが表示されなくなることがあります。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

また、STOP警告灯が点灯するとともにメッセージが表示された場合は、重大な不良が発生しているおそれがあります。直ちに車を安全な場所に停止させ、EVシステムを停止し、当社指定サービス工場へご連絡ください。

⚠警 告

●走行中は、シフトポジションを**N**にしないでください。回生ブレーキが作動しなくなり、事故を起こすおそれがあります。
●車から離れるときは、シフトポジションを**P**にして、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。クリープ現象で車がひとりでに動いて、人や物に衝突するおそれがあります。EVシステムが始動している状態のときにシフトポジションが**P**以外の場合、運転席ドアを開けると警告音とともにメッセージが表示されます。
●長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、ブレーキペダルと回生ブレーキを併用してください。ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●EVシステムが始動している状態のときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

⚠注 意

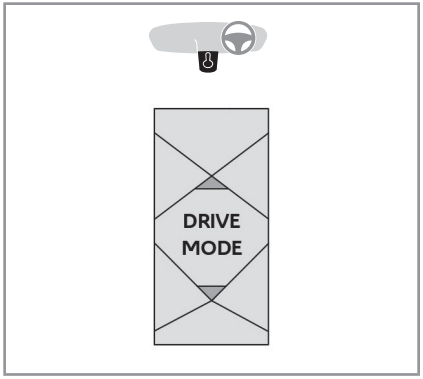
●EVシステムを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
●シフトポジションを**N**から**D**または**R**にするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

注 意

●車が完全に停止する前にシフトポジションを**P**や**R**にしないでください。
●アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルおよびブレーキペダルは右足で踏んでください。

*仕様により異なります。

ドライブモード *



走行状況に応じて、センターコンソールにあるボタンを押してドライブモード（Sport（**スポーツ**）／Normal（**ノーマル**）／Eco（**エコ**））を選択することができます。

●Sport（スポーツ）

アクセルレスポンス、パワーステアリングを制御してよりスポーティな走りを実現するモードです。

●Normal（ノーマル）

通常の走行に適しているモードです。

●Eco（エコ）

エアコンはオフにせず、暖房／冷房の作動を抑えることで、電費を向上させる走行に適しているモードです。

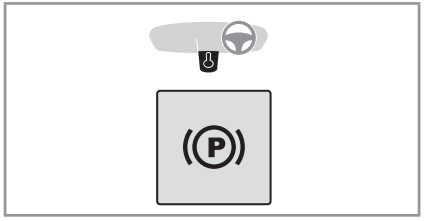
●ドライブモードの選択

DRIVE MODEボタンを押して、Sport（**スポーツ**）、Normal（**ノーマル**）、Eco（**エコ**）を選択します。
選択するドライブモードはインストルメントパネルに表示されます。

MEMO

- ●EVシステムを始動する度に自動的に**Normal**（**ノーマル**）が選択されます。
- ●**Normal**（**ノーマル**）が選択されている場合を除き、選択されているモードがインストルメントパネルに常に表示されます。
- ●**READY**インジケーターが点灯しているときのみドライブモードの選択ができます。

エレクトリックパーキングブレーキ



エレクトリックパーキングブレーキには、以下の機能があります。

- EVシステムが停止したときに自動的にパーキングブレーキをかけ、パーキングブレーキ作動中にアクセルペダルを踏むとパーキングブレーキが自動的に解除されるオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能
- パーキングブレーキスイッチの操作でパーキングブレーキの作動／解除をいつでも手動で行うことができる手動作動機能

●オートマチックエレクトリックパーキングブレーキの作動

パーキングブレーキをかける

EVシステムを停止するとエレクトリックパーキングブレーキが自動的にかかります。

パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯し、メッセージが表示されます。

⚠警 告

駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。

パーキングブレーキを解除する

シフトポジションがD、BまたはRでアクセルペダルを踏むとエレクトリックパーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

パーキングブレーキが自動的に解除されない場合は、運転席ドアが確実に閉まっているか確認してください。

●パーキングブレーキの手動操作

パーキングブレーキをかける

EVシステムの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

シフトポジションが**P**以外で、パーキングブレーキをかけずに運転席ドアを開けると、警告音とともにメッセージが表示されます。
EVシステムが始動している状態のときは、シフトポジションが**P**でも警告音とともにメッセージが表示されます。

パーキングブレーキを解除する

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはEVシステムが始動している状態のときに、ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを押し込んでから放すと、パーキングブレーキが解除されます。

パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

ブレーキペダルを踏まずにパーキングブレーキスイッチを押し込んで放すと、パーキングブレーキは解除されず、メッセージが表示されます。

⚠警 告

- EVシステムが始動している状態で停車しているときは、誤ってアクセルペダルを踏まないように注意してください。ブレーキが解除され、車が飛び出すおそれがあります。
- 駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。
- エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションの状態のまま、またはEVシステムが始動している状態のままで、お子さまを車内に残して車を離れないでください。
- 12Vバッテリーが上がったときなど、エレクトリックパーキングブレーキが作動しない場合は、輪止めをして車が動き出さないようにし、当社指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

坂道に駐車するときには、シフトポジションを**P**にし、タイヤを路肩に斜めに当ててパーキングブレーキをかけてください。

●システムの解除

気温が低下して路面が凍結するような状況などでは、次の方法でオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能をオフにしてください。

1. EVシステムを始動します。
2. パーキングブレーキが解除されている場合は、パーキングブレーキスイッチを手前に引いて、パーキングブレーキをかけます。
3. ブレーキペダルを離します。
4. パーキングブレーキスイッチを10秒以上、15秒以下押し続けます。
5. パーキングブレーキスイッチを離します。
6. ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを2秒以上引きます。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、自動でパーキングブレーキをかけたり解除することができません。手動で操作してください。オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を復帰させるときは、再度機能を解除する操作を行ってください。機能が復帰すると、インストルメントパネルの警告灯が消灯します。

●非常ブレーキ

ブレーキシステム（フットブレーキ）が故障したり、運転者が運転不能な状態に陥ったときなどの緊急時には、パーキングブレーキスイッチを引き続けて車両を停止します。
非常ブレーキ作動中は、ESCが作動して、車の安定性を確保します。
非常ブレーキに異常が発生した場合は、メッセージが表示されます。

⚠警 告

非常ブレーキの使用は、緊急時のみにとどめてください。

この警告灯が点灯しているときは、ESCシステムに異常があり、ESCによる車の安定性は確保されません。パーキングブレーキスイッチを繰り返し操作して安定性を確保してください。

ヒルスタートアシスタンス

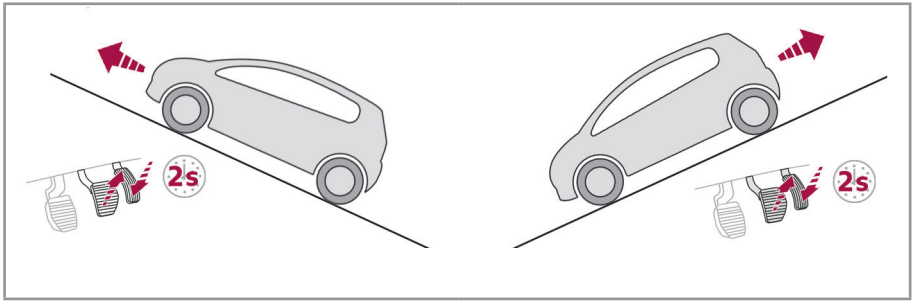
ヒルスタートアシスタンスは坂道発進を補助するための機能で、ブレーキペダルから足を離しても一定時間（ブレーキペダルからアクセルペダルまで足を移動する間）ブレーキがかかった状態を維持します。

この機能は以下の条件がすべて揃ったときに作動します。

- 坂道で車が完全に停止してブレーキペダルが踏まれている。
- 運転席ドアが閉まっている。
- 坂道の勾配が適正である。

⚠警 告

ヒルスタートアシスタンス作動中は、車から出ないでください。やむを得ずEVシステムが始動している状態のまま駐車して車を離れるときは、パーキングブレーキをかけ、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。



●登り坂で前方へ発進するとき

シフトポジションがDまたはBのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

MEMO

ヒルスタートアシスタンスの機能を解除することはできません。ただし、パーキングブレーキをかけると、ヒルスタートアシスタンスの機能が一時的に解除されます。

●下り坂で後方へ発進するとき

シフトポジションがRのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

●ヒルスタートアシスタンスの故障

ヒルスタートアシスタンスに異常が発生した場合に点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）

ESCは急なハンドル操作や急ブレーキ時および滑りやすい路面の走行時などに、次の機能を総合的に制御して運転を補助し車両の安定性を高めます。

- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- EBFD（電子式制動力制御装置）
- EBA（ブレーキアシスト）
- ASR（トラクションコントロール）
- DSC（ダイナミックスタビリティコントロール）

●ABS（アンチロックブレーキシステム）

電子式制動力制御装置（EBFD）を備えたABSシステムは、ホイールがロックしそうになるとABSが作動して、滑りやすい路面での操縦安定性を向上させます。

●EBA（ブレーキアシスト）

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキ時のペダルの動きに応じて作動し、ブレーキの効きを最大限に高めて停止距離を短縮する装置です。

●ASR（トラクションコントロール）

路面状況に応じた制御をすることによって、急加速時のホイールスピンを防止して、車の走行安定性を向上させる機能です。

●DSC（ダイナミックスタビリティコントロール）

4輪のブレーキと電動モーターの出力を自動的に制御することによって、旋回時の前輪または後輪の横滑りを防止する機能です。

MEMO

- **ENGINE START/STOP**スイッチがアクセサリーポジションの状態のまま、またはEVシステムが始動している状態のまま、ホイールやタイヤ交換などの作業を行い、シャフトを回転させると、メモリに故障情報が入力されてABS警告灯が点灯する場合があります。当社指定サービス工場にご相談ください。
- ABSやEBAが作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 凍結した路面や砂地などのオフロードを走行するときは、ASRシステムを解除してください。

●システムの異常

この警告灯が点灯したときはABSの機能に異常があります。ブレーキをかけたときに車のコントロールを失う可能性があります。通常のブレーキは機能します。注意して速度を下げて走行し、直ちに当社指定サービス工場にご連絡ください。

警告音とともにこの警告灯、ABS警告灯およびSTOP警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときはブレーキシステムに異常があります。直ちに停車して当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

ABSやEBAは、どのような状況下でも制動距離を短くする装置ではありません。
路面の摩擦によっては、かえって制動距離が伸びることがありますので、滑りやすい路面では慎重に運転してください。
この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

●ASR／DSCシステムの作動

EVシステムを始動すると、ASR／DSCシステムは自動的に作動可能状態になります。車両の走行安定性に問題が生じたときは、システムが作動して車両を制御します。

ASR／DSCシステムが作動すると、この警告灯が点滅して運転者に注意を促します。

●ASRシステムの解除

雪道や泥道で動けなくなったときなどに、ある程度ホイールスピンをさせてタイヤの接地力を回復させる必要が発生します。
このようなときに、手動でASRシステムの解除ができます。
ASRシステムの解除は、タッチスクリーンで設定します。

ASRシステムを解除すると、メッセージが表示され、運転者にASRシステムが停止したことを知らせます。

●ASRシステムの復帰

解除したシステムは、次の状態で自動的に復帰します。

- ENGINE START/STOPスイッチをオフにする。
- 時速50km以上で走行する。
- 手動で復帰させるときは、タッチスクリーンで設定します。

●ASR／DSCシステムの異常

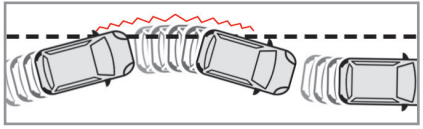
システムに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

●ASR／DSCシステムは、通常の運転状況下において安全性を向上させるもので、オーバースピードや危険な運転を補正する装置ではありません。急カーブや滑りやすい路面では、従来と同じく慎重に運転してください。この装置は、タイヤやホイール、ブレーキ部品、電子部品などの仕様が正しく、かつ当社指定サービス工場で適正な整備や修理を受けた状態で使用したときに効果を発揮します。事故の後や大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

レーンキープアシスト



フロントウィンドウ上部のカメラが走行車線の端、および走行車線の車線マーカーを検知し、車両が車線を逸脱する可能性があると判断したとき、警告表示とハンドル操作を自動修正して衝突を避ける支援をします。

レーンキープアシストの作動中は、警告灯が点滅します。

MEMO

- ●レーンキープアシストが作動すると、ハンドルが自動的に動いてハンドル操作を修正します。
- ●レーンキープアシストが作動しても、運転者がハンドルを両手でしっかり持ち操作を行うことで、ハンドル操作の自動修正を中断することができます。

●動作条件

レーンキープアシストは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

- ・時速65km～時速180kmで走行しているとき
- ・車線が中央線によって区切られているとき
- ・運転者がハンドルを両手でしっかり持っているとき
- ・方向指示器が作動していないとき
- ・ASRシステムが解除されていないとき
- ・ESCシステムが正常に作動しているとき

⚠警 告

レーンキープアシストは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。また、前方車両との車間距離、自車両の走行速度やブレーキ操作の自動制御を行いません。車両が車線を逸脱する可能性があると判断されたときのみ作動します。運転者はハンドルを両手でしっかり持ち、前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。また、長時間の運転などで疲れているときは適度な休憩をとってください。

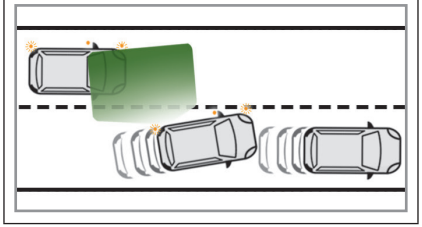
MEMO

- ●ハンドル操作の自動修正が行われるとき、運転者がハンドルを両手でしっかり持っていないと判断すると、システムはハンドル操作の自動修正を中断し、警告を表示して運転者に注意を促します。
- ●方向指示器が作動している間と方向指示器の作動停止後の数秒間は、車両が車線を逸脱する可能性があると判断されても、システムは運転者による意図的な車線変更と判断し、ハンドル操作の自動修正を行いません。

*仕様により異なります。

MEMO

●アクティブブラインドスポットモニター*が他車を検知して、ドアミラーに警告が点灯している間は、方向指示器が作動していても、車両が車線を逸脱する可能性があると判断した場合、システムはハンドル操作の自動修正を行い運転者に注意を促します。



●システムの作動と解除

運転席側のダッシュボードのスイッチを押すと、スイッチのインジケーターとインストルメントパネルの警告灯が点灯し、システムが解除されます。
再度スイッチを押すと、スイッチのインジケーターとインストルメントパネルの警告灯が消灯し、システムが作動します。

MEMO

EVシステムを始動すると、システムは作動状態になります。

⚠警 告

以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- 前方の車両に近付きすぎたとき
- 細く曲がりくねった道路を走行するとき
- 影などの影響で車線と車線の端、車線の外側との区別が分かりにくいとき

●警告表示

インストルメントパネルの表示	意味
	・ レーンキープアシストは解除されています。 ・ スペースセーバータイヤを装着しているなどを検知し、レーンキープアシストが自動的に解除された、または作動を停止しました。
	レーンキープアシストは作動していますが、動作条件を満たしていません。
	車線マーカーを検知しました。 時速65km以上で走行しています。
	・ 車両が車線を逸脱する可能性があると判断し、ハンドル操作の自動修正をしました。 この表示の場合、システムは車両が左側の車線を逸脱する可能性があると判断しています。 ・ ハンドル操作の自動修正中、車両が車線を逸脱したと判断しました。警告音とともにメッセージが表示され、運転者が適切なハンドル操作を行うように注意を促します。 ・ 運転者がハンドルをしっかり持っていないとシステムが判断し、警告音とともにメッセージが表示されました。警告は、システムによるハンドル操作の自動修正が完了する、または運転者がしっかりとハンドルを持つまで継続します。

MEMO

●インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**に設定するとレーンキープアシストの画面をディスプレイに表示することができます（4-3ページ参照）。
●ハンドル操作の自動修正が連続して何度も作動すると、連続した長い警告音が鳴ることがあります。警告音は運転者が適切なハンドル操作を行うまで続きます。

●システムの異常

システムに異常がある場合、警告音とともにレーンキープアシストの警告灯とSERVICE警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

●作動が停止される条件

レーンキープアシストは、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ASRシステムが解除されたとき
- ESCシステムが車両を制御しているとき
- 時速65km以下、または時速180km以上で走行しているとき
- スペースセーバータイヤを装着したとき（運転者の操作により作動を解除してください）
- 急なハンドル操作、アクセル操作、ブレーキ操作を検知したとき
- 道路上に車線マーカーがないとき
- 方向指示器を作動させたとき
- カーブを走行中に、カーブ内側にある車線マーカーを越えたとき
- 角度のきついカーブを走行しているとき
- ハンドル操作の自動修正中に運転者の対処が行われなかったとき

⚠警 告

●以下のようなときは、レーンキープアシストを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 路面状態のよくない道路を走行しているとき
- 滑りやすい路面を走行しているとき
- 不安定な路面を走行しているとき
- 悪天候のとき
- サーキットなどを走行しているとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。

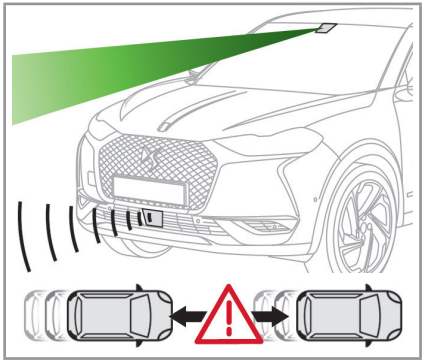
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。

⚠警 告

- ●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- ●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- ●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
- ●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- ●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

*仕様により異なります。

アクティブセーフティブレーキ



アクティブセーフティブレーキは、フロントウィンドウ上部のカメラとフロントバンパーのレーダーにより前方の車両や停車中の車両、歩行者、自転車を検知し、衝突の危険性が高まったとき、警告を表示して運転者に注意を促します。また、運転者が衝突回避動作を取らなかったときは、自動ブレーキを作動させることで車両の速度を落とし、衝突の回避支援、または衝突時の速度を低減するシステムです。

アクティブセーフティブレーキには以下の3つの機能が備わっています。

- ディスタンスアラート
- エマージェンシーブレーキ
- インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

●動作条件

アクティブセーフティブレーキは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

- 前進走行しているとき
- ASRシステムが解除されていないとき
- ESCシステムが正常に作動しているとき
- 乗員全員がシートベルトを着用しているとき
- 直線道路を一定の速度で走行しているとき

⚠警 告

●アクティブセーフティブレーキは、どのような状況下でも衝突を回避できるシステムではありません。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な車間距離を保って走行してください。安全の確保は運転者の義務です。

●ブレーキの作動をアクティブセーフティブレーキのみに頼らないでください。衝突事故を起こすことがあります。常に車間距離に注意して走行し、運転者の判断でブレーキを踏むなどの適切な操作をしてください。

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが前方の車両、歩行者、自転車を検知しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウやフロントバンパーのレーダーやレーダーの周辺に泥や雪、汚れなどが付着しているとき

⚠警 告

●以下のようなときは、アクティブセーフティブレーキを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- スノーチェーンを装着しているとき
- EVシステムが始動している状態のまま自走式の洗車機を使用するとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき

MEMO

●アクティブセーフティブレーキは二輪車や動物も検知します。ただし、路上の落下物や、体高が50cm以下の動物などは検知しません。
●システムが前方の車両などを検知すると、自動ブレーキの作動準備による作動音がしたり、減速するように感じられることがありますが、異常ではありません。

●ディスタンスアラート

前方の車両との車間距離や走行車線に進入した歩行者や自転車との距離が設定した警告時間を下回ると警告を表示します。

ディスタンスアラートの警告表示機能

警告レベル1：設定した警告時間を下回っているときに、警告が表示されるとともにメッセージが表示されます。

警告レベル2：警告レベル1の状態が持続し、さらに前方の車両との接近状況から、そのままでは衝突に至ると判断されたときは、警告が表示されるとともに警告音が鳴り、メッセージが表示されます。

警告レベル3：警告レベル2が表示された後、前方車両との衝突の危険があると知らせるため、断続的に自動ブレーキを作動させ、運転者に対して警告を行うことがあります。

MEMO

- ●ディスタンスアラートの警告は、車間距離だけではなく自車両および前方の車両の速度差や自車両の運転操作の状態、旋回中かどうかなどの情報を総合して表示されます。
- ●自車両の接近速度が高いとき、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されることがあります。
- ●停止中の車両などに衝突する危険があると判断されたときは、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。

警告時間の設定

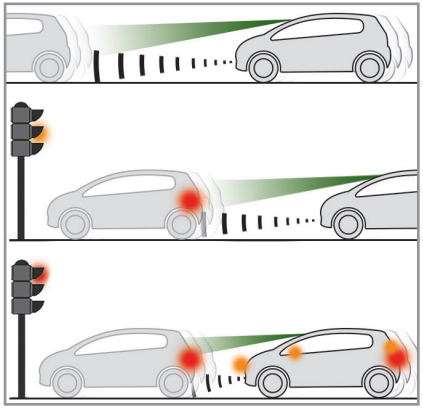
警告を開始する時間の設定は、タッチスクリーンで行います。
警告時間は以下の3種類から選択できます。

- **長い**：早めに警告が表示されます。
- **ノーマル**：標準的な警告時間です。
- **短い**：やや遅れて警告が表示されます。

MEMO

- ●警告時間を**短い**に設定すると、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。
- ●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしても、警告時間の設定の記憶は残ります。

●エマージェンシーブレーキ



ディスタンスアラートの警告が表示された後も運転者が衝突回避動作を取らなかったとき、自動ブレーキが作動し、衝突回避を支援したり、衝突時の速度を低減します。

エマージェンシーブレーキの作動中は、警告灯が点滅します（約10秒間）。

動作条件

エマージェンシーブレーキは以下のときに作動します。

- 時速5km～時速140kmで走行中に、走行中の前方車両を検知したとき
- 時速80km以下で走行中に、停車中の前方車両や自転車を検知したとき
- 時速60km以下で走行中に、歩行者を検知したとき

⚠注 意

エマージェンシーブレーキによる自動ブレーキで車両が停止すると、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。ブレーキペダルを踏んでクリープ現象による車の発進を防止してください。

MEMO

●次のようなときは、システムによるブレーキの作動が解除されます。
- アクセルペダルを踏み込んだとき
- ハンドルを大きく、または素早く切ったとき

●自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。

●エマージェンシーブレーキが作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。

●インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

運転者のブレーキ操作が不十分で、衝突の危険があるときは自動ブレーキが作動します。

MEMO

インテリジェントエマージェンシーブレーキアシストは運転者がブレーキ操作を行ったときにのみ作動します。

●システムの作動と解除

アクティブセーフティブレーキの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。

システムを解除すると、警告灯が点灯します。

MEMO

- ●EVシステムを始動すると、システムは作動状態になります。
- ●以下のようなときは、システムは自動的に解除されます。
  - スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
  - ストップランプが故障しているとき

●システムの異常

システムに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

EVシステムを停止後しばらく経過してから再度始動したとき、アクティブセーフティブレーキの警告灯とSERVICE警告灯が点灯した場合は、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

MEMO

事故の後や大きな衝撃を受けるとシステムが自動的にオフになります。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

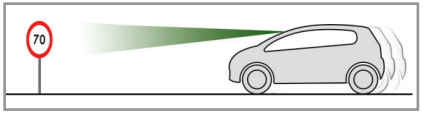
●フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやレーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪などが付着するとカメラやレーダーが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●フロントバンパーのレーダーにステッカーなどを貼り付けないでください。

⚠警 告

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントバンパーの塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

*仕様により異なります。

トラフィックサインインフォメーション *



トラフィックサインインフォメーションは、カメラが車両の速度規制標識を認識して、インストルメントパネルに制限速度を表示する機能です。
インストルメントパネルに表示された制限速度は、アクティブクルーズコントロールやスピードリミッターの走行速度に設定することができます。

⚠警 告

トラフィックサインインフォメーションが正しく作動するために、スピードメーターの速度の単位は必ずkm/h表示を使用してください。誤ってmph表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●速度規制標識の認識機能の作動／解除

速度規制標識の認識機能の作動／解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

EVシステムを始動すると、システムは作動状態になります。

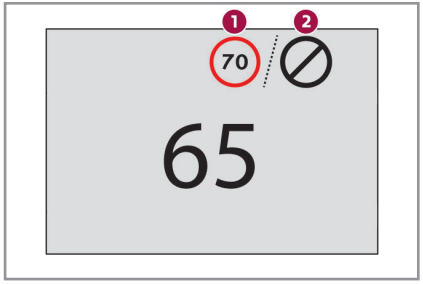
⚠警 告

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- フロントウィンドウが汚れている、曇っている、雪が積もっている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- カメラが故障したとき
- 速度規制標識が車、立木、汚れなどによって見えにくいとき
- 速度規制標識が損傷するなどしていて見えにくいとき

●以下のような個別の状況に応じて規制された速度制限は認識されません。
- 悪天候（雨、雪など）
- 大気汚染
- スペースセーバータイヤやスノーチェーンを装着しての走行
- パンク修理キットで応急修理をしたタイヤでの走行

●インストルメントパネルの表示

トラフィックサインインフォメーションの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。



①：速度規制標識の制限速度表示
②：速度規制標識の速度規制区間終了の表示

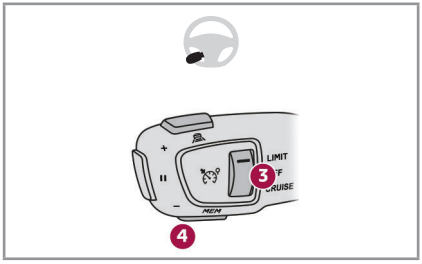
●制限速度の表示

トラフィックサインインフォメーションは作動していますが、認識した速度規制標識はありません。

トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度を表示しました。

認識した速度規制標識の制限速度に対して走行速度が時速5km超過すると、初回超過時は、インストルメントパネルの制限速度表示が約10秒間点滅します。

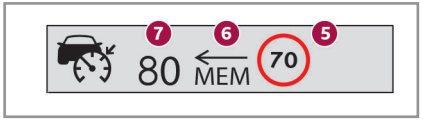
●速度の設定



インストルメントパネルに表示された制限速度をアクティブクルーズコントロールやスピードリミッターの走行速度に設定することができます。

1. 速度を設定したい機能に合わせ、コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ③を回します。

2. トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度⑤を表示したら、MEM⑥が点滅します。



3. コントロールレバーのスイッチ④を押して、表示された制限速度を設定速度として受け付けます。
4. 再度コントロールレバーのスイッチ④を押して設定速度⑦を記憶します。

MEMO

- ●認識された速度制限と現在の設定速度の差が時速9km以下のときは、**MEM**は表示されません。
- ●道路状況により異なる制限速度が連続して表示されることがあります。

●道路標識の認識機能

システムが進入禁止の道路標識を認識し、車両が進入禁止区域に進入したと判断したときは、進入禁止の道路標識とともにメッセージが表示されます。

道路標識の認識機能の作動／解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

ENGINE START/STOPスイッチをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。

⚠警 告

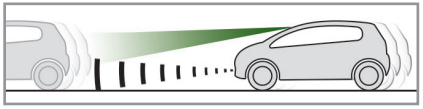
- ●トラフィックサインインフォメーションは、法定速度を守った走行や、安全運転を支援する機能です。システムを過信せず、運転者の責任の下で速度規制標識を確認し、走行速度には十分注意してください。
- ●速度規制標識の角度や配置、汚れ、気象条件（雨、雪、光など）によっては、カメラが速度規制標識を正しく読み取ることができなかったり、制限速度を表示しない場合があります。
- ●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。

⚠警 告

●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

*仕様により異なります。

アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）*



アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）は、アクセルペダルを踏まなくてもドライバーによって設定された速度を一定に保って走行します。また、フロントウィンドウ上部のカメラとフロントバンパーのレーダーにより同じ方向に走行している前方の車両を検知し、前方の車両との距離が接近した場合には、自動的に速度を落としてあらかじめ設定した車間距離を保ったり、前方車両が停止したときは、ブレーキの自動操作を行い、前方車両に続いて自車両も停止します。前方車両が完全停止後、約3秒以内に再発進すれば、自車両は前方車両を追従して発進します。自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。

設定できる速度は時速30km以上です。

設定できる車間距離は**短**、**ノーマル**、**長**の3段階です。

⚠警 告

- ●アクティブクルーズコントロールシステムを作動させている場合においても、常に車間距離に注意して走行してください。前方を走行している車両との車間距離を適切に保つのは、運転者の義務です。
- ●前方の車両や周囲の車両の走行状況によっては、フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが誤って前方の車両を検知し、前方の車両との車間距離や自車両の速度が正しく制御されない場合や、追従走行がスムーズに行われない場合があります。走行中は常に両手でハンドルをしっかり持ち、必要に応じてアクセルペダルやブレーキペダルの操作をしてください。
- ●アクティブクルーズコントロールシステムを使用しない場合には、アクティブクルーズコントロール機能を解除してください。誤ってシステムが働いてしまうのを防止します。

⚠警 告

- ●急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合にはブレーキペダルを踏んで減速してください。
- ●以下のようなときは、アクティブクルーズコントロールが正常に作動しないことがあります。
  - 曲がりくねった道路を走行しているとき
  - 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
  - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
  - 路面の水たまりの反射光が強いとき
  - トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
  - カメラの前のフロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪、汚れなどが付着しているとき

⚠警 告

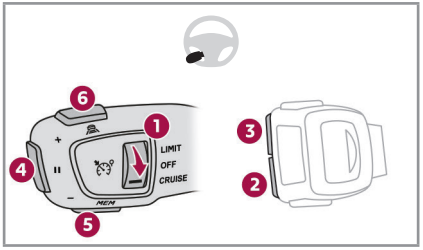
●以下のようなときは、アクティブクルーズコントロールを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 歩行者や自転車などが混在している道路や市街地
- 交通量が多い道路
- 滑りやすい路面
- 曲がりくねった道路
- 勾配の激しい道路
- 旋回するとき
- トンネルや橋に進入するとき
- ラウンドアバウトに進入するとき
- オートバイなどの細い車両の後方を走行しているときや、前方の車両が車線の中央を走行していないとき
- 悪天候のとき
- 雪が降っているとき
- フロントウィンドウやフロントバンパーに損傷があるとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたとき
- ストップランプが故障しているとき

⚠警 告

- 車両のフロント部にアクセサリーを取り付けたり、塗装をしたとき
- ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- サーキットなどを走行しているとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- スノーチェーンやスパイクタイヤを装着して走行しているとき
- スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき

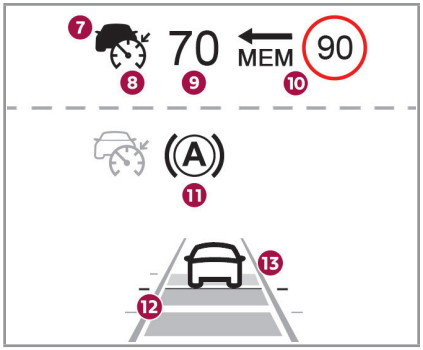
●コントロールスイッチ



アクティブクルーズコントロールは、コントロールレバーのスイッチを使用して設定します。

①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：速度設定／設定速度の減少
③：速度設定／設定速度の増加
④：システムの一時停止／復帰／自動ブレーキによる車両停止後の再発進許可
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付
⑥：車間距離の表示と設定

●インストルメントパネルの表示



クルーズコントロールの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

⑦：前方車両の有無表示
⑧：クルーズコントロールオン／オフ状況表示
⑨：設定スピード表示
⑩：速度規制標識の制限速度表示
⑪：自動ブレーキによる車両停止時の表示
⑫：車間距離設定表示
⑬：前方車両の位置表示

MEMO

●システムが前方の車両を検知すると、前方車両の有無表示⑦のアイコンが塗りつぶされた状態で表示されます。
●インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**に設定すると、前方車両の位置表示⑬が表示されます。

●アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の設定

コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を**CRUISE**側に回すと、アクティブクルーズコントロール機能が使用可能になりますが、速度は設定されていません（クルーズコントロールオン／オフ状況表示⑧が灰色に点灯）。
OFFまたは**LIMIT**の位置に回すとオフになります。

●走行速度の設定

希望する速度(時速30km～時速180km)で走行中にコントロールレバーのスイッチ②か③を押すと、その速度が記憶されて自動的にその速度を維持して走行します（クルーズコントロールオン／オフ状況表示⑧が緑色に点灯）。

トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、スイッチ⑤の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

⚠警 告

道路状況や交通状況に応じた車速を設定してください。誤った速度設定は事故につながるおそれがあります。

MEMO

●時速30km未満で走行中にスイッチ②か③を押すと、走行速度は時速30kmに設定されます。

●**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにする、またはスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を**OFF**または**LIMIT**の位置に回すと、設定された速度が初期化されます。

●設定速度の変更

定速走行中（クルーズコントロールオン／オフ状況表示⑧が緑色に点灯）に、コントロールレバーのスイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。短く押すと1km／hずつ、長く押すと5km／hずつ速度が変化します。

またはアクセルペダルを踏んで加速した後にスイッチ②か③を押すと、あらためてその速度にセットされます。

⚠警 告

速度を変更するときに急加速または急減速することがありますので、十分注意してください。

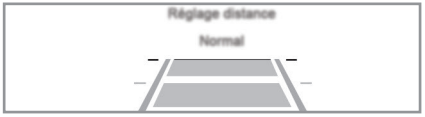
●システムの一時停止／復帰

アクティブクルーズコントロールを一時停止／復帰するには、コントロールレバーのスイッチ④を押します。
また、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ESCシステムが作動したとき
- ブレーキペダルが踏まれたとき
- エレクトリックパーキングブレーキが操作されたとき
- シフトポジションを**D**から**N**にしたとき

停止されたシステムを復帰するには、コントロールレバーのスイッチ④を押します。

●車間距離の設定



コントロールレバーのスイッチ⑥の操作で希望する車間距離を設定します。

1. スイッチ⑥を押して車間距離設定を表示させます。
2. スイッチ⑥を押して車間距離を切り替えます。

設定できる車間距離は、**短**、**ノーマル**、**長**の3段階です。
ENGINE START/STOPスイッチをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを**OFF**または**LIMIT**の位置に回すとオフになりますが、車間距離の設定の記憶は残ります。

MEMO

- ●車間距離の初期設定は**ノーマル**になっています。
- ●追い越しのために方向指示器を作動させた場合は、設定した走行速度を保ったまま、一時的に前方の車両に接近することができます。

●システムの異常

設定速度表示が消えてーが表示されたときは、システムに異常があります。

警告音とともにSERVICE警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムに異常があります。

当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやレーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪などが付着するとカメラやレーダーが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●フロントバンパーのレーダーにステッカーなどを貼り付けないでください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントバンパーの塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。

⚠警 告

●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

MEMO

●アクティブクルーズコントロールを使用中でも、アクセルペダルを踏んで加速することができます。その際、速度の表示が点滅し、メッセージが表示されます。この間、アクティブクルーズコントロールの作動は停止されます。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。
●急な登り坂では設定速度まで加速できない、または設定速度を維持できないことがあります。

●警告表示

インストルメントパネルの表示	意味
	運転者がアクセルペダルを踏み込んで加速しました。一時的にアクティブクルーズコントロール機能を停止しています。 メッセージが表示されます。
	検知範囲内の前方に車両がいません。通常のクルーズコントロールとして作動しています。 メッセージが表示されます。
	検知範囲内の前方に車両がいますが、設定した距離以上の車間が空いています。クルーズコントロールは作動していません。 メッセージが表示されます。
	検知範囲内の前方に車両がいます。設定した車間距離に応じて走行しています。アクティブクルーズコントロールが作動しています。 メッセージが表示されます。
	車両の走行速度や道路状況が適さないために、アクティブクルーズコントロール機能を作動できません。 メッセージが表示されます。
	状況に応じて、アクセルペダルを踏み込んで加速するか、ブレーキペダルを踏んで速度を落としてください。 警告音とともにメッセージが表示されます。
	前方の車両との車間距離が急激に短くなりました。そのままでは衝突に至ると判断されたため、ブレーキペダルを踏むなど、すぐに運転者の操作が必要です。 警告音とともにメッセージが表示されます。

インストルメントパネルの表示	意味
	・自動ブレーキにより車両が停止しました。完全停止後、約3秒以内に前方車両が再発進すれば、自車両は前方車両を追従して発進します。 ・自動ブレーキにより車両が停止しました。完全停止後、約3秒以上経過したため、発進するには、コントロールレバーのスイッチ④を押すか、アクセルペダルの操作が必要です。メッセージが表示されます。

⚠警 告

●自動ブレーキにより車両が停止したら、次のことをお守りください。
- 運転者は車両から離れないでください
- ドアを開けないでください
- 車両から乗り降りしないでください
- シフトポジションを**R**にしないでください

●自動ブレーキにより車両が停止した後、再発進するときは、車両前方の歩行者や自転車に注意してください。システムは歩行者や自転車を検知しないことがあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

MEMO

●自動ブレーキにより車両が停止した後、前方車両が約3秒以内に再発進すれば、自車両はゆっくりと発進し、設定された速度と車間距離を保って前方車両を追従します。

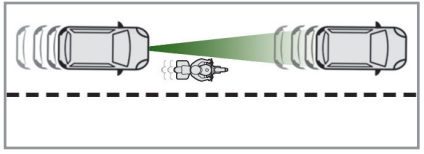
●自動ブレーキにより車両が停止した後、約3秒以上経過したら、コントロールレバーのスイッチ④を押すか、アクセルペダルを操作すると、自車両はゆっくりと発進し、設定された速度と車間距離を保って走行します。運転者による操作がない場合は、数分後に自動的にエレクトリックパーキングブレーキが作動します。

●インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**に設定するとアクティブクルーズコントロールの画面をディスプレイに表示することができます（4-3ページ参照）。

●カメラやレーダーが検知できない状況

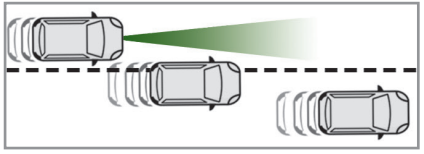
次のような状況では、必要に応じてブレーキペダルの操作で減速する、システムの作動を一時停止するなど、運転者による操作を行ってください。
カメラやレーダーが正常に車両を検知できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

オートバイなどの幅の狭い車両



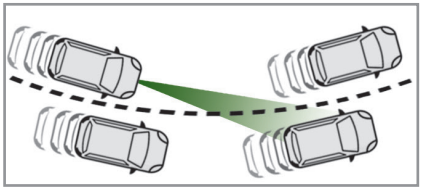
システムの作動を一時解除してください。

車線の中央を走行していない車両



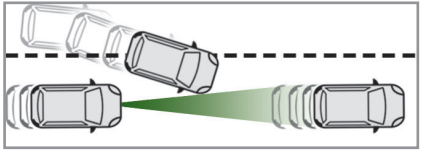
必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

旋回時やラウンドアバウトに進入するとき



システムの作動を一時解除してください。

前方の車両が急速に速度を落としたときや、前方の車両と自車両の間に急に別の車両が進入したとき



必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

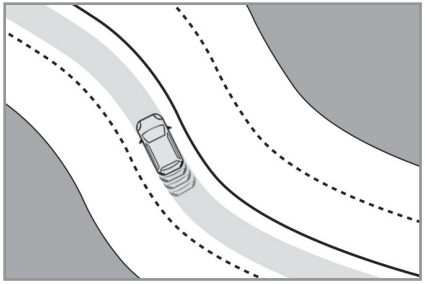
MEMO

アクティブクルーズコントロールでは、以下の車両や歩行者などは検知しません。

- 停止している車両
- 対向車線を走行している車両
- 前方を横切って通過する車両
- 歩行者、自転車、動物

*仕様により異なります。

レーンポジショニング アシスト *



レーンポジショニングアシストは、アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）と連動して機能するシステム（DSドライブアシスト）です。
フロントウィンドウ上部のカメラが走行車線の車線マーカーを検知し、運転者が設定した走行車線上の車両の位置を維持して走行します。
高速道路や自動車専用道路などで走行しているときに効果的です。
アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）の詳細は「アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）」項を参照してください。

MEMO

- ●レーンポジショニングアシストの作動中は、ハンドルが自動的に動いて微調整を行い、走行車線上の車両の位置を維持します。
- ●レーンポジショニングアシストの作動中も、運転者がハンドル操作を行うことで作動を中止し、走行車線上の車両の位置を変更できます。位置の変更を行ったら、レーンポジショニングアシストの作動が再開されるまで、走行車線上の車両の位置を運転者のハンドル操作によって維持してください。

●動作条件

レーンポジショニングアシストは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

- ・アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）の機能がオンで、正常に作動しているとき
- ・運転者がハンドルを両手でしっかり持っているとき
- ・ESCシステムが正常に作動しているとき
- ・ASRシステムが解除されていないとき
- ・スペースセーバータイヤを装着していないとき
- ・車体に対して横方向の強い力が働いていないとき
- ・方向指示器が作動していないとき

⚠警 告

●レーンポジショニングアシストは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。長時間の運転などで疲れているときは適度な休憩をとってください。走行中は常に両手でハンドルをしっかり持ち、必要に応じてアクセルペダルやブレーキペダルの操作をしてください。

●必要に応じて、ハンドル操作やブレーキペダルを踏んでレーンポジショニングアシストの作動を中止してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

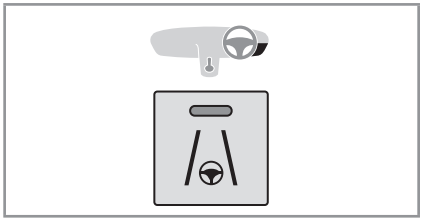
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- 細く曲がりくねった道路を走行するとき
- 角度のきついカーブを走行しているとき

⚠警 告

●以下のようなときは、レーンポジショニングアシストを使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
- 悪天候のとき
- 滑りやすい路面を走行しているとき
- サーキットなどを走行しているとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき

●システムの作動と解除



運転席側のダッシュボードのスイッチを押すと、インストルメントパネルの表示灯とスイッチのインジケーターが点灯するとともにメッセージが表示され、システムが作動します。
再度スイッチを押すと、インストルメントパネルの表示灯とスイッチのインジケーターが消灯し、システムが解除されます。

いずれかの作動条件が満たされていないときは、インストルメントパネルの表示灯が灰色に点灯します。

全ての作動条件が満たされ、レーンポジショニングアシストが作動しているときは、インストルメントパネルの表示灯が緑色に点灯します。

システムに異常がある場合、インストルメントパネルの表示灯が橙色に点灯します。

MEMO

ENGINE START/STOPスイッチをオフにしてもシステムの作動／解除の設定は保持されます。

●作動が停止される条件

レーンポジショニングアシストは、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止されます。

- 方向指示器を作動させたとき
- 走行車線の車線マーカーの外側を走行しているとき
- ハンドルを強く握ったとき
- 急なハンドル操作を検知したとき
- 一定時間以上、ハンドルをしっかりと持っていないとき
- アクセル操作、ブレーキ操作を検知したとき
- アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）の作動を停止したとき
- ASRシステムを解除したとき
- ESCシステムが車両を制御しているとき
- 一定時間以上、片側の車線マーカーが検知されないとき

MEMO

●運転者がハンドルをしっかりと持っていないとシステムが判断すると、段階的に警告が表示されます。そのまま一定時間以上経過すると、レーンポジショニングアシストの作動が停止されます。その場合は、運転席側のダッシュボードのスイッチを押して作動を再開してください。

●ブレーキペダルを踏むとアクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）の作動が停止されるため、レーンポジショニングアシストの作動も停止されます。ブレーキペダルを放してもレーンポジショニングアシストの作動は再開されません。レーンポジショニングアシストの作動を再開するには、アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）を作動させてください。

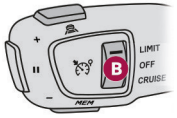
●アクセルペダルを踏むと一時的にレーンポジショニングアシストの作動が停止されますが、アクセルペダルを放すと作動が再開されます。

MEMO

●一定時間以上、片側の車線マーカーが検知されず、レーンポジショニングアシストの作動が停止されると、レーンキープアシストが作動します。再度動作条件が満たされると、レーンポジショニングアシストの作動が再開されます。

●システムの作動状況と表示灯

		インストルメントパネルの表示	意味
A：消灯	B：CRUISE位置		アクティブクルーズコントロールの作動は停止しています。 レーンポジショニングアシストは解除されています。
A：消灯	B：CRUISE位置		アクティブクルーズコントロールが作動しています。 レーンポジショニングアシストは解除されています。
A：緑点灯	B：CRUISE位置		DSドライブアシストが作動しています。ハンドル操作を自動制御し走行車線内のポジションを維持しながら走行しています。
A：緑点灯	B：CRUISE位置		DSドライブアシストの作動は停止しています。
A：緑点灯	B：CRUISE位置		DSドライブアシストが作動しています。ただし、レーンポジショニングアシストは動作条件が満たされていません。

		インストルメントパネルの表示	意味
A：緑点灯	B：OFF／LIMIT位置		アクティブクルーズコントロールは解除されています。 レーンポジショニングアシストは動作条件が満たされていません。
A：緑点灯	B：CRUISE位置		DSドライブアシストの作動が停止されました（アクティブクルーズコントロールおよびレーンポジショニングアシストの作動は停止されています）。

MEMO

- 運転状況や走行操作に関して注意が必要な場合、運転者の操作を促すメッセージや警告メッセージが表示されます。インストルメントパネルにメッセージが表示された場合は、表示された指示に従い適切な運転操作を行ってください。
- 路面状態の良い、長い直線道路を走行中、運転者がハンドルをしっかりと持っていても警告が表示されることがあります。
- インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**に設定するとレーンポジショニングアシストの画面をディスプレイに表示することができます（4-3ページ参照）。

●システムの異常

システムに異常がある場合、警告音とともにSERVICE警告灯およびレーンポジショニングアシストの表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

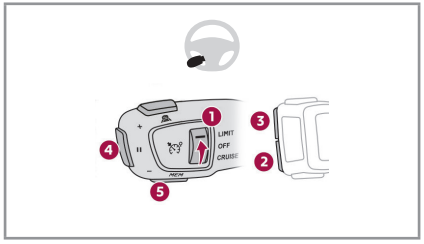
⚠警 告

●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

スピードリミッター

スピードリミッターは、あらかじめドライバーが設定した速度（最低時速30km以上）を超えて走行しないようにする機能です。設定速度以上にアクセルペダルを踏み込んでも加速しません。

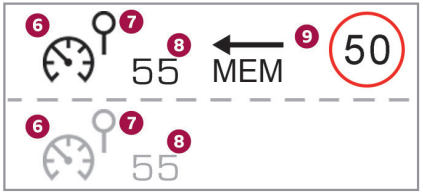
●コントロールスイッチ



スピードリミッターは、コントロールレバーのスイッチを使用して設定します。

①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：設定速度の減少
③：設定速度の増加
④：システムの作動／停止
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付*

●表示パネル



スピードリミッターの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

⑥：スピードリミッターオン／オフ状況表示
⑦：スピードリミッターモード選択表示
⑧：設定スピード表示
⑨：トラフィックサインインフォメーションの速度規制標識の制限速度表示*

●スピードリミッターの設定

コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を**LIMIT**側に回すと、スピードリミッター機能が使用可能になり、設定速度が表示されます。（機能は停止されています。スピードリミッターオン／オフ状況表示⑥、スピードリミッターモード選択表示⑦、設定スピード表示⑧が灰色に点灯）

ENGINE START/STOPスイッチをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを**OFF**または**CRUISE**にするとシステムはオフになりますが、設定速度の記憶は残ります。

*仕様により異なります。

●最高速度の設定

コントロールレバーのスイッチ②か③を押して、希望する速度を設定します。スイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。
短く押すと1km／hずつ、長く押すと5km／hずつ速度が変化します。
トラフィックサインインフォメーション*が認識した速度規制標識の制限速度を、スイッチ⑤の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

●スピードリミッターの作動

スイッチ④を押すと、スピードリミッターが作動します（スピードリミッターオン／オフ状況表示⑥、スピードリミッターモード選択表示⑦、設定スピード表示⑧が橙色に点灯）。アクセルペダルを踏み込んでもその速度以上では走行しません。再度スイッチ④を押すと、停止されます。

⚠警 告

スピードリミッターを過信せず、走行速度には十分注意してください。

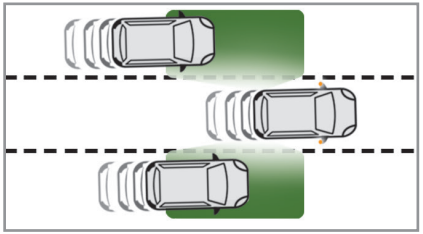
MEMO

スピードリミッターが作動中でも、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むことで一時的に加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。一定時間以上、走行速度が設定速度を超えた状態で走行すると、警告音が鳴ります。また、急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合は、警告音とともに速度の表示が点滅します。ブレーキペダルを踏んで走行速度を下げてください。
これらの場合、スピードリミッターは一時的に解除されます。車速が設定速度まで戻ると、スピードリミッターは再度作動します。

●システムの異常

速度表示が消えてーが点滅したのち連続点灯したときは、システムに異常があります。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

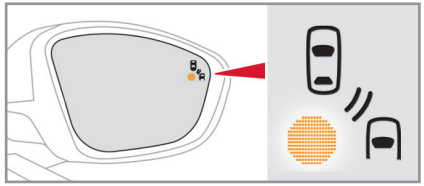
ブラインドスポットモニター



ブラインドスポットモニターは、ドアミラーでの確認が困難な範囲に他車が進入した際に、その存在を検知して運転者に警告するシステムです。

⚠警 告

このシステムは安全確認を補助するための装備であり、ルームミラーやドアミラーの代わりではありません。運転者の責任の下で、道路状況、他車との距離、相対速度を必ず確認し、車線変更などを行ってください。



他車を検知した側のドアミラーに警告灯が点灯します。

- 自車が追い越しをされる場合は、追い越そうとする車がブラインドゾーンに進入した直後に点灯します。
- 自車が追い越しをする場合は、追い越してから約1秒後に点灯します。

●システムの作動と解除

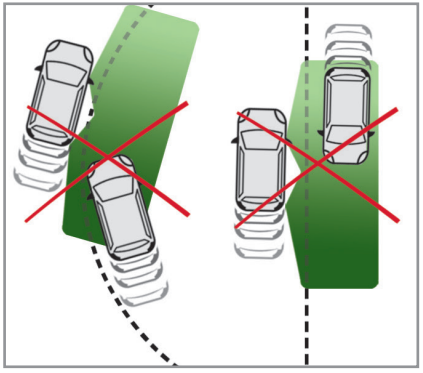
ブラインドスポットモニターの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。システムを作動させると、ドアミラーの警告灯が一時的に点灯します。

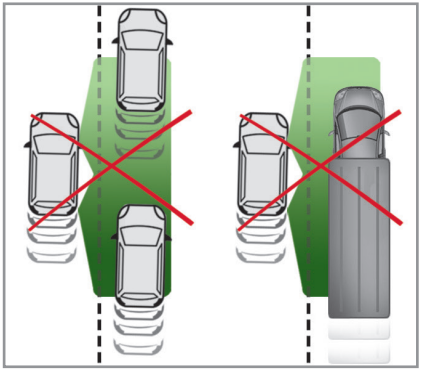
MEMO

- ●ブラインドスポットモニターが作動しているときは、EVシステムを始動するとドアミラーの警告灯が一時的に点灯します。
- ●**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。

以下の条件を満たすとき、車両を検知してドアミラーの警告灯が点灯します。

- 自車を含めた周囲すべての車が同じ方向に走行している
- 時速12km～時速140kmで走行している
- 追い越しをしている場合、他車との速度差が時速10km未満
- 追い越される場合、他車との速度差が時速25km未満
- 道路状況が混雑していない
- 追い越しをしている場合、追い越し状態が継続していて、かつ追い越された車両が依然としてブラインドゾーンにある
- 直線またはゆるやかなカーブを走行している





以下の物や状況の場合、警告灯は点灯しません。

- 静止している物（駐車している車、壁、街灯、道路標識）
- 自車とは逆方向に走行している車
- 曲がりくねった道や角度のきついカーブを走行しているとき
- 大型車を追い越す（または追い越される）とき
  （大型車の先頭部分が運転者の視界にあり、かつ大型車の後方部分がブラインドゾーンにあることを検知したとき）
- 道路状況が混雑しているとき
  （前方の車とブラインドゾーンにある車を同時に検知するため、システムは大型車と判断がつかない）
- 急速に追い越すとき

*仕様により異なります。

●システムの故障

システムに異常が発生したときは、SERVICE警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

●ドアミラーにある警告ゾーン、フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーをステッカーなどで覆わないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●悪天候や冬季には、泥や氷雪などでセンサーが覆われないように注意してください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

MEMO

●システムは雨や雪などの天候に左右される可能性があります。
●濡れた路面を走行しているときに、霧状の水しぶきなどを誤って検知することがあります。

●アクティブブラインドスポットモニター *

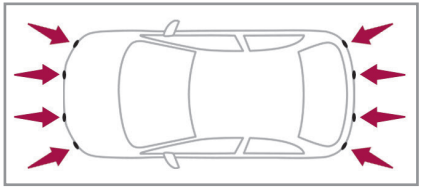
アクティブブラインドスポットモニターは、ブラインドスポットモニターが他車の存在を検知しているとき、車線変更などで方向指示器を作動させている状態で走行車線の車線マーカーを越えようとした場合、他車を検知した側のドアミラーに警告灯が点灯するのに加え、ハンドル操作を自動修正して衝突を避ける支援をします。

アクティブブラインドスポットモニターは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

- 時速65km～時速140kmで走行しているとき
- ブラインドスポットモニターが作動しているとき
- レーンキープアシストが作動しているとき

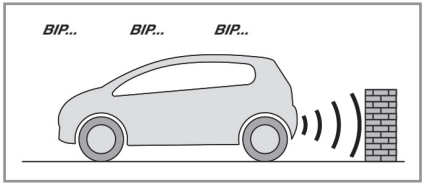
レーンキープアシストの詳細は「レーンキープアシスト」項を参照してください。

フロント／バックソナー



フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが障害物（歩行者、車、立木、門など）を検知します。
システムは、EVシステムが始動している状態でシフトポジションをRにすると作動します。シフトポジションをR以外にすると、システムは解除されます。
以下のとき、フロントソナーは作動を停止します。

- 時速10km以上のとき
- 前進方向で3秒以上停止したとき
- 障害物が車両前方の検知範囲から出たとき

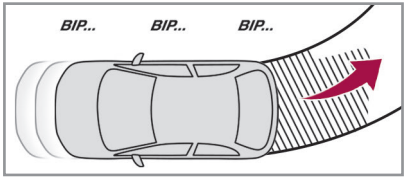


フロント／バックソナーは、警告音と表示の色で運転者に車両と障害物とのおおよその距離をお知らせします。
障害物に接近すると、警告音の頻度が上がり、およそ30cm以内に接近すると連続した警告音に変わります。
表示の色は、障害物までのおおよその距離を表示します。

- 白色のバー：遠い
- 橙色のバー：近い
- 赤色のバー：とても近い（危険を表すアイコンが表示されます）

MEMO

●バックソナーの警告音は、ハンドルを切った角度に応じて障害物の検知範囲が変化します。
例えば、ハンドルを右に切った場合は、障害物の検知範囲が右方向に変化し、右方向の検知範囲内に障害物が検知されると、障害物に近付くにつれ、警告音の頻度が上がります。



●フロント／バックソナーの警告音は、タッチスクリーンの操作で音量を調整できます。

作動中、タッチスクリーンのアイコンにタッチし、表示された画面の操作で音量を調整してください。

●EVシステムを始動した直後は、タッチスクリーンが完全に起動するまで画面表示や警告音でのソナーの警告は行われません。

● フロント／バックソナーの設定

フロント／バックソナーの機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

ENGINE START/STOPスイッチをオフにしても、システムのオン／オフの設定は保持されます。

● システムの異常

この機能に異常があると、シフトポジションをRにすると短い警告音とともにフロント／バックソナー警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠ 警 告

●以下のようなときは、センサーが障害物を検知しないことがあります。

- センサーが検知することが困難な範囲に障害物があるとき、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入ったとき
- 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
- 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
- バンパーやミラーに損傷があるとき
- フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどしたとき
- 重い荷物を積むなどして車両姿勢が傾いているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）

⚠警 告

●以下のような形状の障害物はセンサーが検知しないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。
- 細い木、針金、フェンス、ポール、ロープなどの細いもの
- 背の低いもの
- 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）

●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

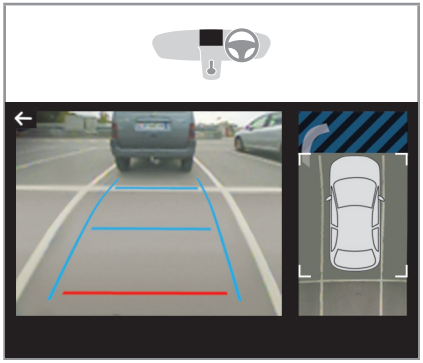
MEMO

●シフトポジションを**R**にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。

●フロント／リアバンパーの真下付近は検知しません。

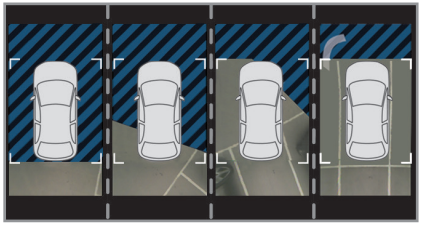
●自転車用リアキャリアを装着しているときは、システムを解除する必要があります。

バックカメラ



テールゲートのカメラ、およびリアバンパーに埋め込まれたセンサーがタッチスクリーンに車両周囲の映像を映し出し、駐車や出庫の際の安全確認を補助します。
タッチスクリーンの画面は左右2分割され、左側にバックビュー、右側にパノラミックビューが表示されます。

●パノラミックビュー

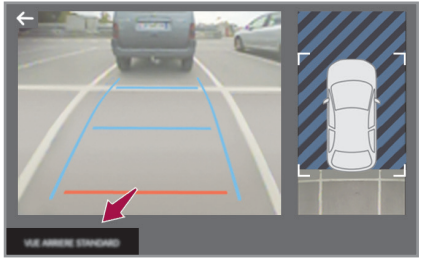


パノラミックビューは、テールゲートのカメラの映像を合成して表示します。駐車や出庫の際に、車両周辺の障害物を確認できます。
バックビューに連動して作動します。

MEMO

- ●長時間車を停止させていると、パノラミックビューの映像がオフになることがあります。
- ●作動直後は、正しい映像を表示するまでに時間がかかることがあります。

●バックビュー



バックビューは、テールゲートのカメラが車両後方の映像を映し出します。オートモードで作動し、リアバンパーに埋め込まれたセンサーが周囲の状況を検知し、自動で**スタンダード**と**ズームビュー**を切り替えます。
また、以下のタッチスクリーンの操作で、**スタンダード**、**180° ビュー**または**ズームビュー**に切り替えることができます。

1. タッチスクリーン左下のアイコンにタッチします。
2. タッチスクリーンにタッチして切り替えたい映像の種類を選択します。

●バックビューの作動

バックビューは、シフトポジションが**R**で、時速10km以下のときに作動します。

バックビューは、以下のときに解除になります。

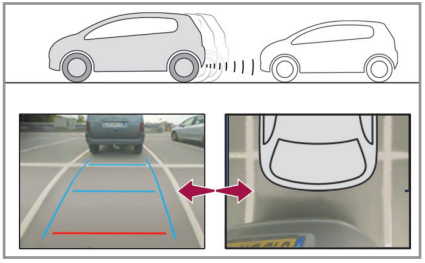
- シフトポジションを**R**以外にしたとき
- 時速20km以上のとき
- テールゲートを開けたとき
- タッチスクリーン左上の←にタッチしたとき

MEMO

シフトポジションを**R**以外にしても、約7秒間はカメラの映像が保持されます。

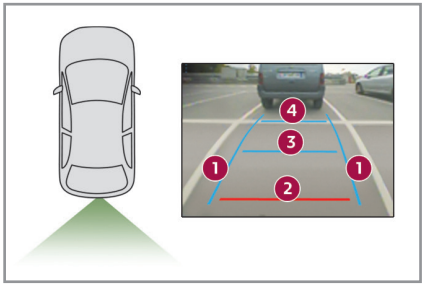
●バックビューの表示

オートモード



リアバンパーに埋め込まれたセンサーが周囲の状況を検知し、障害物が赤いライン（リアバンパーの後方約30cm）に近付くと自動で**スタンダード**から**ズームビュー**に切り替えます。

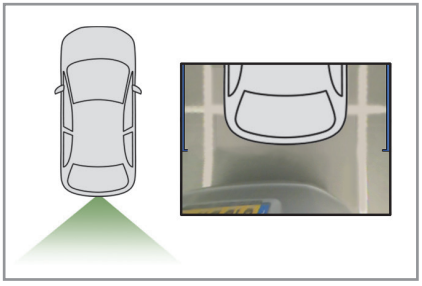
スタンダード



車両後方の映像がタッチスクリーンに表示されます。
映像には距離や車幅の目安となるラインが表示されます。

- 縦の青いライン①：ドアミラーを除いた車幅の目安です。ハンドル操作と連動しています。
- 赤いライン②：バンパーの後方約30cmの目安です。
- 横の青いライン③④：それぞれバンパーから1m、2m後方の目安です。

ズームビュー

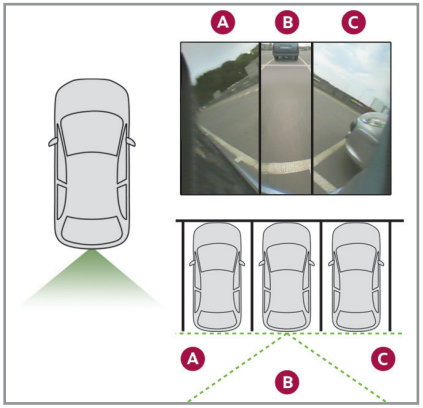


テールゲートに取り付けられたカメラが、タッチスクリーンに車両を上から見たような映像を映し出します。

MEMO

タッチスクリーンの映像は、車や障害物などが実際より遠くに見えることがあります。必ず目視やミラーで確認をしてください。

180° ビュー



垂直駐車から後退して出るときに、左右から近付く車、自転車や歩行者の映像を左方向**A**、後方**B**、右方向**C**に分けて映し出します。

⚠警 告

画面だけを見ながら運転操作をしないでください。必ず目視やミラーで確認をしてください。

⚠警 告

●バックカメラは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
●バックカメラの映し出す映像を過信せず、必ず目視やミラーでの確認も行ってください。
●リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやセンサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。
●カメラに泥や雪などが付着すると映像の映りが悪くなります。常に汚れを落としてください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上カメラやセンサーから離してご使用ください。

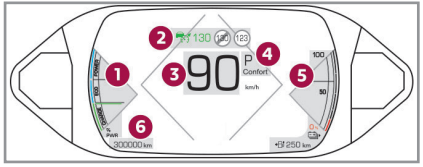
MEMO

●カメラレンズの特性により映像がゆがむことがあります。
●気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
●シフトポジションを**R**にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。

第4章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル……4-2
ヘッドアップディスプレイ……4-6
警告灯類／表示灯類……4-8
サービスインジケーター……4-21
オドメーター……4-22
パワーインジケーター……4-23
リチウムイオンバッテリー残量計……4-24
マニュアルチェック……4-25
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）……4-25
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）……4-26
ワイパー／ウォッシャー……4-36
間接式タイヤ空気圧警告……4-40
ドライブコンピューター……4-41

インストルメントパネル



インストルメントパネルの表示は、選択した表示モードにより異なります。

1. パワーインジケーター
2. アクティブクルーズコントロール*／スピードリミッター／トラフィックサインインフォメーション表示
3. デジタルスピードメーター
4. シフトポジション／ドライブモード*
5. リチウムイオンバッテリー残量計／走行可能距離
6. オドメーター

⚠警 告

- スピードメーターの速度の単位は必ずkm/h表示を使用してください。誤ってmph表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 安全上の理由から、インストルメントパネルの設定などの操作は、車両を停止し、EVシステムが始動している状態で実施してください。

●インストルメントパネルの表示

以下は、どの表示モードの場合でも常にインストルメントパネルに表示される標準的な項目です。

- シフトポジション
- リチウムイオンバッテリー残量計
- 走行可能距離
- パワーインジケーター
- デジタルスピードメーター
- オドメーター
- 警告灯、表示灯、警告メッセージなど（表示がある場合）

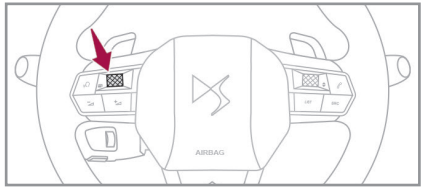
MEMO

警告灯および表示灯は、状況により点灯位置が異なる場合があります。

*仕様により異なります。

以下は、表示モードの種類や作動している機能がある場合に表示されます。
・ トリップコンピューター
・ ドライブモード
・ アクティブクルーズコントロール*などの運転支援システムの表示
・ アクティブクルーズコントロール*／スピードリミッター／トラフィックサインインフォメーション*表示
・ 現在再生中のメディア
・ エネルギーモニター

●表示モードの設定



ステアリングスイッチのダイヤルを回すとインストルメントパネルの表示モードが切り替わります。
ダイヤルを押し込むとすぐに表示モードが切り替わります。

MEMO

システムのバージョンによって、設定できる項目や表示内容が異なります。

●表示モードの種類

表示モードは、以下の5種類から選択して表示することができます。
・ ダイヤル
・ ドライブ
・ パーソナル1 ／パーソナル2
・ エネルギー

ダイヤル
標準的なインストルメントパネルの表示モードです。

ドライブ
標準的なインストルメントパネルの表示に加え、アクティブクルーズコントロール*などの運転支援システムが表示されます。

パーソナル1 ／パーソナル2

標準的なインストルメントパネルの表示に加え、お好みに合わせて表示項目を選択することができます。

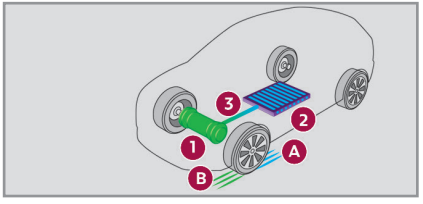
パーソナル1および**パーソナル2**の表示は、以下のタッチスクリーンの操作で設定します。

1. タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2. にタッチします。
3. にタッチします。
4. **パーソナル1**は画面左側の∧または∨、**パーソナル2**は画面右側の∧または∨にタッチして表示したい項目を選択します。

MEMO

パーソナル1と**パーソナル2**で同じ項目を選択することはできません。例えば、**パーソナル1**で**トリップコンピューター**を選択した場合は、**パーソナル2**では選択できなくなります。

エネルギー



標準的なインストルメントパネルの表示に加え、エネルギーモニターが表示されます。

エネルギーモニターは、車両の駆動状況やエネルギーの回収状況などを確認できます。

①：電動モーター
②：リチウムイオンバッテリーの残量
③：エネルギーの流れ

リチウムイオンバッテリーの残量②は、電力の残量に応じて目盛りが変化します。

エネルギーの流れ③は、電動モーター①の色とタイヤの表示の色**A** ／ **B**によりリチウムイオンバッテリーの電力の消費と回収の状態を表します。

エネルギーの流れがないときは表示されません。

A：走行によりリチウムイオンバッテリーの電力を消費しているときは青色に表示されます。
B：回生ブレーキによりリチウムイオンバッテリーに充電をしているときは緑色に表示されます。

MEMO

走行中はタイヤの表示が回転します。

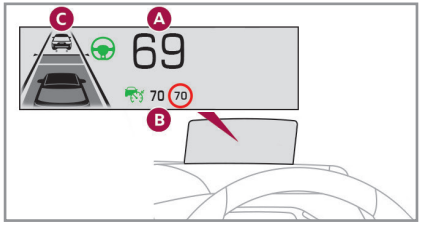
●言語の設定

インストルメントパネルとタッチスクリーンの言語を切り替えるには、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

初期設定は日本語になっています。

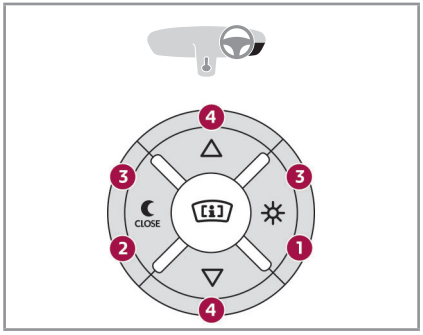
ヘッドアップディスプレイ *



運転者が前方を見ながら運転に必要な情報を確認できるように、ディスプレイに様々な情報を表示します。

A. スピードメーター
B. アクティブクルーズコントロール表示／スピードリミッター表示／トラフィックサインインフォメーション表示
C. DSドライブアシストなどドライビングサポート機能の表示

●ディスプレイの操作



1. オンスイッチ
2. オフスイッチ
3. 照度調整スイッチ
4. 高さ調整スイッチ

起動／格納

EVシステムが始動している状態のときにスイッチ①を押すと、ディスプレイを起動できます。スイッチ②を長く押すとディスプレイを格納できます。

高さ調整

EVシステムが始動している状態のときにスイッチ④（△＝上、▽＝下）を押します。見やすい高さになるよう、ディスプレイの高さを調整できます。

照度調整

EVシステムが始動している状態のときにスイッチ③（太陽＝明、月＝暗）を短く押します。ディスプレイの明るさを調整できます。

MEMO

ENGINE START/STOPスイッチをオフにしたときの状態は、次回EVシステムを始動するときまで残ります。

*仕様により異なります。

⚠警 告

ヘッドアップディスプレイは停車中に操作してください。

注 意

- ダッシュボード上のディスプレイ付近に物を置いたり、ディスプレイ出入口を覆ったりしないでください。ディスプレイ作動時の妨げになります。
- お手入れするときは、硬い布、表面が荒い布、洗剤などは使用しないでください。ディスプレイが破損したり、反射防止のコーティングが傷付いたりするおそれがあります。メガネ拭きのようなやわらかい布を使用してください。

MEMO

- 気象条件（雨、雪、光など）によっては、ディスプレイが見づらかったり、一時的に影響を受ける場合があります。
- お使いのメガネ（サングラス、偏光レンズなど）によっては、ディスプレイの表示が読み取りづらい場合があります。

警告灯類／表示灯類

●警告灯について

警告灯には、ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにする、またはEVシステムを始動すると点灯するものがあります。数秒後、それらの警告灯は消灯します。
いずれかの警告灯が、車が動き出す前まで点灯していたり、走行中に点灯または点滅したときは、関連する情報を参照してください。
いくつかの警告灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの警告灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

●表示灯について

表示灯は、作動状態を表示するものと機能停止を表示するものがあります。
いくつかの表示灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの表示灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

⚠警 告

- ●STOP警告灯と連動して警告灯が表示されたときは直ちに車を停止させてください。
- ●警告灯が表示される故障は、深刻なケガや車両へのダメージを引き起こすおそれがあります。安全な場所に停車し点検してください（6-5ページ参照）。

MEMO

高速道路など自動車専用道路でリチウムイオンバッテリーのバッテリー残量がなくなると、道路交通法違反になります。
走行前にリチウムイオンバッテリーのバッテリー残量が十分あることを確認してください。

*仕様により異なります。

●赤色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	STOP	点灯／警告音／メッセージ	オーバーヒートしているか、ブレーキ、パワーステアリングなどに重大な異常が発生しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、EVシステムを停止し、当社指定サービス工場へご連絡ください。
	12V バッテリー	点灯	12Vバッテリーの充電機能に異常が発生しています。	EVシステムを始動すると消灯します。警告灯が消えない場合は、直ちに車を安全な場所に停止させ、EVシステムを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。 エレクトリックパーキングブレーキが作動しない場合は、輪止め* をしてください。
	半ドア	点灯／警告音／メッセージ（時速10km以下）	運転席ドアが開いています。	ドアまたはテールゲートを閉めてください。
		点灯／メッセージ（時速10km以下）	助手席ドア、後席ドアまたはテールゲートが開いています。	
		点灯／警告音／メッセージ（時速10km以上）	いずれかのドアまたはテールゲートが開いています。	

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	シートベルト	点灯	・シートベルトを着用していません。 ・着用していたシートベルトをはずしました。	ベルトを引き出しバックルに差し込んでください。 警告はシートベルトを着用するまで続きます。
		点滅／警告音		
	エレクトリックパーキングブレーキ	点灯	エレクトリックパーキングブレーキがかかっています。	アクセルペダルを踏むと、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に解除されます。
				ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを押してエレクトリックパーキングブレーキを解除してください。
		点滅	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能が作動しません。作動／解除機構に故障が発生しています。	直ちに安全で水平な場所に車を停止させ、EVシステムを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ブレーキ	点灯	ブレーキに軽微な不良が発生しているおそれがあります。	注意して速度を下げて走行し、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
			ブレーキ液量が大幅に低下しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、EVシステムを停止し、当社推奨のブレーキ液を補給してください。問題が解消されない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。
			電子式制動力制御装置（EBFD）に異常が発生しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、EVシステムを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	EVシステム	点灯	電動モーターやリチウムイオンバッテリーなどに異常が発生しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、EVシステムを停止し、当社指定サービス工場へご連絡ください。
	充電コネクター	点灯	充電ポートに充電コネクターが接続されています。EVシステムを始動できません。	EVシステムを始動するには、充電ポートから充電コネクターを取りはずして充電ポートリッドを閉じてください。

●黄色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ABS（アンチロックブレーキ）	点灯	アンチロックブレーキシステムに異常が発生しています。	通常のブレーキとして機能します。 注意して速度を下げて走行し、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	SERVICE	点灯（一時的）／メッセージ	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 ・ タイヤ空気圧 ・ ウィンドウウォッシャー液量　など 解決しない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／メッセージ	重大な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 当社指定サービス工場で点検を受けてください。
			パーキングブレーキ故障のメッセージが表示されている場合は、エレクトリックパーキングブレーキはオートマチックでの解除ができません。	当社指定サービス工場にご連絡ください。

*仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	アクティブセーフティブレーキ*	点滅	アクティブセーフティブレーキの自動ブレーキが作動中です。	前方の車両との衝突速度を抑制するために自動的にブレーキが作動しました。ブレーキを踏んでスピードを落としてください。
		点灯／警告音／メッセージ	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点灯	アクティブセーフティブレーキ機能が解除されています。	詳細は「アクティブセーフティブレーキ」項を参照してください。
		点灯（**SERVICE**警告灯も点灯）	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	EVシステムを停止し、再度始動しても消灯しない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	レーンキープアシスト	点灯	レーンキープアシスト機能が解除または停止されています。	詳細は「レーンキープアシスト」項を参照してください。
		点滅	方向指示器が作動していないとき、車線マーカーを逸脱する可能性があると判断されました。ハンドル操作の自動修正が行われます。	
		点灯／警告音／メッセージ（**SERVICE**警告灯も点灯）	レーンキープアシスト機能に異常があります。	レーンキープアシスト機能が作動していません。注意して走行し、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	レーンポジショニングアシスト*	点灯／警告音／メッセージ（**SERVICE**警告灯も点灯）	レーンポジショニングアシスト機能に異常があります。	レーンポジショニングアシスト機能が作動していません。注意して走行し、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

*仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ASR ／ DSC	点滅	ASR ／ DSCシステムが作動中です。	システムは正常です。 安定した走行に戻ると消灯します。
		点灯／警告音／メッセージ	ASR ／ DSCシステムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
 	非常ブレーキ（エレクトリックパーキングブレーキ）	点灯／メッセージ（**SERVICE**警告灯も点灯）	非常ブレーキに異常が発生しています。	エレクトリックパーキングブレーキの自動解除ができない場合は、ブレーキペダルを踏みながら手動操作で解除してください。
	ヒルスタートアシスタンス	点灯／メッセージ（**SERVICE**警告灯も点灯）	ヒルスタートアシスタンス機能に異常があります。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	空気圧警告	点灯／警告音／メッセージ	タイヤの空気圧に異常があります。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。 タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。
 		点灯／警告音／メッセージ（**SERVICE**警告灯も点灯）	タイヤ空気圧警告システムに異常が発生しています。システムは作動していません。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。 直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	エアバッグ	点灯（一時的）	システムの点検中です。（数秒間点灯した後に消灯）	EVシステムを始動すると消灯します。警告灯が消えない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯	エアバッグまたはシートベルトプリテンションシステムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ	点灯	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能が解除されています。	パーキングブレーキは手動操作のみ可能です。オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を復帰させてください。
		点灯／メッセージ（**SERVICE**警告灯も点灯）	手動操作によるエレクトリックパーキングブレーキの締結ができません（EVシステムが始動している状態のときの締結ができません）。	手動操作によるエレクトリックパーキングブレーキの締結／解除ができないときは、パーキングブレーキスイッチの故障が考えられます。 EVシステム停止時の自動締結およびアクセルを踏んだときの自動解除のみ作動します。 当社指定サービス工場にご連絡ください。
		点灯／メッセージ（**SERVICE**警告灯も点灯）	パーキングブレーキに異常が発生しています。自動／手動操作ともに動作しません。	車を止めておくには、7秒から15秒間、警告灯が点灯するまでパーキングブレーキスイッチを引きます。 上記の操作を失敗した場合は、安全で平らな場所に停車して、シフトポジションを**P**にした状態でEVシステムを停止し、輪止め*をしてください。その後、当社指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	リアフォグランプ	点灯	ライトスイッチレバーのリングを前方へ回しました。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。
	フロント／バックソナー	点灯／警告音／メッセージ	フロント／バックソナーの機能に異常があります。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	DSマトリクスLEDビジョン*	点灯／警告音／メッセージ	DSマトリクスLEDビジョンヘッドライトまたはフロントウィンドウ上部のカメラに異常があります。	当社指定サービス工場にご連絡ください。
	リチウムイオンバッテリー残量	点灯／警告音	リチウムイオンバッテリーの残量が低下しています。	走行可能距離を確認してください。 すみやかに最寄りの充電施設で充電してください。
	出力制限	点灯／警告音	リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下しています。電動モーターの出力が徐々に制限され、エアコンなどの機能が自動的にオフになります。	直ちに最寄りの充電施設で充電してください。 充電しても消灯しない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	車両接近通報システム	点灯	車両接近通報システムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。

*仕様により異なります。

●緑色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	レーンポジショニングアシスト*	点灯	レーンポジショニングアシストが作動しています。	詳細は「レーンポジショニングアシスト」項を参照してください。
	ウィンカー	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが上または下に動かされています。	ライトスイッチレバーを水平にすると消灯します。
	ポジションランプ	点灯	ライトスイッチがポジションランプの位置にあります。または、ライトスイッチが**AUTO**の位置にあり、周囲の明るさに応じてデイタイムランニングランプが点灯しています。	-
	ロービーム	点灯	ライトスイッチがロービームの位置にあります。または、ライトスイッチが**AUTO**の位置にあります。（周囲の明るさに応じて点灯）	-

*仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	DSマトリクスLEDビジョン*	点灯	タッチスクリーンの設定で機能が有効になっていて、ライトスイッチが**AUTO**の位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ロービームが点灯しています。	詳細は「DSマトリクスLEDビジョン」項を参照してください。
		点灯	タッチスクリーンの設定で機能が有効になっていて、ライトスイッチが**AUTO**の位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ハイビームが点灯しています。	
	オートワイパー	点灯	オートワイパーが作動中です。	ワイパーレバーを押し下げるか、**O**以外の位置にするとオートワイパー機能がオフになります。
	READYインジケーター	点灯／ブザー	EVシステムが正常に始動しています。走行できる状態です。 エアコンやシートヒーター*が使用できます。	走行速度が時速約5kmに達すると消灯し、停止すると再度点灯します。 EVシステムを停止すると消灯します。

●青色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ハイビーム	点灯	ライトスイッチレバーが手前に引かれています。	ライトスイッチレバーを再度手前に引くとロービームに戻ります。

サービスインジケーター

サービスインジケーターは、お客様に次回のメーカー推奨点検時期がいつ頃かをお知らせするものです。
次回の点検まで3000km以内になったとき、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにする、またはEVシステムを始動した後の数秒間、インストルメントパネルに表示されます。
また、タッチスクリーンからも次回のメーカー推奨点検時期を確認することができます。

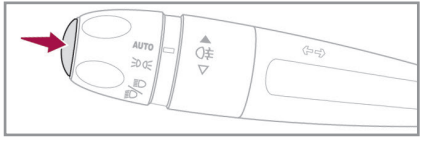
●サービスインジケーター表示一覧

表示	状態	意味
	点灯（数秒間）	次回の点検まで1000kmから3000kmであることを示しています。 次回の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点灯	次回の点検まで1000km以内であることを示しています。 次回の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点滅後に点灯	点検時期を経過したことを示しています。 点検時期を経過してからのおよその走行距離や点検時期を経過したことをお知らせするメッセージ（両方またはどちらか一方）が表示されます。 定期点検が完了するとスパナマークが消灯します。

MEMO

点検時期のお知らせは、走行距離と前回の点検時期から割り出されています。最後の点検から2年を経過した場合にもスパナマークが点灯します。

●ゼロリセット



リセットは当社指定サービス工場にて点検終了後に行いますが、お客様がご自分でリセットする際には以下の方法で行います。

1. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
2. ライトスイッチレバーの先端のスイッチを押し続けます。
3. ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにします。
4. 数字のカウントダウンが始まります。
5. カウントダウンが終了したら、押していたライトスイッチレバー先端のスイッチを放します。
6. リセットが完了。スパナのマークが消えます。

MEMO

●当社指定サービス工場では、定期点検が完了したときにサービスインジケーターをリセットして、次の定期点検時期をお知らせするようにしています。もし、サービスインジケーターを継続してご使用になりたいときは、車をお預けの際に当社指定サービス工場の担当者にお伝えください。
●リセット直後に12Vバッテリーをはずすと、リセットが無効になります。ドアを施錠して少なくとも5分間待ってから、12Vバッテリーをはずしてください。

オドメーター

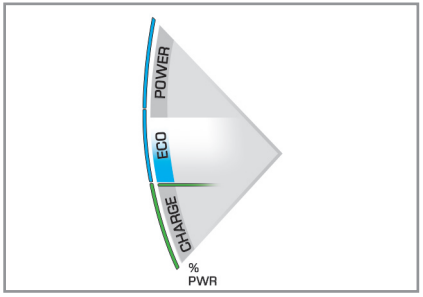
オドメーターは、ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはEVシステムが始動している状態のときに表示されます。また、以下の後、約30秒間表示されます。

- ENGINE START/STOPスイッチをオフにしたとき
- ENGINE START/STOPスイッチがオフで運転席側ドアを開閉したとき
- 施錠または解錠したとき

MEMO

距離の単位は必ずkm表示を使用してください。
設定はタッチスクリーンで行います。

パワーインジケーター



ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにする、またはEVシステムを始動すると、パワーインジケーターが表示されます。
パワーインジケーターは、走行中の電動モーターの消費電力の状態と回生ブレーキによる電力の充電状態を表示します。

●CHARGE

アクセルペダルを放して速度を落としているとき、ブレーキペダルを踏んでいるときに、回生ブレーキによりリチウムイオンバッテリーの充電が行われていることを示します。パワーインジケーターのカーソルがCHARGE側に振れるほど多くの電力を充電しています。

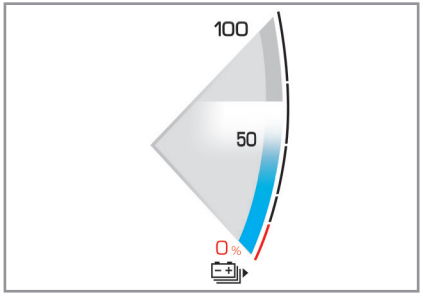
●ECO

消費電力を抑えた走行ができている状態を示します。より長い距離を走行することができます。

●POWER

アクセルペダルを踏んで加速しているときに、電動モーターが電力を消費している状態を示します。パワーインジケーターのカーソルがPOWER側に振れるほど加速力が強くなり、多くの電力を消費しています。

リチウムイオンバッテリー残量計



ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにする、またはEVシステムを始動すると、現在のリチウムイオンバッテリーの残量と走行可能距離が表示されます。

●リチウムイオンバッテリーの残量警告

リチウムイオンバッテリーの残量警告は、以下の2種類の警告灯によって段階的に表示されます。

リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると、警告音とともにリチウムイオンバッテリー残量警告灯が点灯します。
走行可能距離を確認し、すみやかに最寄りの充電施設で充電してください。

リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下すると、警告音とともにリチウムイオンバッテリー残量警告灯と出力制限警告灯が点灯します。
直ちに最寄りの充電施設で充電してください。

MEMO

- ●出力制限警告灯が点灯すると、走行可能距離が表示されなくなります。また、電動モーターの出力が徐々に制限され、エアコンなどの機能が自動的にオフになります。
- ●走行可能距離はリチウムイオンバッテリーの残量、これまでの平均電費、現在のエアコンの作動状態などから算出されています。この数値は、走行状況によって変化する場合があります。
  例えば、リチウムイオンバッテリーが満充電の状態でも、走行状況によっては表示される走行可能距離の数値が異なることがあります。

マニュアルチェック

ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにする、またはEVシステムを始動すると、インストルメントパネルに以下の情報が表示されます。

・ サービスインジケーター
・ タイヤ空気圧警告
・ 現在の不具合状況

MEMO

タッチスクリーンからもマニュアルチェックの情報を確認することができます。

インストルメントパネルの調整（明るさ調整）

照度調整

1. にタッチします。
2. にタッチします。
3. ＜または＞にタッチするか、カーソルを動かして調整します。

MEMO

●インストルメントパネルの明るさを調整すると、タッチスクリーンの照度も調整されます。
●ポジションランプまたはヘッドランプが点灯中に調整できます。

タッチスクリーンの画面のオン／オフ

1. にタッチします。
2. にタッチします。

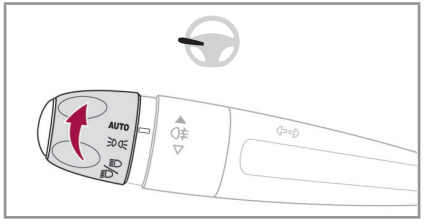
MEMO

再度タッチスクリーンにタッチすると、タッチスクリーンの画面が点灯します。

4

ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）

●ヘッドランプ



⚠警 告

DSマトリクスLEDヘッドライト装着車は、点灯中のヘッドランプを至近距離から直視しないでください。LEDヘッドライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。

MEMO

低温高湿度のとき、ヘッドランプやテールランプのレンズ内側が曇ることがありますが異常ではありません。点灯して数分後になくなります。

●ライトスイッチ

ヘッドランプの操作は、レバーのリングを回します。

AUTO オートライトモード

ポジションランプが点灯します。

⚠警 告

ポジションランプは、他の車からあなたの車を確実に確認できるほどの十分な明るさではありません。事故のおそれがありますので、周囲が暗いときや視界が悪いときは、ヘッドランプを点灯してください。

ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

ヘッドランプをハイビームに切り替えるときは、スイッチレバーを手前に引きます。再度、手前に引くとロービームに切り替わります。

MEMO

DSマトリクスLEDヘッドライト装着車は、より遠くまでの視界を確保するため、走行速度が時速110kmを超えるとロービームの照射範囲が自動的に拡大します。

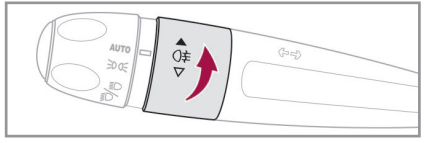
●パッシング

スイッチレバーを浅く手前に引くと、パッシングライトとして使用できます。

●ライト類の異常

ライト類に異常が発生した場合は、警告音とともにSERVICE警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

●リアフォグランプ



ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。

リングを前方へ回すと点灯します。後方へ回すと消灯します。

⚠警 告

リアフォグランプは晴天時や雨天時には使用しないでください。後続車に眩惑を与えます。

MEMO

オートライトでヘッドランプが点灯中に、リアフォグランプを点灯させると、周囲が明るくなってもヘッドランプとリアフォグランプは点灯し続けます。リングを回してリアフォグランプを消灯してください。リアフォグランプと同時にヘッドランプも消灯します。

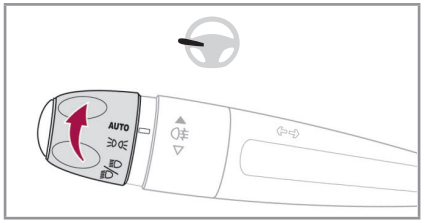
●デイタイムランニングランプ

EVシステムを始動すると、ライトスイッチがAUTOで周囲が明るいときにデイタイムランニングランプだけが自動的に点灯します。デイタイムランニングランプが点灯中は、インストルメントパネル内のポジションランプ表示灯が点灯します。

⚠警 告

点灯中のデイタイムランニングランプを至近距離から直視しないでください。デイタイムランニングランプのLEDライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。

●オートライト



周囲が暗くなったりウィンドウワイパーが作動すると、自動的にポジションランプやヘッドランプが点灯します。周囲が明るくなったりワイパーが停止すると、自動的に消灯します。

作動
リングを**AUTO**位置に回します。

機能解除
リングを**AUTO**以外の位置に回します。

⚠注 意

●昼間の霧や雪のときは、周囲が明るいのでオートライトが作動しないことがあります。
安全のため、手動でライトを点灯してください。
●フロントウィンドウの照度センサーを覆わないでください。オートライト機能が正常に作動しません。

照度センサーに異常が発生した場合は、自動的にヘッドランプが点灯するとともにインストルメントパネルに警告が表示され、警告音とともに故障の発生を通知します。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

MEMO

●**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにすると、すべてのライトが消灯します（フォローミーホーム機能がオンのときを除く）。再度ライトを点灯するには、**AUTO**から他の位置にレバーのリングを回すか、いったん**AUTO**にしてから他の位置にレバーのリングを回してください。
ENGINE START/STOPスイッチがオフの状態で、マニュアル操作でライトを点灯したまま運転席側のドアを開けると、ライト消し忘れブザーが鳴ります。レバーのリングを**AUTO**位置に回すとライトが消灯します。
●**ENGINE START/STOP**スイッチがオフの状態でライトを点灯したままにすると、12Vバッテリーのバッテリー上がりを防止するために一定時間後、自動的に消灯します。

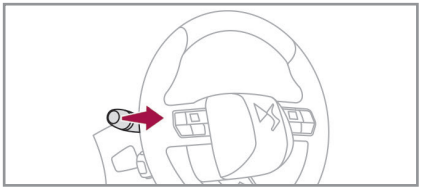
●フォローミーホーム（駐車時照明機能）

周囲が暗いときや夜間にEVシステムを停止した後しばらくの間、ヘッドランプなどが点灯したままになります。

オート操作

オートライトモードになっていると自動的にこの機能が作動します。

マニュアル操作



ライトスイッチの位置にかかわりなく作動させることができます。

ENGINE START/STOPスイッチをオフにして、パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

キャンセル操作

パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

設定

フォローミーホームのオン／オフの切り替え、点灯時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

●エクステリアウェルカムランプ

周囲が暗いときや夜間に車外でリモコンの解錠ボタンを押すと、ヘッドランプなどが点灯して乗車をサポートします。

点灯

リモコンの解錠ボタンを押すと、ドアの解錠とともに点灯します。

消灯

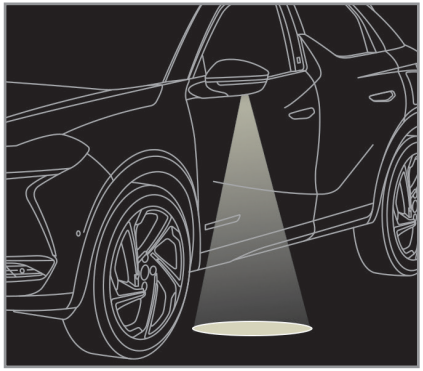
以下のときに消灯します。

- ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにする
- EVシステムを始動する
- ドアを施錠する

設定

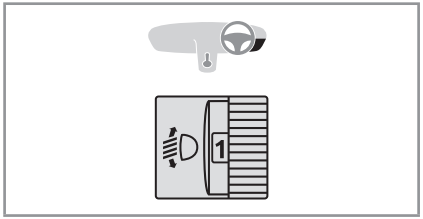
タッチスクリーンで、この機能のオン／オフと点灯時間の設定ができます。

●エクステリアサイドランプ



エクステリアサイドランプは、フロントルームランプに連動して点灯／消灯します。

●ヘッドランプ照射角度調整（ハロゲンヘッドライト装着車）

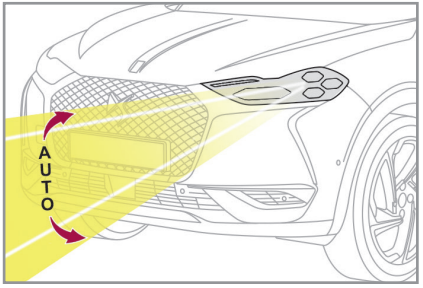


ラゲッジルームに重量物を積んでヘッドランプが上向きになったときは、対向車に眩しくないよう、ダイヤルの数値を上げて照射角度を下向きにしてください。

MEMO

ダイヤルの4、5、6は未使用の目盛りです。照射角度の調整はできないため使用しないでください。

●照射角度自動調整機能（DSマトリクスLEDヘッドライト装着車）



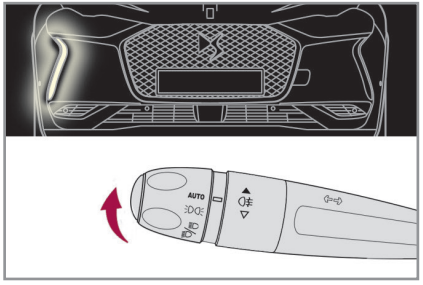
車の積載状態に応じて、ヘッドランプの照射角度を自動的に調整します。

自動調整機能に異常が発生した場合は、警告音とともにSERVICE警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。このとき、ヘッドランプは一番下向きの位置に自動調整されます。

⚠警 告

異常が発生した場合は、ヘッドランプに触らず、当社指定サービス工場で点検を受けてください。感電する可能性があり危険です。

●パーキングライト



路肩に駐車する場合、ポジションランプを片側（車両通行側）のみ点灯させることができます。

ENGINE START/STOPスイッチをオフにして、1分以内にライトスイッチレバーを点灯させたい方に操作します。警告音とともに表示灯（ウィンカー）が点灯します。

以下のとき、ポジションランプは消灯します。

- ライトスイッチレバーを戻す
- **ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにする
- EVシステムを始動する

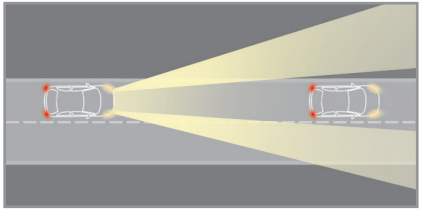
●DSマトリクスLEDビジョン*

DSマトリクスLEDビジョンは、フロントウィンドウ上部のカメラによって先行車や対向車のランプや街路灯などの明るさ、また道路状況を検知し、ハイビームの照射範囲を自動的に変化させるシステムです。独立したハイビーム用のLEDランプユニットが段階的にそれぞれ点灯／消灯し、先行車や対向車へのまぶしさを抑えながら、前方視界の確保を補助します。

⚠警 告

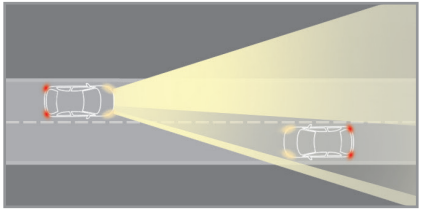
DSマトリクスLEDビジョンは、夜間の走行中の視界を補助する機能です。運転者の責任の下で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従って、正しく使用してください。

先行車がある場合



先行車を検知すると、先行車の周囲を照らすLEDランプユニットのみ消灯します。

対向車がある場合



対向車を検知すると、対向車の周囲を照らすLEDランプユニットのみ消灯します。

対向車とすれ違った後は、消灯したLEDランプユニットを再度点灯します。

*仕様により異なります。

市街地など周囲の明るさが十分にあるエリアに入った場合

街路灯が並んでいる道路や、明るい街中に入った場合は、車両外側から内側に向かって段階的にハイビーム用のLEDランプユニットが消灯し、ロービームの点灯に切り替わります。

市街地などから出て周囲の明るさが十分ではないエリアに入った場合

街路灯が少なく明るさが十分にない道路などに入った場合は、車両内側から外側に向かって段階的にハイビーム用のLEDランプユニットが点灯し、ロービームからハイビームに切り替わります。

機能をオンにする

1. ライトスイッチレバーのリングを**AUTO**位置に回します。
2. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
3. **車両設定**にタッチします。
4. **ヘッドライト**にタッチします。
5. **アダプティブライト**にタッチします。

- ●DSマトリクスLEDビジョンは時速40km以上で作動します。時速20km以下になると作動が停止します。
- ●**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてもシステムのオン／オフの設定は保持されます。

インストルメントパネルの表示

ロービームが点灯すると、この表示灯が点灯します。

ハイビームが点灯すると、この表示灯が点灯します。

作動を中断する

システム作動中でも、ライトスイッチレバーを手前に引くことでDSマトリクスLEDビジョンの作動を中断し、オートライトモードに切り替えることができます。DSマトリクスLEDビジョンの作動を再開したいときは、再度ライトスイッチレバーを手前に引きます。

MEMO

- ●機能を中断または再度作動させると、状況により、ハイビームまたはロービームが点灯します。
- ●濃い霧が発生している場所を走行しているときは、自動的にDSマトリクスLEDビジョンが一時中断されることがあります。DSマトリクスLEDビジョンが一時中断されると、表示灯が消灯します。その後、システムがDSマトリクスLEDビジョンの作動に適していると判断すると、DSマトリクスLEDビジョンの作動が再開します。
- ●リアフォグランプを点灯するとDSマトリクスLEDビジョンが中断されます。

機能をオフにする

DSマトリクスLEDビジョンをオフにするには、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

- ●DSマトリクスLEDビジョンをオフにすると、オートライトモードに切り替わります。
- ●ライトスイッチレバーの操作ではDSマトリクスLEDビジョンをオフにできません。

システムの異常

DSマトリクスLEDビジョンやフロントウィンドウ上部のカメラに異常が発生したときは、警告音とともに表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。
当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●以下のようなときは、機能が正確に作動しないことがあります。
- 降雪、豪雨、濃霧などの悪環境のとき
- フロントウィンドウが汚れている、曇っている、ステッカーを貼っているなど、カメラ部分の視界が不十分なとき
- 看板や標識などに反射した強い光が車両に当たっているとき

●カメラは以下のような対象物は検知しません。
- 歩行者のように光を発しないもの
- 高速道路の中央分離帯などで光を遮られている車両
- 急勾配な坂の頂上やふもと、曲がりくねった道、交差点などにおける周囲の車両

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。

●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。

●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

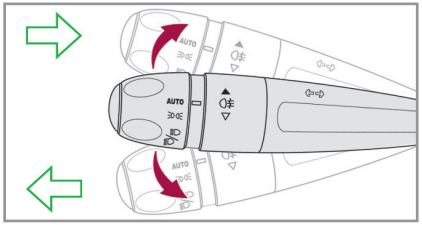
⚠警 告

●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

⚠注 意

フロントウィンドウの照度センサーを覆わないでください。DSマトリクスLEDビジョンが正常に作動しません。

●方向指示器

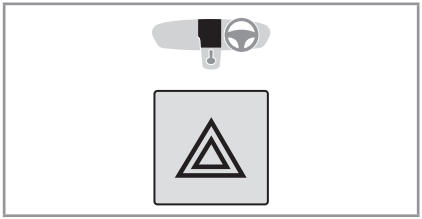


右方向に出す場合：ライトスイッチレバーを上に動かします。
左方向に出す場合：ライトスイッチレバーを下に動かします。

MEMO

- ●車線変更などのとき、ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。
- ●時速80km以上で運転している際に方向指示器を20秒以上作動させた場合、作動音が序々に大きくなります。

●ハザードランプ



ENGINE START/STOPスイッチのポジションに関係なくスイッチを押すと作動します。
他車に緊急停車中であることを示します。

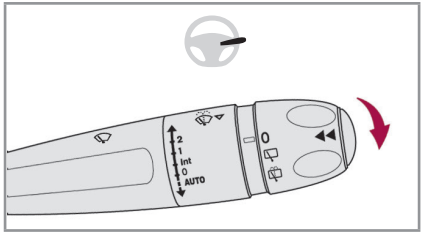
緊急制動表示灯
急ブレーキをかけると、減速度によってハザードランプが自動的に点滅を始めます。車が加速を始めると自動的に解除されますが、スイッチを押して解除することもできます。

MEMO

渋滞の最後尾についたときは、手動でハザードランプを点滅させて、他の運転者に警告してください。

ワイパー／ウォッシャー

●フロントワイパー



ワイパーレバーは以下のように5段階で作動します。

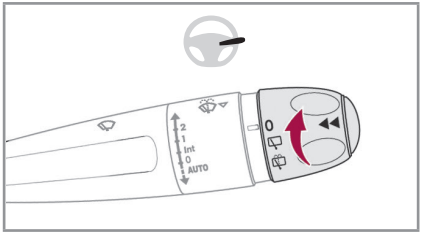
2　高速作動
1　通常作動
Int　間欠作動
0　停止
AUTO　自動作動

間欠作動は、車速に応じて休止時間が変化します。

MEMO

ワイパーレバーが高速作動や通常作動のポジションにあるときでも、時速5km以下で走行している場合はワイパーの休止時間が長くなります。時速10kmを超えると元の休止時間に戻って作動します。

●リアワイパー



リングを回すとリアワイパーが作動します。（間欠式）
リングをいっぱいまで回している間、ウォッシャー液が噴射され、ワイパーが作動します。リングを放すと数秒後にワイパーが停止します。

停止

間欠作動

ウォッシャー作動

リバース連動機能

フロントワイパーを作動中にシフトポジションを**R**にすると、リアワイパーが作動します。
シフトポジションを**R**から変更すると、リアワイパーは停止します。
この機能のオン／オフを切り替えるときはタッチスクリーンで設定します。

MEMO

リアウィンドウに雪が積もっているときやテールゲートにキャリアを取り付けているときは、この機能をオフにすることをお勧めします。

注 意

- ●ウィンドウガラスが乾いているときは、ワイパーを使用しないでください。ウィンドウに傷を付けることがあります。
- ●外気温が高温のときや、低温で凍結のおそれがあるときは、ワイパーがウィンドウに貼り付いていないか確認してください。ワイパーを損傷するおそれがあります。

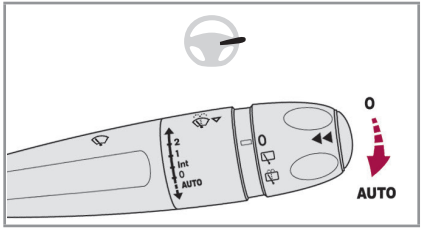
MEMO

- ●**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにして1分以上経過すると、ワイパーレバーがどの位置にあっても、フロントワイパーはオフの状態になります。再度作動させるには、ワイパーレバーを操作してください。
- ●ウィンドウガラスやワイパーに雪が積もっているときや凍結しているときは、ワイパーを使用する前に取り除いてください。

●オートワイパー

ワイパーをAUTOモードにしておくと、降る雨の量に応じて自動的にワイパーが作動します。

作動



AUTO レバーを押し下げるとAUTOモードが作動します。インストルメントパネルの表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。動作確認のためワイパーが1回作動します。
システムに異常が発生すると、ワイパーレバーが**AUTO**の位置では間欠作動となります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

解除

レバーをもう一度押し下げるか、もしくは**O**以外のポジションに動かします。インストルメントパネルの表示灯が消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

ENGINE START/STOPスイッチをオフにして1分以上経過すると、AUTOモードは解除されます。AUTOモードを使用する場合は再度レバーを押し下げてください。

⚠注 意

洗車する際は、オートワイパー機能を解除し、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてください。水滴によってオートワイパーが突然作動して、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあります。

注 意

- フロントウィンドウの雨滴センサーを覆わないでください。
- フロントウィンドウが凍結しているときは、氷などが完全に溶けるまでオートワイパーの使用を控えてください。

●ウィンドウウォッシャー

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射され、ワイパーが作動します。レバーを放すと数秒後にワイパーが停止します。

レバーを浅く手前に引くと、ウォッシャー液は噴射されずにワイパーが1回だけ作動します。

⚠警 告

外気温が低温で凍結のおそれがあるときは、フロントウィンドウが暖まるまでウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ウォッシャー液がウィンドウガラスに凍り付き、視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。

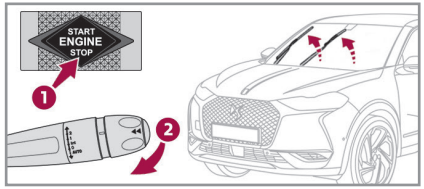
注 意

タンク内のウォッシャー液が不足して、ウォッシャー液が噴射されないときは、ウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ウィンドウに傷を付けることがあります。

MEMO

ウィンドウウォッシャーを作動させるとエアコンが自動的に内気モードに切り替わり外のいやな臭いを遮断します。

●ワイパーブレードの交換



ワイパーブレードの交換は、ワイパーをメンテナンスポジションにしてから行います。

1. ENGINE START/STOPスイッチをオフ①にしてから1分以内にワイパーレバーを操作する②とワイパーが中央に停止します。（メンテナンスポジション）
2. ワイパーブレードを交換するときはこの位置にしてください。
3. ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにする、またはEVシステムを始動してワイパーレバーを操作すると、ワイパーは元の位置に戻ります。

⚠警 告

傷んだり汚れたワイパーブレードは視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。すべてのウィンドウで良好な視界が確保されるまでは走行しないでください。

MEMO

●ワイパーブレードを長持ちさせるには、次のことに気をつけてください。
- 丁寧に取り扱ってください。
- せっけん水で定期的に洗ってください。
- 紙や異物を挟まないでください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは早めに交換してください。

●ワイパーアームの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。

●ウィンドウガラスに撥水コーティング剤を使用する場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。

間接式タイヤ空気圧警告

ESCシステムが検知しているタイヤの回転に関する情報をもとにして、タイヤの空気圧に大きな変化があった場合に、警告をする機能です。

この機能は、以下のような状況のときに正常に作動します。
・ 初期化がされている。
・ 時速5km以上の速度で走行している。

警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯が点灯し、メッセージが表示された場合はすみやかに停止し、タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。

MEMO

●タイヤの空気圧に20%以上の変化があった場合に警告灯が点灯します。
●異常が検知された場合は、8分以内に警告灯が点灯します。

●間接式タイヤ空気圧警告システムの初期化

タイヤの空気圧を調整したり、ホイールを変更したりした場合は、必ず間接式タイヤ空気圧警告機能を初期化してください。

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **ドライビング機能**にタッチします。
3. **タイヤ空気圧警告　初期化**にタッチします。
4. **Yes**にタッチします。

MEMO

スノーチェーンの脱着については、その都度初期化する必要はありません。

⚠注 意

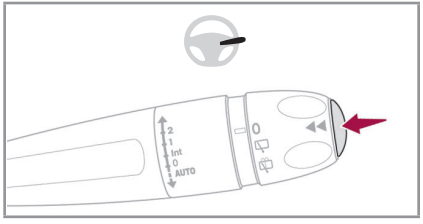
●初期化を行う前に、すべてのタイヤの空気圧が適正であることを確認してください。
●間接式タイヤ空気圧警告機能は、初期化時の空気圧が適正であるかどうかを検知することはできません。

●システムの異常

間接式タイヤ空気圧警告システムに異常が発生した場合は、警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯および**SERVICE**警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

ドライブコンピューター

●コントロールスイッチ



ドライブコンピューターは、ワイパーレバー先端のスイッチを押すことにより、トリップコンピューター、トリップ1、トリップ2を切り替えて表示します。

MEMO

インストルメントパネルの表示モードが**パーソナル**で、**トリップコンピューター**を設定している場合は、トリップコンピューターの情報が常にインストルメントパネルに表示されます。

●トリップコンピューター

トリップコンピューターは、瞬間電費を表示します。

●トリップ1 ／トリップ2

トリップ1 ／トリップ2は、以下の情報を表示します。

・走行距離
・平均電費
・平均速度

例えば、トリップ1を月間の走行の平均に、トリップ2を旅行用に、と使い分けます。

●リセット

トリップ1 ／トリップ2をリセットするときは、ワイパーレバー先端のスイッチを2秒以上押し続けます。リセットは各トリップごとに行うことができます。リセット後しばらくはデータ不足のために正確な値が表示されないことがあります。
数字の代わりに水平なセグメントだけが表示されるときは、当社指定サービス工場にご連絡ください。

●瞬間電費

過去数秒間の電費を表示します。ただし、車の速度が時速30km以上のときのみ作動し、表示します。

●平均速度

コンピューターをリセットしてから現在までの平均速度を表示します。

●平均電費

コンピューターをリセットしてから現在までの平均電費を表示します。

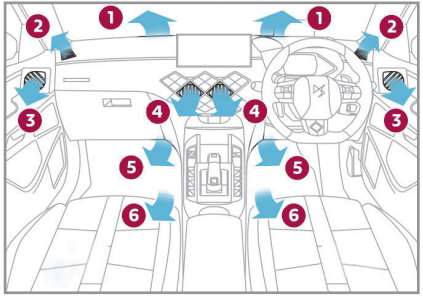
●走行距離

コンピューターをリセットしてから現在までの走行距離を表示します。

第5章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー····· 5-2
タッチスクリーン····· 5-8
E-Tenseリモートコントロール ····· 5-17
ルームランプ····· 5-20
インテリア····· 5-22
ラゲッジルーム····· 5-26

エアコンディショナー



①：フロントウィンドウ吹き出し口
②：サイドウィンドウ吹き出し口
③：ダッシュボード左右吹き出し口
④：ダッシュボード中央吹き出し口
⑤：ダッシュボード足元吹き出し口
⑥：後席用足元吹き出し口

ダッシュボード中央および左右の吹き出し口にはルーバーやシャッターが付いています。これを使用すると、風向や風量の調整、他の吹き出し口へより多くの風を送るなどができます。

MEMO

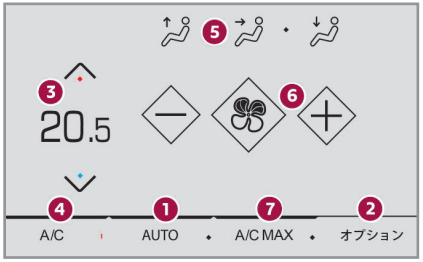
●室内の空気の入れ替えが十分に行えるように、装置を適切にコントロールしてください。
●室内と設定温度に差があっても、設定温度は変更する必要はありません。自動制御により、できるだけ早く温度差を解消します。
●空気の流れをスムーズにするために、次のことに注意してください。
- ボンネット内の外気取り入れ口がふさがれていないか。
- 前席下のエアダクトや吹き出し口がふさがれていないか。
- ラゲッジルーム内の空気排出口がふさがれていないか。

●ダッシュボードには日射センサーがあります。この上に物を置いたり、布を被せるなどしないでください。エアコンが正しく作動しない場合があります。

MEMO

●エアコンを長期間、快適に使用するためにも、1ヶ月に1度は5分から10分間の使用を推奨しています。
●長時間、高温の場所に停車すると、室内の温度は非常に高くなります。吹き出し風量を最大にして数分間、換気を行ってください。
●室内フィルターは定期的に交換してください。2層構造の室内フィルターは、アレルギー物質や悪臭、油汚れの除去に効果を発揮し、室内の空気をよりきれいにします。
●エアコンを正しくお使いいただくため、定期的に点検することを推奨しています。
●湿度が高いときなど、エアコンを使用していると車体の下から無色の水が流れ出ることがあります。これは空気中の水分が凝結したもので、異常ではありません。
●エアコンを使用していても冷気が出ないときは、使用を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

●オートエアコン



オートモードでは、ディスプレイに表示されている数値になるまで、エアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口が選択されます。

⚠注 意

寒冷時や雨天時には、ウィンドウの曇りを防ぐためにオートモードを選択してください。

エアコン設定の表示

エアコンの設定は、タッチスクリーンで行います。

アイコンにタッチしてエアコン設定画面を表示させてください。

MEMO

タッチスクリーン画面上部のエアコン表示にタッチすると、エアコンの設定画面にアクセスできます。この画面では、温度の設定、風量の調整、エアコンのオン／オフができます。

オートモード

MEMO

- ●オートモードでは、エアコンが適切に制御できるよう、各吹き出し口を開いた状態にしてください。
- ●ウィンドウが開いていると設定した温度を保てないことがあります。
- ●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもエアコンの設定は保持されます。

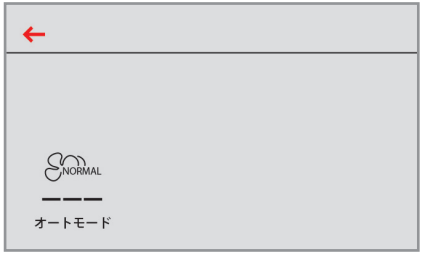
①：オートモードの設定

AUTO　アイコンにタッチすると、インジケーターが点灯しオートモードになります。

②：オプション

オプション

アイコンにタッチすると、オートモードの作動モードを変更できます。



オートモード

室内の送風量を制限し、静かで穏やかに作動します。

オートモード

室内の温度を最適に保ちながら、エアコンの作動音を抑えて作動します。

オートモード

室内の送風量制御を効果的に最大限活かして作動します。

③：温度の設定

ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。
∧にタッチすると温度が上がり、∨にタッチすると温度が下がります。この値は室内温度ではなく、快適さのレベルを表しています。
21に設定しておくと、快適な室内となりますが、お好みにより**14** ～ **28**の間を設定してください。

マニュアルモード

オートモードで設定された条件は個々に変更できます。
変更した条件を元に戻すときは、**AUTO**にタッチするとオートモードになります。

MEMO

温度を最高に設定したいときは、ディスプレイに**HI**が表示されるまで∧にタッチし、最低に設定したいときは、**LO**が表示されるまで∨にタッチします。

5

④：エアコンのオン／オフ

A/C　アイコンにタッチするとエアコン（冷房·除湿機能）は停止します。エアコンを作動させるには、再度アイコンにタッチします。インジケーターが点灯してエアコンが作動します。

⚠警 告

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

⑤：吹き出し口の切り替え

アイコンにタッチして吹き出し口を選択します。

フロントウィンドウとサイドウィンドウ

ダッシュボード中央と左右

足元

⑥：風量の調整

アイコンにタッチすると風量が増減します。

＋

－

MEMO

ディスプレイのファンの羽根が消えるとエアコンが停止します。室温の調整は行われませんが走行により微量の風が吹き出し口から出ます。
再度アイコンにタッチすると、停止時の設定でエアコンが作動します。

⚠警 告

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

⑦：急速冷房

A/C MAX　室温を急速に冷やしたいときに使用します。

アイコンにタッチするとエアコンの設定温度が一番低くなり、ダッシュボード中央と左右吹き出し口の風量が最大になります。また、内気モードに切り替わります。元の設定に戻すには、再度アイコンにタッチします。

●エアコンの全機能のオフ

アイコンにタッチするとインジケーターが点灯し、エアコンの全機能が停止します。

再度アイコンにタッチすると、停止時の設定でエアコンが作動します。

⚠警 告

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

●内／外気の切り替え

外気が車内に入るのを防ぎます。外のいやな臭いの遮断や急速に冷暖房するときに使用します。

アイコンにタッチする度に内気モード／外気モードが切り替わります。インジケーターが点灯しているときは内気モードになっています。

内気モードでの長時間の使用は避けてください。換気が行われず、ウィンドウが曇ることがあります。

⚠警 告

内気循環モードは、必要以外は使用しないでください。ウィンドウが曇るだけでなく、車内の空気が新鮮でなくなり、運転者の集中力が低下したり疲れやすくなるため、事故やケガにつながるおそれがあります。

MEMO

ウィンドウウォッシャーを作動する、またはシフトポジションを**R**にすると自動的に内気モードに切り替わります。

●視界の確保

天候や乗車状況によっては、オートモードを選択していてもウィンドウガラスが曇ることがあります。フロント／リアそれぞれの視界確保モードを作動させて曇りを取ってください。

⚠警 告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントウィンドウ

アイコンにタッチするとインジケーターが点灯し、システムは自動的に曇りを取り除くようにエアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口を選択してコントロールします。
このモードを解除するときは再度アイコンにタッチするか、**AUTO**にタッチします。

リアウィンドウ

EVシステムが始動している状態のときにアイコンにタッチするとインジケーターが点灯し、リアウィンドウやドアミラーの曇りを取ります。スイッチは自動的に切れます。
このモードを解除するときは再度アイコンにタッチします。

●換気モード

ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにしてから数分間、EVシステムが停止していてもエアコン設定画面で風量と吹き出し口の切り替えを操作することができます。

MEMO

- ●換気モードは、12Vバッテリーの電力が十分なときに作動します。
- ●換気モードでは、エアコン（冷房・除湿機能）は作動しません。

タッチスクリーン

コンソールのタッチスクリーンから、車の設定やオーディオシステムの操作など、以下のような操作や表示が行えます。

- エアコンの操作
- 車の機能の設定
- オーディオの設定
- タッチスクリーンの設定
- ハンズフリー通話の設定
- フロント／バックソナーなどの画面表示と設定
- 外気温度計
- カーナビゲーション*

⚠警 告

安全上の理由から、各種設定などの複雑な操作は、車両を停止し、EVシステムが始動している状態で実施してください。

MEMO

本書に記載したタッチスクリーン関連の機能や操作方法、表示、デザインなどは、本書の編集時点のものです。
タッチスクリーンのシステムのバージョンアップや、オプションのナビゲーションの接続によってこれらが変わることがありますので、ご了承ください。

●タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンを操作する際は、一本の指でやや強めにタッチおよびフリック（タッチした状態での指の移動）を行ってください。

MEMO

スクリーンを拭く際は、市販の不織布（メガネ拭きなど）をご使用いただけます。

*仕様により異なります。

●ページの移動

← 前のページに戻ります。

MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

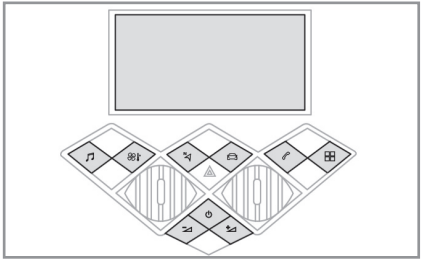
●設定の変更

OK 設定項目の変更後、変更画面にある**OK**にタッチして設定を有効にします。

●詳細設定

さらに詳細な設定項目がある場合には、アイコンにタッチします。

●メニュー



アイコンにタッチするとそれぞれ以下のような設定が行えます。

オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

エアコンの設定画面を表示します。

ナビゲーションを表示します。（装着車のみ）
Apple CarPlay や Android Autoのマップを表示します。（使用中のみ）*

車の機能の設定を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。
Apple CarPlayやAndroid Autoの画面を表示します。（使用中のみ）

画像ファイルを表示します。

スイッチを押すとミュート（消音／停止）になります。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにした後しばらくの間は、スイッチを押すとタッチスクリーンの画面が点灯します。

音量を調節します。

タッチスクリーンの画面上部のアイコンにタッチすると、タッチスクリーンの設定画面を表示します。

MEMO

- ●タッチスクリーンに指3本でタッチすると、メニューが表示されます。
- ●一部の画面は指で左右にスワイプ（タッチした状態で指を滑らせる）することで画面を切り替えることができます。
- ●オーディオ、ハンズフリー通話、Apple CarPlay やAndroid Autoに関しては、付録を参照してください。
- ●ナビゲーションに関しては、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

●日付と時刻の設定

時刻の設定

1. にタッチします。
2. にタッチします。
3. にタッチします。
4. **時間**にタッチします。
5. 時間にタッチしてタッチスクリーンで数値を入力します。
6. **OK**にタッチします。

日付の設定

1. にタッチします。
2. にタッチします。
3. にタッチします。
4. **日付**にタッチします。
5. 日付にタッチし、画面をスクロールして、日付を設定します。

●設定項目一覧

アイコン			設定項目	追加設定項目
	ドライビング機能	パーキングセンサー	アイコンにタッチすると、フロント／バックソナーがオン／オフします。	-
		タイヤ空気圧警告　初期化	間接式タイヤ空気圧警告の初期化を行います。	-
		トラクションコントロール	アイコンにタッチすると、ASRシステムがオン／オフします。	-
		チェック	サービスインジケーターや不具合の発生状況などを呼び出します。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	パーキング	電格ミラー解除	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 OFFにすると、解錠／施錠時にドアミラーが展開／格納します。	-
			リバース連動リヤワイパー	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 リバース時にリアワイパーが作動します。 （フロントワイパー作動時）	-
		ヘッドライト	フォローミーホームライト	アイコンにタッチすると、フォローミーホームがオン／オフします。	点灯時間を設定することができます。
			ウェルカムライト	アイコンにタッチすると、エクステリアウェルカムランプがオン／オフします。 リモコンによって解錠したときに一定時間ライトが点灯します。	点灯時間を設定することができます。
			アダプティブライト*	アイコンにタッチすると、DSマトリクスLEDビジョンがオン／オフします。	-

*仕様により異なります。

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	コンフォート	開錠：運転席側ドアのみ	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 選択解錠モードになります。	-
			トランクのみ開錠	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 テールゲートだけを解錠することができます。	-
		セーフティー	ハンズフリーアクセス	アイコンにタッチすると、プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオン／オフします。	-
			アクティブセーフティブレーキ	アイコンにタッチすると、アクティブセーフティブレーキがオン／オフします。	車間距離を設定することができます。
			制限速度の表示 / 推奨速度*	アイコンにタッチすると、速度規制標識の認識機能がオン／オフします。	-
			トラフィックサインインフォメーション*	アイコンにタッチすると、道路標識の認識機能がオン／オフします。	-
			ブラインドスポットモニター	アイコンにタッチすると、ブラインドスポットモニターがオン／オフします。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
				タッチスクリーンの画面が消灯します。	-
				インストルメントパネルとタッチスクリーンの画面の明るさを調整します。	-
				タッチスクリーンのプロファイルを設定します。	-
			単位	温度の単位や電費表示の単位を設定します。	-
			初期設定	タッチスクリーンの初期化を行います。	-
			システム情報	タッチスクリーンのシステム情報を参照します。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
			プライバシー	スマートフォンアプリとのGPS（車両の位置情報）やその他の車両情報の共有を制限する機能です。 **データおよび車両位置情報をシェアしない**：GPSと車両情報の共有を制限します。Apple CarPlayやAndroid Autoの接続が無効になります。スマートフォンアプリとの情報共有ができなくなります。 **データのみシェア**：GPSの共有を制限します。車両情報の共有を許可します。Apple CarPlay や Android Auto の 接続が無効になります。スマートフォンアプリとの情報共有ができるようになります。 **データ及び車両位置情報をシェア**：GPSと車両情報の共有を許可します。Apple CarPlayやAndroid Autoの接続が有効になります。スマートフォンアプリとの情報共有ができるようになります。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
			明るさ	インストルメントパネルとタッチスクリーンの画面の明るさを調整します。	-
			アニメーション	画面のアクションなどを設定します。	-
				インストルメントパネルの表示モードが**パーソナル**に設定された場合に表示される項目を選択します。 画面左側の∧または∨をタッチすると**パーソナル1**、画面右側の∧または∨をタッチすると**パーソナル2**の表示項目を選択できます。	-
				言語を設定します。	-
				日時を設定します。	-
				表内の**プライバシー**の項目を参照してください。	-

E-Tense リモート コントロール

E-Tenseリモートコントロールは、MYDSアプリで利用できるEVオーナー向けの機能です。MYDSアプリ上で車の充電状態のチェックや、充電予約、プリコンディショニングのスケジュール設定を行うことができ、より快適なカーライフのサポートをします。
E-Tenseリモートコントロールのご利用開始のしかたや詳しい操作方法は、DSサービスストア（https://services-store.dsautomobiles.jp/）をご確認ください。

MEMO

- MYDSアプリは、Android スマートフォンの場合はGoogle Play™で、iPhone の場合はApp Storeからダウンロードできます。
- Android 、Google Play およびGoogle Play ロゴは、Google LLC. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- MYDSアプリの使用にはパケット通信料がかかります。
- E-Tenseリモートコントロールのご利用前に、タッチスクリーンの設定で**データ及び車両位置情報をシェア**を選択し、プライバシーモードを解除してください（5-15ページ参照）。
- E-Tenseリモートコントロールの作動や設定などの操作は、スマートフォンおよび車両が3G回線の通信圏内にあることが必要です。また、リチウムイオンバッテリーに一定以上の残量が必要です。バッテリー残量が一定以上ないと、作動しない場合があります。

MEMO

- 3G回線の通信環境によっては機能を使用できないことがあります。また、タイムラグが発生することがあります。
- 一度設定のリクエストを送信してから続けて次のリクエストを送信する場合は、前回送信したリクエストが実行されたことを確認してから次のリクエストを送信してください。また、前回のリクエストが実行されてから60秒以上経過した場合は、車両がスリープ（ドライブセレクターレバーの**P**表示が消灯）した後約30秒待ってから次のリクエストを送信してください。60秒経過後すぐに送信すると、エラーが発生することがあります。
- 車両が一週間程度使用されていないとE-Tenseリモートコントロールが作動しない場合があります。一定時間車両を走行させ、EVシステムを停止してからしばらくすると再度機能を利用できるようになります。

MEMO

●MYDSアプリやDSサービスストア（https://services-store.dsautomobiles.jp/）についての詳細は、当社販売店またはDSコール（0120-92-6813 9:00-19:00 年中無休）にお問い合わせください。

●充電予約について

充電の開始時刻をあらかじめ設定しておくことで、お好みの時間帯にリチウムイオンバッテリーの充電を開始することができます。
電力量料金がお得な時間帯に充電をスタートさせることで、充電にかかる電気料金を安く抑えられる場合があります。

MEMO

●設定した予約時刻に充電を開始するには、車両を充電器やコンセントに接続し、充電できる状態にしておく必要があります。
充電のしかたの詳細は、P.7-24の「リチウムイオンバッテリーの充電」項を参照してください。
●リチウムイオンバッテリーが満充電に近い場合、充電予約が作動しない場合があります。
●急速充電器で充電予約を行うことはできません。

●プリコンディショニングについて

お出かけ予定時刻を設定しておくことで、お出かけ前にエアコンを作動させて車室内を快適な温度にしておくことができます。
車両を充電器やコンセントに接続しておけば、コンセントや充電器から供給される電力でエアコンを作動させるため、リチウムイオンバッテリーの消費を抑えることができます。

プリコンディショニングを作動させるには、以下の条件を満たしている必要があります。

- **ENGINE START/STOP**スイッチがオフになっている
- 車が施錠されている
- リチウムイオンバッテリーの残量が50%以上ある（車両が充電器やコンセントに接続されていれば、リチウムイオンバッテリーの残量に関わらずプリコンディショニングが作動します）

⚠警 告

お子さまや介護の必要な方、ペットを車室内に残さないでください。プリコンディショニングを設定していても、システムの自動停止などの理由で車内が高温または低温になることがあり、重大な障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

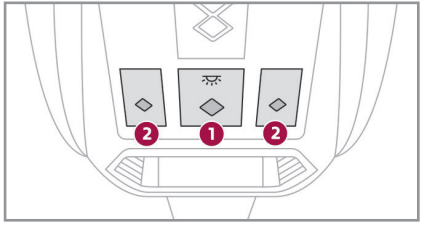
MEMO

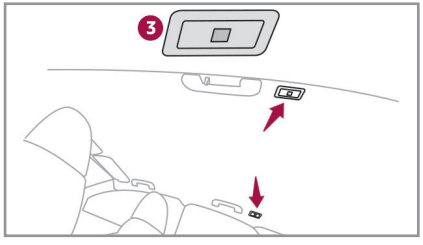
- プリコンディショニングは、車室内の温度を約21℃に保つようにエアコンを作動します。温度の調整はできません。
- エアコンの作動は設定時刻の最大約45分前に開始され、設定時刻の約10分後に停止します。
- プリコンディショニングの作動スケジュール設定は、設定時刻の45分前までに完了させてください。例えば7時45分にエアコンを作動させたい場合は、7時前までに設定を完了しないとエアコンは作動しません。
- リチウムイオンバッテリーの充電中にプリコンディショニングが作動しているときは、満充電までに必要な時間が延びることがあります。
- 次のようなときは、プリコンディショニングの効果が少なくなったり、リチウムイオンバッテリーの残量が低下することがあります。
  - 外気温が高いとき
  - 日射が強いとき
  - 外気温が低いとき

MEMO

- 繰り返し予約（曜日設定）が設定されているとき、2日連続してプリコンディショニングが作動したにもかかわらず車を使用しなかった場合には、プリコンディショニングの作動スケジュール設定が解除されます。

ルームランプ





①：フロントルームランプ
②：フロントマップランプ
③：リアマップランプ

●フロントルームランプ

フロントルームランプ①は、次の状況で点灯します。

- ドアのロックを解除したとき
- ENGINE START/STOPスイッチをオフにしたとき
- ドアが開いたとき
- フロントルームランプにタッチしたとき

また、次の状況では消灯します。

- ドアをロックしたとき
- ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにしたとき
- EVシステムを始動したとき
- 最後のドアが閉まって30秒後
- フロントルームランプにタッチしたとき

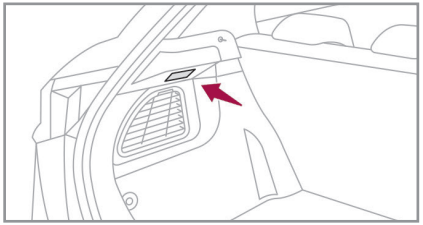
MEMO

フロントルームランプに長くタッチしてオフにすると、消灯したままになります。

●フロントマップランプ／リアマップランプ

フロントルームランプに連動して点灯／消灯します。また、ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはEVシステムが始動している状態のとき、フロントマップランプ②／リアマップランプ③にタッチすると点灯／消灯します。

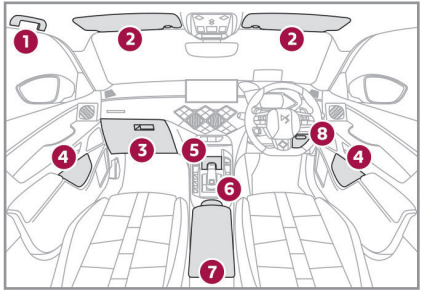
●ラゲッジルームランプ



テールゲートの開閉に合わせて点灯／消灯します。

点灯時間は、次の状況で変わります。
- ENGINE START/STOPスイッチをオフにして約10分間
- エコノミーモードで約30秒間
- EVシステムを始動すると無制限

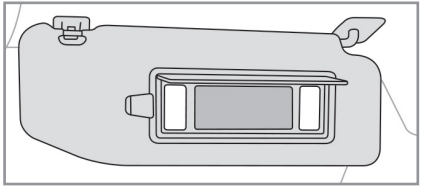
インテリア



●各部の名称

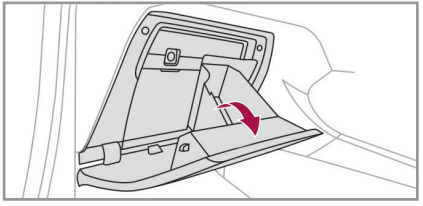
①：グリップハンドル
②：サンバイザー
③：グローブボックス
④：ドアポケット
⑤：ワイヤレス充電器
⑥：カップホルダー
⑦：フロントアームレスト（小物入れ）*／12V電源ソケット（最大使用電力：120W）
⑧：小物入れ*

●サンバイザー



サンバイザーの裏側には、ミラーが備えつけられています。
ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはEVシステムが始動している状態のときにカバーを開けるとライトが点灯します。
通行券などを挟むカードホルダーも備えつけられています。

●グローブボックス



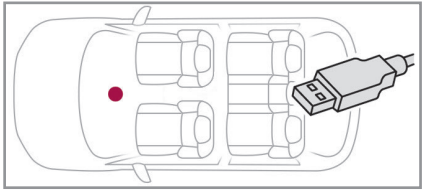
ハンドルを引くと開きます。

⚠警 告

グローブボックスのふたを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に身体がぶつかり、ケガをするおそれがあります。

*仕様により異なります。

●USB ポート

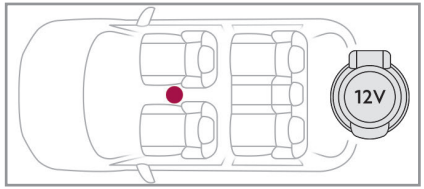


センターコンソールのUSBポートにさまざまなデバイスをつなげ、保存された音楽を車両スピーカーで楽しむことができます（接続する機器やファイル形式により再生できないものもあります）。
ステアリングスイッチおよびタッチスクリーンで再生操作が行えます。
USBポートを使用すると、接続したデバイスが自動的に検出されます。

MEMO

- ●USBポートへ接続すると、自動的に接続した機器の充電が行われます。
- ●使用電力が規定容量を超える機器を使用するとメッセージが表示されることがあります。

●12V電源ソケット



12V電源（最大使用電力：120W）を使用する際は、カバーを持ち上げてはずし、適切なアダプターを接続します。

MEMO

- ●12V電源ソケットを使用するときは、最大使用電力を守ってください。規定容量を超える電気製品を使用すると、車両ヒューズが切れることがあります。
- ●接続する機器によっては、車に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性があります。

●ワイヤレス充電器

ワイヤレス充電器は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）によるワイヤレス充電規格Qiに適合したスマートフォンなどの携帯機器を、Qiマークのある充電エリアに置くだけで充電することができます。

MEMO

「Qi（チー）」は、Wireless Power Consortiumの登録商標です。

充電

EVシステムが始動している状態のときに携帯機器の充電面を下にして、充電エリアの中心付近に置くと、表示灯が緑色に点灯し、充電が開始されます。
充電が完了すると、表示灯が消灯します。

MEMO

- ●携帯機器の充電を開始する前に、充電エリアに異物がないか確認してください。
- ●携帯機器の充電は、1度につき1つの機器のみ可能です。
- ●ドアを開けたり**ENGINE START/STOP**スイッチの操作を行うと一時的に充電が停止することがあります。

表示灯

消灯しているとき
- EVシステムが停止しています
- 充電が完了しています
- 充電エリアに携帯機器がありません

緑色に点灯しているとき
- 携帯機器を検出しています
- 充電中です

橙色に点滅しているとき
- 携帯機器と充電エリアの間に異物があります
- 携帯機器が充電エリアの中心からずれました

橙色に点灯しているとき
- 携帯機器に異常があります
- 携帯機器の温度が上昇しました
- ワイヤレス充電器が故障しました

MEMO

- ●表示灯が橙色に点滅したら、携帯機器と充電エリアの間にある異物を取り除くか、携帯機器を充電エリアの中心付近に置き直してください。
- ●表示灯が橙色に点灯したら、一旦充電を停止し、しばらくしてから充電を開始してください。解決しない場合は、当社指定サービス工場へご連絡ください。

*仕様により異なります。

⚠警 告

●安全上の理由から、携帯機器を充電する場合、車両を停止した状態で操作してください。
●ワイヤレス充電器が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。
●機器の故障や火災を防ぐために、次のことをお守りください。
- 携帯機器と充電エリアの間に金属製のものなどを挟まないでください。
- 充電エリアにものを置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 指定の携帯機器以外は使用しないでください。
- 磁気を帯びたものを近付けないでください。
- 充電エリアが汚れた状態で充電しないでください。
- 充電エリアを水などで濡らさないでください。

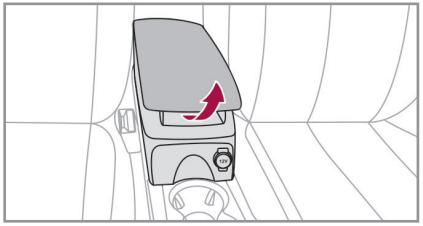
注 意

携帯機器の充電中は、充電エリアの付近にコインやスマートキーなどの金属製のものなどを置かないでください。発熱により機器が故障するおそれがあります。

MEMO

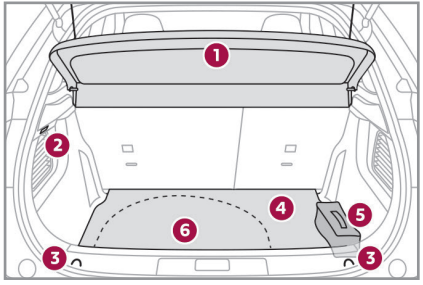
●充電中は携帯機器が温かくなることがありますが、異常ではありません。
●携帯機器にカバーやアクセサリーを取り付けた状態で充電しないでください。カバーやアクセサリーの種類によっては、充電できないことがあります。
●近くに強い電波を発する設備があるときは充電できないことがあります。
●携帯機器の種類により充電できないことがあります。
●携帯機器の取扱説明書も参照してください。

●フロントアームレスト*



アームレストの中に小物入れがあります。

ラゲッジルーム



●各部の名称

①：リアパーセルシェルフ
②：ラゲッジルームランプ
③：固定リング
④：ラゲッジルームマット
⑤：パンク修理キット*／工具入れ*
⑥：パンク修理キット*／工具入れ*

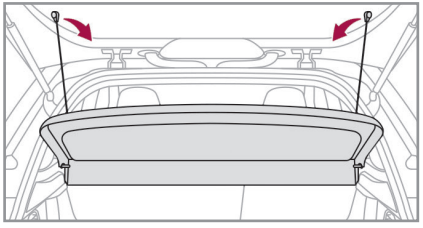
⚠警 告

ラゲッジルームに荷物を積む際には、しっかりと荷物を固定してください。固定されていないと荷物が突然動き、走行に影響をおよぼしたり、急ブレーキや事故の際に、荷物により乗員がケガをするおそれがあります。

●リアパーセルシェルフ

リアパーセルシェルフの後部は、テールゲートを開くと同時に持ち上がります。

はずしかた

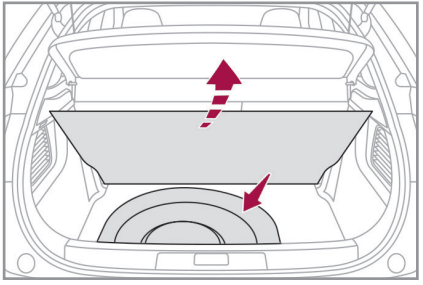


1. 2つのひもをテールゲートからはずします。
2. シェルフを一方に少し傾けながら持ち上げてはずします。

⚠警 告

リアパーセルシェルフの上には荷物を積まないでください。急ブレーキのときなどに荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

●パンク修理キット*／工具入れ*



ラゲッジルームマットのストラップを引いて取りはずすとパンク修理キット／工具入れにアクセスできます。

*仕様により異なります。

第6章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ…… 6-2
内装のお手入れ…… 6-3
モータールームの点検…… 6-5
電球の交換…… 6-9
ヒューズの交換……6-12
電費の改善について……6-13
推奨交換時期……6-14
推奨油脂類……6-14
推奨点検時期……6-15

外装のお手入れ

自動車の使用される環境はさまざまで、工場地帯の酸やススを含んだ空気、鉄道沿線の鉄粉、沿岸部の塩分を含んだ風、積雪地帯の融雪剤などは車体に対して腐食、錆といった悪影響を与えます。
長期間にわたって車を美しく安全に使用していただくためには、こまめなお手入れをお勧めします。

●洗車機による洗浄

通常のお手入れは、洗車機による洗浄で十分です。
ただし、ボンネットの合わせ目、ドアの下などは汚れが残ることが多いので、手洗いをお勧めします。

●手による洗浄（手洗い）

まずホースでたくさん水をかけて、ほこりを落とします。
次にスポンジと適当に薄めたカーシャンプーで車体の上から下へと洗います。
最後に車体の下側をホースで水をかけてきれいにします。

⚠警 告

洗車をするときは、モータールーム内に水をかけないでください。電気部品などに水がかかると、故障や火災などの原因になるおそれがあります。

注 意

●塗装の劣化や車体の腐食や錆を防ぐために、次のような場合は直ちに洗車して汚れを落としてください。
- 海岸部を走行した後
- 積雪地帯で融雪剤などを散布した道路を走行した後
- 樹液、花粉、鳥のふん、虫の死がい、コールタールなどが付着したとき
- 泥など汚れが付着したとき
- 塗装面にガソリンやベンジンなどの有機溶剤が付着したとき

●溶剤や研磨剤入り洗剤、ガソリンやオイルなどを使用したり、研磨スポンジなどで強くこすったりしないでください。

注 意

●自走式の洗車機を使用するときは、ドアおよびテールゲートを施錠し、スマートキーを車両周辺の検知エリアから出してください。また、プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能をオフにしてください。
●洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上ボディ（ドアシール、カメラやセンサー、塗装面が弱くなっている箇所など）から離してご使用ください。
●寒冷時の洗車は行わないでください。ブレーキに水がかかったり、ブレーキ装置に水が入ったりすると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
●ボディが熱いときや炎天下での洗車は行わないでください。水や洗剤が拭き取る前に蒸発し、ボディにはん点が残ることがあります。
●ワックスがけは塗装面の汚れを洗車などで取り除き、ボディが乾いてから行ってください。ワックスは容器に記載されている説明に従ってかけてください。

注 意

●炎天下でのワックスがけは行わないでください。必ず塗装面が冷えているときにワックスをかけてください。
●塗装されていないバンパーなどの樹脂部品やゴム部品、ガラス、ミラーやカメラレンズ部にワックスを使用しないでください。ワックスが付着したら、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ拭き取ってください。
●デカール部分には高圧洗浄機を使用しないでください。傷が付いたり、はがれたりするおそれがあります。*
●デカール部分の洗浄は、ホースで25℃～40℃の水をたくさんかけて行ってください。ホースの水はデカールのカット部分へ斜めに当てず、正面からかけてください。*

MEMO

●汚れがひどく通常のお手入れでは落とせない場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。
●塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。

内装のお手入れ

●レザー

レザーは、汚したままにしておくと摩耗してもろくなります。水などで汚れたら早めに拭き取ってください。また、定期的にお手入れすることをお勧めします。
清掃は、やわらかい布に石けん液を含ませ、よくしぼって表面を拭きます。その後やわらかい清潔な布で乾拭きします。
汚れがひどいときは、市販の皮革用洗剤を使用します。

注 意

●皮革の表面に水分や油汚れが残っている場合は、清掃前に拭き取ってください。
●皮革の表面を傷つけるおそれのある汚れは、清掃前に水につけて固くしぼった布で取り除いてください。
●ベンジンやガソリンなどの有機溶剤、アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤は使用しないでください。
●皮革用洗剤を使用して清掃するときは、レザー以外の部分に洗剤が付着しないように注意してください。

●ビニール(インストルメントパネル、ドアトリムパッド、ヘッドライニング)

やわらかい布に温かい石けん液を含ませ、よくしぼって拭きます。

●シートベルト

石けん水をつけた固くしぼった布で、ベルト部分だけを拭きます。
清掃時は、金属部分に水が付かないようにしてください。
当社販売店では、シートベルトに使用できるクリーニング製品を取り扱っています。

●ウィンドウガラス、ミラー

市販のガラス専用クリーナーで洗浄してください。

●フロアマット、カーペット

車外に取りはずし、ほこりや砂を十分に落として内装用洗剤で洗ってください。

*仕様により異なります。

●長期間使用しないとき

車を長期間使用しないときは、保管中の故障を防ぐために以下の保守を行ってください。

保管前に行うこと

- タイヤのフラットスポット（変形）を防ぐために、タイヤ空気圧を規準より30～50%ぐらい上げてください。
- 12Vバッテリーの端子をはずしてください。
- 必要に応じて、ボディーカバーをかけてください。

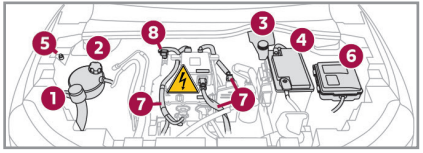
保管中に行うこと

- 1ヶ月に1回程度、12Vバッテリーの端子を接続し、EVシステムを始動して数分～数十分そのままの状態で12Vバッテリーを充電してください。
- 3ヶ月に1回程度、リチウムイオンバッテリーを満充電にしてください。
  リチウムイオンバッテリーを充電するときは、12Vバッテリーが接続されていること、12Vバッテリーがバッテリー上がりを起こしていないことを確認してください。

⚠警 告

車内を清掃するときは、ホースで水をかけたり、高圧洗浄機などを使用しないでください。また、洗剤などの液体をこぼさないでください。電気部品などにかかると、故障や火災につながるおそれがあります。

モータールームの点検



①：ウィンドウウォッシャー液タンク
②：クーラント（冷却水）タンク
③：ブレーキフルードタンク
④：12Vバッテリー
⑤：アースポイント（−）
⑥：ヒューズボックス
⑦：400V高電圧システム
⑧：サーキットブレーカー

⚠警 告

●モータールームから蒸気や冷却水が噴き出ている場合は、ボンネットを開けないでください。やけどやケガを負うおそれがあります。
●作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
●EVシステムが始動している状態のとき、エアコン（プリコンディショニングを含む）が作動しているとき、リチウムイオンバッテリーを充電しているとき、充電予約がセットされているときなど車両が充電器やコンセントに接続されているときは、モータールーム内の点検を行わないでください。
400V高電圧システムが作動していると、感電するおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠警 告

●モータールーム内の点検をする前に、EVシステムが冷えていることを確かめてください。
EVシステムが熱いときは**ENGINE START/STOP**スイッチがオフになっていてもファンが回りだして、思わぬケガをすることがあります。
●モータールーム内の点検をする前に、EVシステムが停止しているのを確認し、スマートキーを車外に出してください。また、シフトポジションが**P**で、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。
●モータールーム内の400V高電圧システムの点検や整備は当社指定サービス工場にお申し付けください。高電圧システムは誤った取り扱いをすると、重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

⚠警 告

●モータールーム内のサーキットブレーカーは絶対に触らないでください。サーキットブレーカーは、当社指定サービス工場での車両の修理や点検時、事故や火災などの消防出動時に、リチウムイオンバッテリーの高電圧回路を遮断するために使用します。
●熱くなっているモータールーム内の部品には触れないでください。また、熱くなっているモータールーム内の部品の上に、オイルなどの液体をこぼさないでください。やけどや火災のおそれがあります。

⚠注 意

モータールームのカバー類を取りはずすときは、止めているクリップを損傷しないように注意してください。また、取り付けるときにも注意して取り付けてください。
カバーがしっかりと取り付けられていないと、走行中にはずれて可動部に巻き込まれるなどして、故障や事故の原因になることがあります。

注 意

モータールームへの高圧洗浄は、電子機器への影響を避けるためにも絶対におやめください。

●ブレーキフルード

点検

ブレーキフルードの量は、タンクのMAXレベル付近にあれば適正です。定期的に量を確認してください。

交換

ブレーキフルードは、時間がたつと吸湿し耐熱温度が低く（ベーパーロックが起こりやすく）なりますので、定期的に交換してください。
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

⚠警 告

ブレーキフルードが肌に直接触れるのは避けてください。腐食性が強く、健康に害をおよぼすことがあります。

注 意

ブレーキフルードは車の塗装面を傷めますので、付着した際にはすぐに水で洗い流してください。

MEMO

ブレーキフルードの交換をしたら、タンクのキャップに付着した汚れを落としてから取り付けてください。

●冷却水の点検

点検は、EVシステムを停止してから1時間以上経過して、冷却水が冷えていることを確認してから行ってください。
冷却水が少ないときは、冷却水を補給します。冷却水の減りが著しいときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
冷却水の補給には、当社純正クーラントを使用してください。

⚠警 告

ラジエター内の圧力が低下する前にキャップをはずすと、高温の冷却水が噴出しやけどの原因になります。

MEMO

●冷却水の補給は当社指定サービス工場にお申し付けください。
●冷却水の交換は必要ありません。

●ウォッシャー液

タンク内のウォッシャー液が少ないときは、当社の推奨品で補給してください。

●12Vバッテリー

特に寒冷地の使用では、冬になる前に当社指定サービス工場でのチェックをご依頼ください。

●室内フィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
市街地やほこりが多いところでの走行が多いときは、早めに交換してください。
交換はお近くの当社指定サービス工場にご依頼ください。

●ブレーキパッド

ブレーキパッドは運転の状況により消耗の度合いが変わります。定期的に点検を受けてください。ブレーキパッドが摩耗するとブレーキフルードのレベルも下がります。

●ブレーキディスク

ブレーキディスクは消耗部品です。当社指定サービス工場で定期的に点検を受けてください。

●エレクトリックパーキングブレーキ

交換の必要はありませんが、異常が発生した場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠注 意

環境汚染防止のために、使用済みのブレーキフルードなどは、絶対に地面や下水に廃棄しないでください。

注 意

車のパフォーマンスを最大に引き出すためには、パワーステアリングやブレーキシステム同様、当社が指定する部品を使用することが重要です。

電球の交換

⚠警 告

●作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
●電気回路を改造しないでください。
●DSマトリクスLEDビジョンヘッドライト装着車は、LEDランプに触らないでください。感電し重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
●DSマトリクスLEDビジョンヘッドライト装着車は、点灯中のヘッドランプを至近距離から直視しないでください。LEDヘッドライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注 意

●必ずEVシステムを停止し、ランプを消灯してください。
また、電球の表面が冷えてから交換してください。消灯直後は電球の表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。
●EVシステムの停止直後はモータールーム内が高温になっています。ボンネットを開けるときや電球を交換するときはやけどに注意して作業を行ってください。
●手や衣類（スカーフやマフラーなど）をファンやベルトから離してください。手や衣類が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。

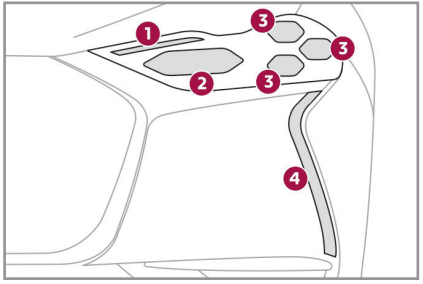
注 意

●交換する電球には、油などの汚れを付けないでください。電球はきれいな乾いた布で持ち、指紋などを付着させないでください。
●ヘッドランプの透明レンズはプラスチック製です。溶剤を使用したり、粗い布などで強くこすらないでください。
●高圧洗車機を使用するときは、ヘッドランプ付近に長時間当てないでください。塗装がはがれるおそれがあります。
●交換作業中に電気配線を切断しないように注意してください。
●ヘッドランプを交換するときは、UVカット仕様の電球を使用してください。ヘッドランプのレンズなどが変色するおそれがあります。
●電球の交換の際は、必ず同じ規格の新しい電球を使用してください。
●色付きバルブは、同じ規格の同じ色の電球を使用してください。

MEMO

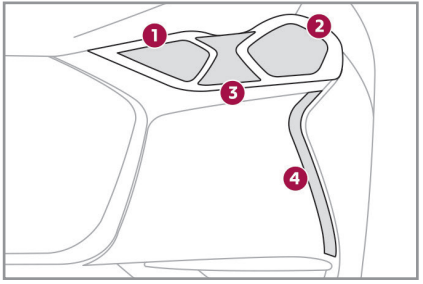
●インストルメントパネルのウィンカー表示灯の点滅が早くなったときは、点滅が早い方の方向指示灯の電球切れが考えられます。
●低温高湿度のときなど、ヘッドランプの透明レンズの内側が曇ることがありますが、異常ではありません。ライトが点灯すると、数分で消滅します。

●ヘッドランプ



DSマトリクスLEDビジョンヘッドライト装着車

①：方向指示器（LED）
②：ハイビームヘッドランプ（LED）
③：ロービームヘッドランプ（LED）
④：デイタイムランニングランプ／ポジションランプ（LED）



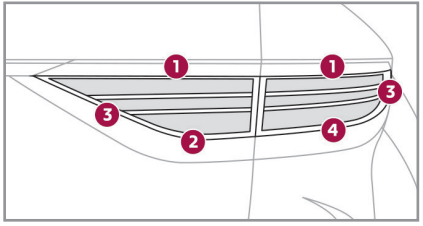
ハロゲンヘッドライト装着車

①：ハイビームヘッドランプ（H7）
②：ロービームヘッドランプ（H7）
③：方向指示器（PWY24）
④：デイタイムランニングランプ／ポジションランプ（LED）

MEMO

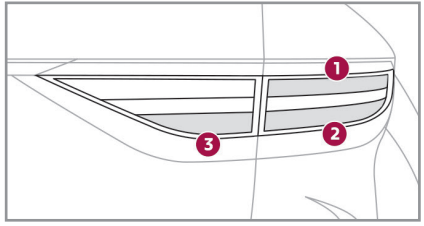
●ヘッドランプ類の交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。
●エクステリアサイドランプ／ドアミラーウィンカーの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。

●テールランプ



DSマトリクスLEDビジョンヘッドライト装着車

①：デイタイムランニングランプ／ポジションランプ（LED）
②：リバースランプ（W16 W）
③：方向指示器（LED）
④：ストップランプ（LED）



ハロゲンヘッドライト装着車

①：ストップランプ／ポジションランプ（W21 ／ 5 W）
②：方向指示器（WY16 W アンバー）
③：リバースランプ（W16 W）

MEMO

●テールランプの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。
●ハイマウントストップランプ、番号灯、リアフォグランプの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。

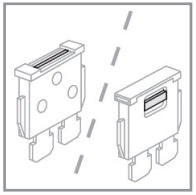
ヒューズの交換

ヒューズボックスは、助手席のグローブボックス内とモータールーム（左側）にあります。
ヒューズの交換は、当社指定サービス工場にご相談ください。

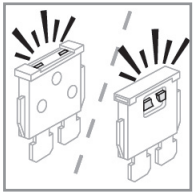
注 意

交換する前に、ヒューズが不良となった原因を見つけて処置をしておいてください。正しい処置をしておかないと、再発するおそれがあります。

ヒューズは容量によって色分けされています。必ず同じ色（容量）のヒューズと交換してください。

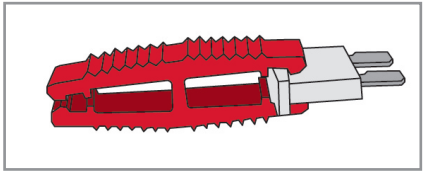


正常なヒューズ



切れたヒューズ

ヒューズを交換するときは、グローブボックス内のカバーに備えてある専用ピンセットを使用してください。



⚠注 意

車の電気回路は、出荷時に装着されている装備に合わせて設計、製作されています。
推奨していないアクセサリーの取り付け、アクセサリーの不適切な取り付け、ワイヤーハーネスの加工などは、他の電装品の正常な作動を妨げたり火災の原因となることがあります。
当社では、当社が供給や推奨していない、10mA 以上の電流を消費するアクセサリーの取り付けや、当社の指示に従わない装着方法によって発生した車、および機器の不具合の修理については、その費用を負担いたしません。
モータールーム内ヒューズボックスにある大容量ヒューズには手を触れないでください。整備が必要な場合は、必ず当社指定サービス工場に依頼してください。
アクセサリーその他の電気製品の取り付けは、当社指定サービス工場にご依頼ください。

電費の改善について

電費は、車の設計だけではなく、車の状態や運転方法によって大きく影響を受けます。車を最良の状態に保ち電費をよくするためにも、定期的に点検整備を行ってください。

●EVシステムのコンディション

主要部品については、少なくとも年に1回は点検を受けてください。

●手荷物など

ラゲッジルームに不用な手荷物などが積みっぱなしになっていると、車両重量が増加して、電費の悪化につながります。
ルーフキャリアやスキーキャリアなどのアクセサリーは、風の抵抗を受けて電費を悪化させます。
必要がなくなったらすみやかに取りはずしてください。

●タイヤ

交換するときは、現車と同一サイズで当社が推奨する銘柄、グレードのタイヤを使用してください。
また、タイヤ空気圧が低すぎるとより多くの電力が消費されます。適切なタイヤ空気圧に調整して走行してください。

●運転方法

走行前にあらかじめプリコンディショニングを作動させ、車室内を適切な温度にしておくことで、走行を始めてからの消費電力を抑えることができます。
運転時は急発進、急加速をするとより多くの電力を消費します。パワーインジケーターを確認しながら走行することで、消費電力を抑えた走行ができます。また、走行中は一定のスピードを保つようにしてください。走行速度が上がると電費も悪化します。法定速度を遵守して、スムーズな運転を心がけてください。減速時には回生ブレーキを使用してゆるやかに減速することで、発生する電力をより多く回収することができます。
あらかじめ走行経路を考慮して、無駄な走行をなくしましょう。特に上り坂の走行は走行可能距離に大きな影響を与えます。
上り坂の少ない走行経路を選択するなどして、消費電力を抑えるようにしましょう。
エアコンは冷やし過ぎたり暖め過ぎたりしないように、控えめな温度に設定してください。また、必要のないときはこまめにエアコンをオフにして余分な消費電力を抑えるようにしましょう。

推奨交換時期

車の使用頻度が高いとき、市街地や高温環境下での使用が多いときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

ブレーキフルード	2年または60,000kmごと
室内フィルター	1年または20,000kmごと

推奨油脂類

ブレーキフルード
DOT4

クーラント
当社純正クーラント

推奨点検時期

車の使用頻度が高いとき、通常よりも厳しい状態の使い方をしたときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

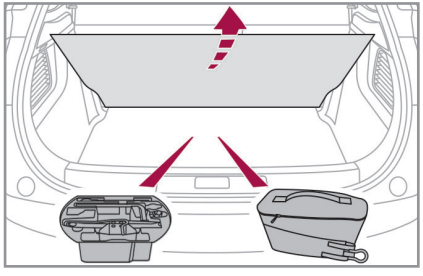
クーラントポンプの点検	100,000kmごと
クーラントpHの点検	初回3年、次回から2年ごと

もしものとき

パンク修理キット ····· 7-2
12Vバッテリーが上がったとき ····· 7-8
けん引されるとき ····· 7-14
EV車の充電システム ····· 7-15

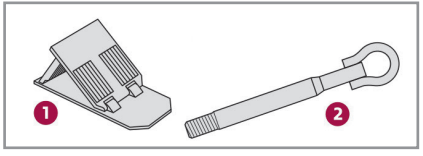
パンク修理キット

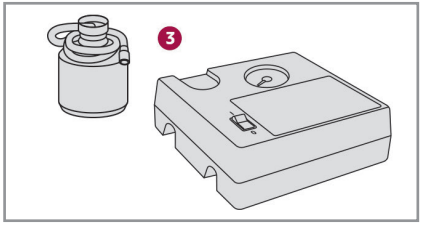
●パンク修理キットの場所



パンク修理キットと工具は、ラゲッジルームマットの下にある工具入れ、またはラゲッジルームにある専用バッグの中に格納されています。

●パンク修理キットと工具





①：輪止め*
②：けん引ボルト*
③：パンク修理キット

⚠警 告

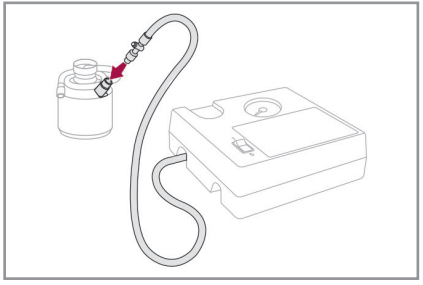
●パンク修理キットで修理した後は、修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーを車内の運転者から見える位置に必ず貼り付けてください。
●パンク修理キットで修理したタイヤで走行するときは、**時速80km**以下で走行してください。

MEMO

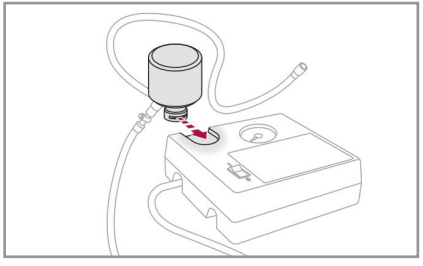
●パンク修理キットは当社販売店でお買い求めいただけます。
●タイヤのトレッド部以外の損傷によるパンクは、パンク修理キットを使用して修理することができません。
●タイヤに刺さった釘などは抜かずにそのまま応急修理をしてください。
●修理キットを使用するときは、すべての手順を行ってください。
●タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。

*仕様により異なります。

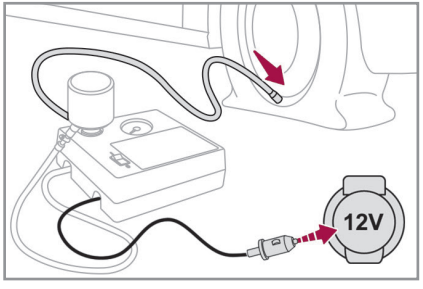
●使いかた



1. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
2. 修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーをはがして、車内の運転者から見える位置に貼り付けます。
3. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、カートリッジに接続します。



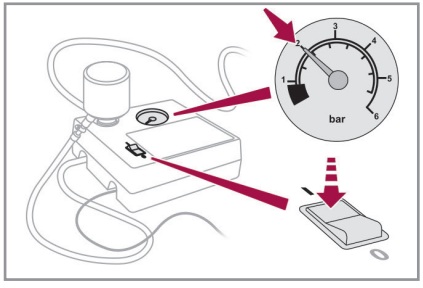
4. 修理剤カートリッジをコンプレッサーに固定します。



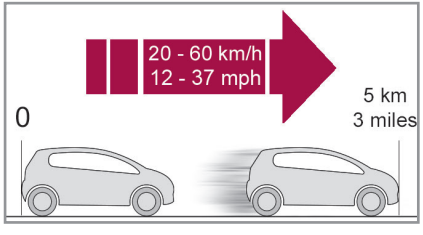
5. 修理剤カートリッジから出ているホースを修理するタイヤのバルブに接続します。
6. スイッチがOになっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードをフロントアームレスト前部の12V電源ソケットに差し込みます。
7. EVシステムを始動します。

⚠警 告

修理剤カートリッジから出ているホースをつなぐ前に、電源を入れないでください。修理剤が噴き出すおそれがあります。



8. スイッチを**I**にして、空気圧を**2.0bars**まで昇圧します。



9. スイッチを**O**にしてから、パンク修理キットを取りはずし、直ちに走行してタイヤ内に修理剤を行き渡らせます。このとき、時速**20～60km**で約**5km**走行します。

⚠警告

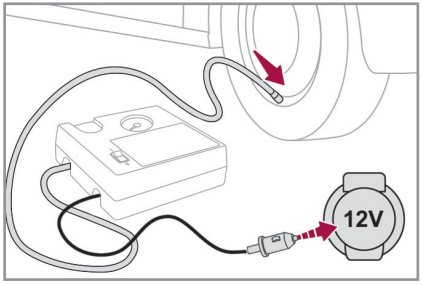
- ●パンク修理キットはコンプレッサーで圧力をかけて修理剤をタイヤに注入します。修理剤の注入中にホースをバルブから抜かないでください。ホースの口から修理剤が噴き出すおそれがあります。
- ●修理剤が目や口に入らないように十分注意してください。
- ●パンク修理キットはお子さまには使用させないでください。

⚠注意

7分以内に**2.0bars**まで昇圧しないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

MEMO

パンク修理キットを取りはずすときは、修理剤が車に付着しないように気をつけてください。付着するとシミになるおそれがあります。



10. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、修理するタイヤのバルブに接続します。
11. スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードをフロントアームレスト前部の12V電源ソケットに差し込みます。
12. EVシステムを始動します。
13. 空気圧が助手席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
    - 昇圧：スイッチを**I**にする。
    - 減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
14. 空気の漏れがないことを確認します。
15. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。
16. 時速**80km**以下で走行し、できるだけ早く当社指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠警 告

パンク修理キットで修理した後は、約**200km**以上走行しないでください。できるだけ早く当社指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠注 意

空気圧が適正値にならないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

⚠注 意

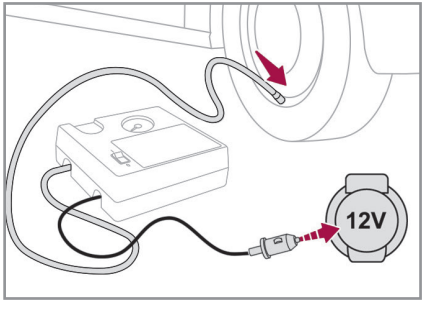
パンク修理剤の有効期限は、製造後約**8**年です。有効期限はカートリッジに表示されています。
例：EXP：04/2028
　　||
　2028年4月まで

MEMO

●修理剤は一度しか使用できません。使用後は、新品の修理剤を当社指定サービス工場でお買い求めください。
●使用済みの修理剤カートリッジは当社指定サービス工場までお持ちいただくか、地域条例に従って廃棄してください。

●タイヤの空気圧を点検する

コンプレッサーを使用してタイヤの空気圧を点検することができます。



1. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、車両のタイヤのバルブに接続します。
2. スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードをフロントアームレスト前部の12V電源ソケットに差し込みます。
3. EVシステムを始動します。
4. 空気圧が助手席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
   - 昇圧：スイッチを**I**にする。
   - 減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
5. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。

MEMO

タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。

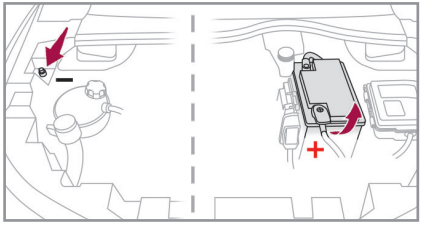
12V バッテリーが上がったとき

万一、12Vバッテリーが上がってしまいEVシステムの始動ができなくなったときは、充電器（バッテリーチャージャー）で充電するか、同じ電圧（12V）のバッテリーで始動させます。
接続には、市販のブースターケーブルを使用します。ケーブルの接続時は、車の充電系統に損傷を与えないように正しく接続してください。

MEMO

- この車両は、押しがけによるEVシステムの始動はできません。
- 12Vバッテリーが上がるとリチウムイオンバッテリーの充電ができなくなります。

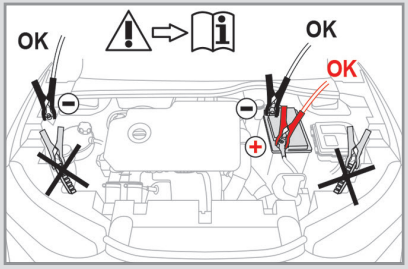
● 12Vバッテリーの位置



12Vバッテリーはモータールーム左側（ボンネットを開いて右側）にあります。
アースポイントはモータールーム右側（ボンネットを開いて左側）の矢印で示した箇所にあります。

注 意

DSマトリクスLEDビジョンヘッドライト装着車は、絶対にブースターケーブルをヘッドランプの背面にある金属部分へ接続しないでください。ヘッドランプを損傷するおそれがあります。



*仕様により異なります。

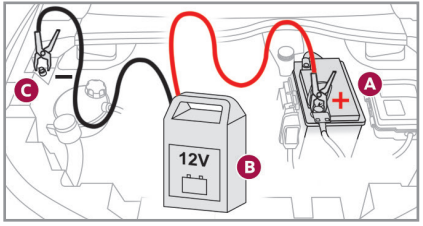
●充電器を使用して充電する

1. オーディオ機器やヘッドライトなど、車両の電装品をすべてオフにします。
2. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
3. シフトポジションがPになっていること、インストルメントパネルが消灯していることを確認します。
4. 充電ポートに充電コネクターが接続されていないことを確認します。
5. 12Vバッテリーのプラス端子（+）のカバーをはずします。*
6. 12Vバッテリーのプラス端子（+）とマイナス端子（−）をはずし、12Vバッテリーをモータールームから取りはずします。
7. 充電器の電源がオフになっていることを確認します。
8. 充電器のケーブルに傷などの損傷がないことを確認します。
9. 充電器のプラス端子(+)を12Vバッテリーのプラス端子（+）に接続します。
10. 充電器のマイナス端子（−）を12Vバッテリーのマイナス端子（−）に接続します。
11. 充電器の取扱説明書に従って充電します。
12. 充電が完了したら、充電器の電源をオフにします。
13. 充電器の電源をオフにしてから、12Vバッテリーのプラス端子（+）から接続したケーブルをはずします。
14. 12Vバッテリーのマイナス端子(−)から接続したケーブルをはずします。
15. 12Vバッテリーをモータールームに戻し、正しく接続します。
16. 12Vバッテリーのプラス端子（+）のカバーを取り付けます。*

注 意

●充電器は12Vのものを使用してください。
●12Vバッテリーを充電する前に、必ず12Vバッテリーのプラス端子（+）とマイナス端子（−）をはずし、12Vバッテリーをモータールームから取りはずしてください。車両や充電器を破損するおそれがあります。

●他のバッテリーで始動する



1. 自車両と救援車が接触しない位置に停車します。
2. オーディオ機器やヘッドライトなど、自車両と救援車両の電装品をすべてオフにします。
3. 救援車両のエンジンを停止します。
4. 自車両のENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
5. 自車両のシフトポジションがPになっていること、インストルメントパネルが消灯していることを確認します。
6. 充電ポートに充電コネクターが接続されていないことを確認します。
7. 自車両の12VバッテリーAのプラス端子（+）のカバーをはずします。*

8. 12Vバッテリー**A**（自車両の上がったバッテリー）・**B**（救援車のバッテリー）のプラス端子（+）を赤いケーブルで接続します。
9. 電源を供給する救援車の12Vバッテリー**B**のマイナス端子（−）に、黒いケーブルを接続します。
10. 未接続の黒いケーブルを、自車両のアースポイント**C**に接続します。
11. 救援車のエンジンを始動し、そのままの状態で数分間待ちます。
12. 自車両のEVシステムを始動します。始動しない場合は、しばらくしてから再度操作してください。
13. **READY**インジケーターが点灯したことを確認したら、接続したケーブルをつないだときと逆の手順ではずします。
14. 12Vバッテリー**A**のプラス端子（+）のカバーを取り付けます。*
15. 約30分ほど自車両のEVシステムが始動している状態のままにします。

注 意

●この車両を救援車として使用したり、この車両の12Vバッテリーで他の車両のバッテリーを充電したりしないでください。
●救援車のバッテリーは12Vのものを使用してください。

MEMO

自車両のEVシステムを始動した後、12Vバッテリーの充電が十分に行われていない状態で走行を開始すると、車両の機能に影響をおよぼすことがあります。

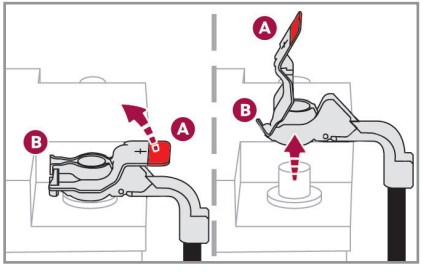
●ケーブルのはずしかた／接続のしかた

車を1ヶ月以上使用しないときは、12Vバッテリーの電力を維持するためにケーブルのプラス端子（+）をはずしておきます。
ケーブルのプラス端子(+)をはずす前に、次のことを確認してください。

- すべてのドア、テールゲート、ウィンドウが閉じている
- オーディオ機器やヘッドライトなど、車両の電装品がすべてオフになっている
- **ENGINE START/STOP**スイッチをオフにし、約4分経過した

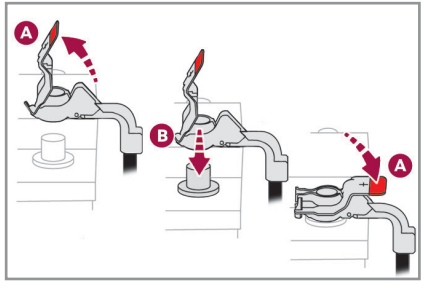
*仕様により異なります。

はずしかた



1. 12Vバッテリーのプラス端子（+）のカバーをはずします。*
2. ロックタブ**A**をいっぱいまで起こしてからクリップ**B**を持ち上げてはずします。

接続のしかた



1. ロックタブ**A**をいっぱいまで起こします。
2. クリップ**B**が12Vバッテリーのプラス端子（+）の上部に来るように位置を合わせ、クリップ**B**の位置がずれないように、上から12Vバッテリーに押し当てます。
3. ラグを広げてロックタブ**A**を倒し、クリップをロックします。
4. 12Vバッテリーのプラス端子（+）のカバーを取り付けます。*

注 意

クリップは正しい位置にないとロックしません。無理にロックタブを倒さないでください。

● 12Vバッテリーを再接続したとき

EVシステムを始動する前に、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにしたまま約1分間保持します。電子機器の初期化が行われます。
長時間12Vバッテリーの接続をはずしていたときは、次の機能の初期化や再設定が必要な場合があります。

・ スマートキー
・ パワーウィンドウ　など

また、12Vバッテリーを再接続した後、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにしたとき、またはEVシステムを始動したときに、アクティブセーフティブレーキに故障が発生したことを示すメッセージなどが表示されることがありますが、これは異常ではありません。走行を開始すると表示されなくなります。

注 意

電子機器に異常を感じたら、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●12Vバッテリーのプラス端子（+）とマイナス端子（−）を逆に接続しないでください。
●EVシステムが始動している状態のときは、12Vバッテリーのプラス端子（+）からケーブルをはずさないでください。
●リチウムイオンバッテリーの充電中は12Vバッテリーのプラス端子（+）からケーブルをはずさないでください。
●ケーブルのプラス端子（+）とマイナス端子（−）を絶対に接触させないでください。
●12Vバッテリーのプラス端子（+）が周辺の金属と接触しないようにしてください。
●救援車の12Vバッテリーのマイナス端子（−）は自車両の12Vバッテリーのマイナス端子（−）に直接つながないでください。必ず自車両のアースポイントに接続してください。
●12Vバッテリーは可燃性のガスを発生しますので、12Vバッテリーの近くでは火気を避けてください。

⚠警 告

●12Vバッテリーのバッテリー液は腐食性の強い希硫酸です。万一皮膚にバッテリー液がかかった場合は、大量の水で洗い流してください。
●凍った12Vバッテリーを充電すると爆発するおそれがあります。12Vバッテリーが凍ったら新品と交換してください。
●黒いケーブル（マイナスケーブル）を車体に接続する際には、燃料系統やブレーキホース／パイプに接触させないでください。
●ケーブルがモータールーム内の回転部分や可動部分に接触しないよう注意してください。

注 意

充電器を使用して12Vバッテリーを充電する前、または他のバッテリーでEVシステムを始動する前に、以下のことを確認してください。

- **ENGINE START/STOP**スイッチがオフになっている
- シフトポジションが**P**になっている
- インストルメントパネルが消灯している
- 充電ポートに充電コネクターが接続されていない

MEMO

12Vバッテリーは硫酸や鉛などの有害物質を含んでいます。環境汚染防止のため、正しく廃棄してください。

●バッテリー上がり防止モード

12Vバッテリーの電圧が一定レベル以下の場合、エアコンやリアウィンドウデフォッガーなどの多く電力を消費する機能が自動的にオフになります。オフになった機能は、12Vバッテリーの電圧が回復した後、自動的にオンに戻ります。

●エコノミーモード

EVシステムが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大40分行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。
EVシステムを再始動すると、電源の供給が再開されます。
すぐにアクセサリーを使用したいときは、EVシステムを数分間始動している状態のままにしてください。
EVシステムが始動している状態のままでいた時間の倍の間、アクセサリーを使用できます。ただし、この時間は5～30分に限られます。

MEMO

- 12Vバッテリーが弱っているときは、EVシステムの再始動ができなくなるおそれがあります。
- 12Vバッテリーの充電が不十分なときは、電源の供給時間が短くなることがあります。

けん引されるとき

この車両は4輪を持ち上げてけん引してください。けん引が必要なときは、当社指定サービス工場またはけん引の専門業者にご依頼ください。

注 意

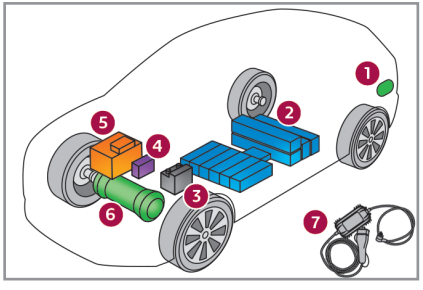
●車輪が接地している状態でけん引しないでください。
●けん引される車両は、ハザードランプをオンにしてください。

MEMO

●この車両で他車をけん引することはできません。
●リア側のけん引ボルト取り付け位置は他車をけん引するためのものではありません。使用しないでください。

EV車の充電システム

●EV車の特徴



EV車は、リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力を使用し、電動モーターにより走行します。

①：充電ポート
②：リチウムイオンバッテリー
③：12Vバッテリー
④：ヒートポンプ
⑤：7.4kW車載充電器
⑥：電動モーター
⑦：車載充電ケーブル（コントロールユニット付き）

充電ポート①
充電ポートには、3kW／6kW普通充電に使用する普通充電用ポートと、急速充電に使用する急速充電用ポートがあります。

リチウムイオンバッテリー②
リチウムイオンバッテリーは、走行するための電力、エアコンなどの空調装置を作動させるための電力を蓄えています。
リチウムイオンバッテリーの残量計はインストルメントパネルに表示され、残量が低下すると2種類の警告灯により段階的に警告します。

12Vバッテリー③
12Vバッテリーは、パワーウィンドウ、ドアロックなどを作動させるとき、オーディオ機器などの車のアクセサリー装備を使うとき、EVシステムを始動するときの電力を供給します。
12Vバッテリーは、リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力で自動的に充電されます。

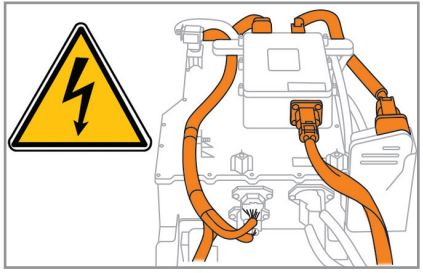
ヒートポンプ④
ヒートポンプはエアコンなど車室内の空調装置用のシステムです。また、リチウムイオンバッテリーと7.4kW車載充電器の冷却機能を制御します。

7.4kW車載充電器⑤
7.4kW車載充電器は、リチウムイオンバッテリーの3kW／6kW普通充電を制御します。

電動モーター⑥
走行するためのモーターです。リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力を使用して電動モーターを回転させることにより、タイヤへ動力を伝えます。
電動モーターは減速するときに発電し（回生ブレーキと呼びます）、発電した電力でリチウムイオンバッテリーを充電することができます。

車載充電ケーブル（コントロールユニット付き）⑦
車両に付属の充電ケーブルです。EV車専用のコンセントで3kW普通充電するときに使用します。
車載充電ケーブルは、ラゲッジルームに格納されています。

●400V高電圧システム



EV車には約400Vの直流高電圧が使用されています。モータールーム内のオレンジ色のケーブルとそのコネクター、オレンジ色のマークのラベルが貼り付けられている部品は、400V高電圧システムの高電圧部品です。

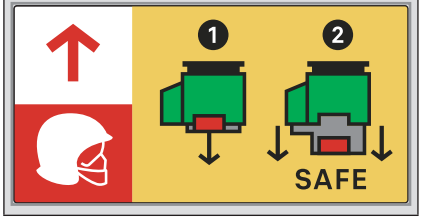
⚠警 告

●走行直後やENGINE START/STOPスイッチをオフにした後は、電動モーターなどの高電圧部品が高温になっていることがあります。モータールーム内に貼り付けられているラベルの注意事項に必ず従ってください。

⚠警 告

●リチウムイオンバッテリー、オレンジ色の高電圧ケーブルとそのコネクター、その他の高電圧部品には触らないでください。感電すると重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。点検や整備は当社指定サービス工場にお申し付けください。

●高電圧システムの次のラベルは当社指定サービス工場での修理や点検時、事故や火災などの消防出動時に、リチウムイオンバッテリーの高電圧回路を遮断するためのサーキットブレーカーの操作方法を示したものです。高電圧システムのサーキットブレーカーは絶対に触らないでください。



⚠警 告

●走行中や事故などのときに床下に強い衝撃を受けたときは、高電圧部品やリチウムイオンバッテリーに重大な損傷が起きているおそれがあります。直ちに安全な場所に車を停止させ、EVシステムを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

●事故などのときに、高電圧部品やオレンジ色の高電圧ケーブルが露出しているときは絶対に触らないでください。

●万一、車両火災が発生したときは、直ちに車内の乗員を安全な場所に避難させ、車両から離れ、消防に出動を要請してください。不適切な消火作業は危険です。絶対に行わないでください。感電すると重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。消防に連絡するときは、電気自動車であることを伝えてください。

●リチウムイオンバッテリー

リチウムイオンバッテリーは、電動モーターやエアコンなどを作動させるための電力を蓄えます。走行したり、エアコンなどの空調装置を作動させると電力が消費されるため、定期的に充電する必要があります。リチウムイオンバッテリーを充電する前に電力を完全に使い切る必要はありません。

リチウムイオンバッテリーの容量（蓄電能力）は、時間の経過や走行状況、充電の繰り返しにより徐々に低下します。これはリチウムイオンバッテリーの特性のため、家電製品と同様に異常ではありません。

⚠警 告

●事故などのときに、リチウムイオンバッテリーが損傷している場合や、液漏れが発生している場合は、触らず、すみやかに当社指定サービス工場にご連絡ください。
万一、リチウムイオンバッテリーから漏れた液体が皮膚に付着したときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受けてください。

●車両の修理の際は必ず当社指定サービス工場にご相談ください。
万一、リチウムイオンバッテリーが損傷している場合に取り扱いを誤ると重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●リチウムイオンバッテリーを不適切な方法で処分すると感電するおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。リチウムイオンバッテリーの廃棄や処分は当社指定サービス工場にご相談ください。

MEMO

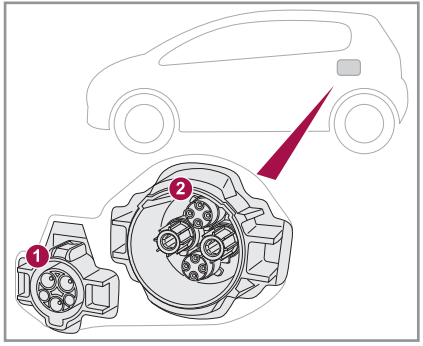
●リチウムイオンバッテリーの容量（蓄電能力）の低下の程度は、運転のしかた、走行ルート、エアコンなどの空調装置の使用状況、充電のしかた、バッテリーの構成部品の劣化などにより大きく異なります。

●リチウムイオンバッテリーの劣化の程度は、走行地域の気候、走行距離、急速充電の頻度など、さまざまな条件により異なります。

●リチウムイオンバッテリーを長持ちさせるために、次のことを心がけてください。
- 必要以上に頻繁な充電を行わない
- 頻繁な急速充電は避ける
- 頻繁な急加速、急減速をしない
- 外気温が極端に高い場所や低い場所で車両を保管しない
- 夏場は日陰に駐車する
- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低い状態のまま長期間車両を使用せず放置しない

●リチウムイオンバッテリーは適切に廃棄しないと環境汚染につながります。廃車にするときは当社指定サービス工場にご相談ください。

●充電ポート



リチウムイオンバッテリーを充電するときは、車載充電ケーブルの充電コネクター、または充電器に付属の充電ケーブルの充電コネクターを車両の充電ポートに接続します。

①：3kW ／ 6kW普通充電ポート
②：急速充電ポート

3kW ／ 6kW普通充電ポート①
3kW ／ 6kW普通充電用のポートです。ツメを押してカバーを開いてから充電コネクターを接続します。

急速充電ポート②
急速充電用のポートです。ツメを押してカバーを開いてから充電コネクターを接続します。

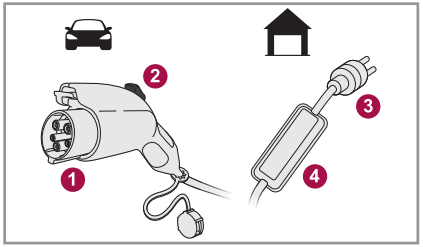
⚠警 告

- ●充電ポートリッド周辺に衝撃を受けた後は、衝撃の大小に関わらず、充電を行わないでください。また、充電ポートから充電コネクターを引き抜いたり、自分で充電ポートの修理を行ったりしないでください。火災や感電のおそれがあります。当社指定サービス工場にご連絡ください。
- ●充電ポートにゴミ、ほこり、水が入らないようにしてください。火災や感電のおそれがあります。
- ●充電ポートに異物を挿入しないでください。

注 意

- ●充電ポートに充電コネクター以外のものを差し込まないでください。充電ポートが破損するおそれがあります。
- ●充電ポートが凍結したときは、ドライヤーなどで解凍してください。無理に充電コネクターの接続または取りはずしを行うと、故障の原因となります。

●車載充電ケーブル（コントロールユニット付き）



車両に付属の充電ケーブル（コントロールユニット付き）は、EV車専用のコンセントで3kW普通充電するときに使用します。
車載充電ケーブルは、ラゲッジルームに格納されています。

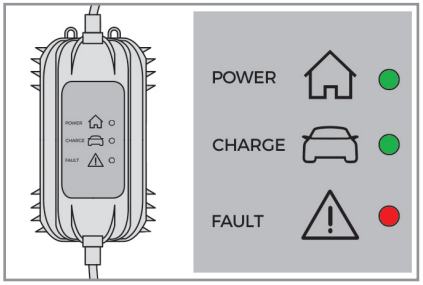
①：充電コネクター
②：リリーススイッチ
③：電源プラグ
④：コントロールユニット

充電コネクター①
車両の充電ポートに接続します。
保護カバーが取り付けられています。

リリーススイッチ②
充電ポートから充電コネクターを引き抜くときに押します。

電源プラグ③
AC200VのEV車専用のコンセントに接続します。

コントロールユニット④



コントロールユニットの表示灯で充電状態などを確認できます。

コントロールユニットに通電しているときにPOWER表示灯が緑色に点灯します。充電を開始できます。

充電中またはプリコンディショニングが作動しているときにCHARGE表示灯が緑色に点滅します。
充電を中断する、充電が完了する、または充電予約がセットされていると緑色に点灯します。

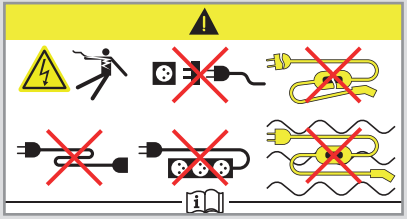
異常が発生したときにFAULT表示灯が赤色に点灯します。充電を開始できません。充電中に点灯した場合は直ちに充電を中止してください。充電コネクターや電源プラグが正しく接続されているか、充電器などの充電設備に異常が発生していないか確認してください。
FAULT表示灯が消灯しない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

電源プラグをコンセントに接続すると、すべての表示灯が一時的に点灯した後、**POWER**表示灯のみが点灯した状態になります。表示灯が点灯しないときは、コンセントのブレーカーがOFFになっていないか確認してください。ブレーカーがOFFになっている場合は、電気工事の資格を持つ専門の業者に点検を依頼してください。
ブレーカーがONになっているのに表示灯が点灯しない場合は、直ちに使用を中止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●車載充電ケーブル（コントロールユニット付き）は、本書に記載されている注意事項に従って正しく取り扱ってください。不適切な取り扱いをすると思わぬ事故の原因となり、火災、感電、ケガ、やけどなど、重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。



- 安全のため、必ず接地極（アース）がつながっているEV車専用のコンセントを使用してください。
- ショートや過電流などの異常が発生した場合の安全のために、必ずブレーカーや漏電遮断器が設置されたEV車専用のコンセントを使用してください。

⚠警 告

- 充電中は、コントロールユニットの重量によってコンセント、充電ケーブルや電源プラグに無理な力がかからないようにしてください。
- 充電ケーブルの分解、修理、改造は絶対に行わないでください。
- 充電ケーブルに強い衝撃を与えたり落としたりしないでください。
- 充電ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、踏みつけたり、引きずったりしないでください。
- 充電ケーブルを鋭いものなどで傷を付けないでください。
- 電源プラグの端子を折り曲げたり異物を付けるなど汚したりしないでください。
- 充電ケーブルを水に浸けないでください。
- 充電コネクターに、ゴミ、ほこり、水が入らないようにしてください。
- 充電コネクターや電源プラグに異物を挿入しないでください。

⚠警 告

- 延長コードや変換アダプター、たこ足配線などは絶対に使用しないでください。
- ケーブルを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- 充電コネクターが車両に接続され、ロックされているときは、無理に力を加えて充電ポートから取りはずそうとしないでください。
- ケーブルを充電コネクターやコントロールユニットに巻きつけるなどして無理な力をかけないでください。
- 充電ケーブルやコンセントが異常に熱くなっているときは直ちに充電を中止してください。
- 可燃性のガスのある場所では充電を行わないでください。アーク放電やスパークにより引火するおそれがあります。
- 充電ケーブルをこの車両以外の充電に使用したり、この車両の充電以外の用途に使用したりしないでください。

⚠警 告

- 濡れた手で電源プラグを触ったり、コンセントに抜き差ししないでください。
- 電源プラグをコンセントに接続するときは、電源プラグの本体部分を持ってまっすぐ根元まで確実に差し込んでください。
- 充電ケーブルやコンセントなどに深い傷、割れ、破損などがあったり、電源プラグに錆が発生しているときなど、破損、異常、故障がある場合は直ちに使用を中止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

●安全にお使いいただくために、日常的に次のことを点検してください。点検をしないで使用すると、思わぬ事故の原因となり、重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

- 充電ケーブルに破損がないことを確認してください。
- コンセントに破損がないこと、電源プラグを差し込んだときにゆるみがないことを確認してください。

⚠警 告

- 充電中に電源プラグが異常に熱くならないことを確認してください。
- 充電コネクターや電源プラグ、コンセントにほこりなどの汚れが付着していないことを確認してください。
- 充電後や長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いておいてください。コンセントや電源プラグにほこりがたまると過熱したり、発火したりするおそれがあります。

●EV車専用のコンセントを使用した3kW普通充電には車載充電ケーブル（コントロールユニット付き）以外は使用しないでください。

●車載充電ケーブル（コントロールユニット付き）は日本国内でのみ使用してください。

⚠警 告

●車載充電ケーブル（コントロールユニット付き）の定格電圧（AC200V）と定格電流（15A）が建物のコンセントや配線の容量を超えないように注意してください。異常な発熱により発火するおそれがあります。
建物の配線容量が分からない場合は、電気工事の資格を持つ専門の業者に確認してください。

注 意

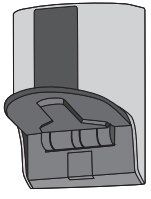
充電ケーブルを保管するときは次のことをお守りください。

- 直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 風や雨にさらされない場所に保管してください。
- 充電コネクターにゴミやほこりが入らないようにしてください。
- ケーブルを充電コネクターやコントロールユニットに巻きつけるなどして保管しないでください。
- ケーブルがねじれた状態で保管しないでください。

●充電の種類

充電の種類には、3kW普通充電、6kW普通充電、急速充電があります。

3kW普通充電



コンセント型

壁掛け型やスタンド型など

3kW普通充電（AC200V 15A）は、EV車専用のコンセントと車載充電ケーブル（コントロールユニット付き）、または壁掛け型やスタンド型などのEV車専用の3kW普通充電器と充電器に付属の充電ケーブルで行う充電方法です。
充電が完了するまでの時間の目安は、約18時間です。

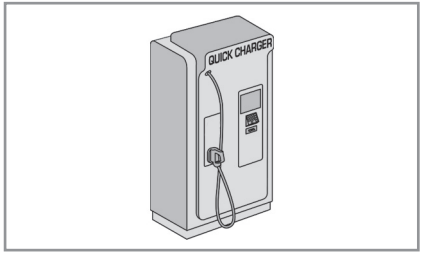
6kW普通充電

6kW普通充電（AC200V 30A）は、壁掛け型やスタンド型などのEV車専用の6kW普通充電器と充電器に付属の充電ケーブルで行う充電方法です。
3kW普通充電の約2倍のスピードで充電することができます。充電が完了するまでの時間の目安は、約9時間です。

MEMO

- 3kW／6kW普通充電の充電が完了するまでの時間は、リチウムイオンバッテリーの残量、外気温、経過年数、電源の状態、エアコンなど空調装置の電力の使用状況などの条件により異なります。
- 3kW普通充電用のコンセント、3kW／6kW普通充電器の設置には、専用配線を用いた電源回路が必要となるため、電力会社との電気契約の変更や建物の電気工事など、充電インフラの工事が必要です。当社販売店および当社販売店が斡旋する専門業者にご相談ください。

急速充電



外出先などに設置されたCHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器（定格出力20 ～ 50kW）と急速充電器に付属の充電ケーブルで行う充電方法です。
普通充電器よりも短時間で充電することができます。充電が完了するまでの時間の目安は、約50分です（定格出力50kWの場合。満充電量の約80%充電にかかる時間の目安）。

MEMO

- ●CHAdeMO（チャデモ）は、日本発の電気自動車用急速充電器の規格です。
- ●急速充電の充電が完了するまでの時間は、リチウムイオンバッテリーの残量、外気温、経過年数、急速充電器の種類などの条件により異なります。
- ●急速充電器の充電速度は充電器の充電能力によって異なります。短時間で充電を終了させた場合は、使用する充電器の種類によって充電量が異なることがあります。

●リチウムイオンバッテリーの充電

⚠警 告

- ●植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器などの医療用機器を使用されている方は、機器におよぼす影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。
- ●植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器などの医療用機器を使用されている方は、次のことをお守りください。充電により、医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
  - 3kW／6kW普通充電するときは、短い時間であっても、充電ケーブル、コントロールユニット、充電器などに近付かないでください。
  - 急速充電器を使用したり、急速充電器を設置している場所に近付いたりしないでください。
  - 急速充電器の操作は自分で行わず、他の方にお願いしてください。
  - 充電中は車内にとどまったり、車両に近付かないでください。

⚠警 告

●植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用されている方は、機器におよぼす影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

●3kW ／ 6kW普通充電するときは、必ず次のことをお守りください。火災や感電など、重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

- 電気工事の資格を持つ専門の電気工事業者が、内線規程に準拠して設置したEV車専用のコンセントまたは充電器を使用して充電をしてください。
- EV車専用のコンセントを使用した3kW普通充電は、必ず車載充電ケーブルを使用してください。
- EV車専用のコンセントを使用した3kW普通充電の完了後は、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが溜まったり、水に濡れたりしたときに、ショートや感電のおそれがあります。

⚠警 告

- 3kW／6kW普通充電器の操作や取り扱いは、充電器本体の取扱説明書に従って正しく行ってください。

●急速充電するときは、必ず次のことをお守りください。火災や感電など、重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

- 必ずCHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器を使用してください。
- 急速充電器の操作や取り扱いは、充電器本体の取扱説明書に従って正しく行ってください。

●充電するときは、充電コネクターを充電ポートに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと、システムが充電コネクターの接続を認識できず、EVシステムを始動可能な状態になるため、誤って車両を発進させて思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●充電中に、異臭、煙、異音などの異常を感じたり、故障に気づいたりしたときは使用を中止してください。火災、感電、ケガ、やけどなど、重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

●落雷の可能性があるときは充電をしないでください。感電するおそれがあります。

●雨や雪の日に充電するときは、次のことをお守りください。火災、感電、ケガ、やけどなど、重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

- 濡れた手で充電コネクターや電源プラグなどを抜き差ししないでください。
- コンセント、充電ポート、充電コネクター、電源プラグなどを濡らさないでください。
- コンセント、充電ポート、充電コネクター、電源プラグなどが濡れた場合は、水分を拭き取ってから充電してください。

⚠警 告

- コンセントが水没していたり、雪に埋もれている場合は、充電しないでください。

●充電する前に、充電ポート、充電ケーブル、充電コネクター、電源プラグ、コントロールユニットに変形、水分、腐食、破損、ほこりなどの異物がないことを確認してください。

●お子さまには充電をさせないでください。重大な事故につながるおそれがあります。

●充電中や充電直後はボンネットを開けないでください。モータールーム内が高温になるため、やけどをするおそれがあります。また、ファンが突然回りだして、手や衣類が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。

●リチウムイオンバッテリーの充電中は、12Vバッテリーに充電器や救援車のバッテリーを接続しないでください。車両や充電機器が破損するおそれがあります。

●リチウムイオンバッテリーの充電に発電機は使用しないでください。

⚠警 告

●車両をボディカバーなどで覆った状態で充電しないでください。

●充電中は洗車しないでください。洗車するときは、必ず充電ポートのカバーと充電ポートリッドを閉じてください。感電するおそれがあります。

●モータールーム内や床下への高圧洗浄は、電気部品への影響を避けるためにも絶対におやめください。

MEMO

●7.4kW車載充電器とリチウムイオンバッテリーの冷却のため、充電中にファンが作動することがありますが、異常ではありません。

●3kW／6kW普通充電ポートと急速充電ポートへ充電コネクターを同時に接続しないでください。充電することができません。

●充電中は、ラジオに雑音が入ることがあります。

●この車両のリチウムイオンバッテリーを蓄電池として使用したり、家庭への給電に使用したりすることはできません。

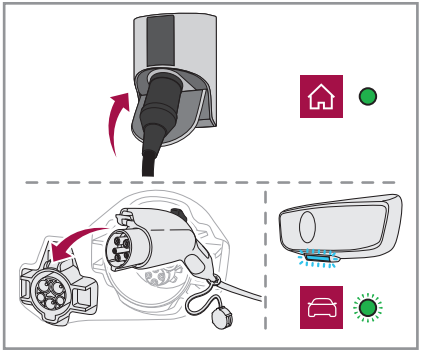
充電ポートリッドの開閉のしかた

1. 車両のロックを解除すると、充電ポートリッドのロックも連動して解除されます。
2. 充電ポートリッドの後ろ側を押して開きます。
3. 充電が終わったら充電ポートリッドを閉めます。

MEMO

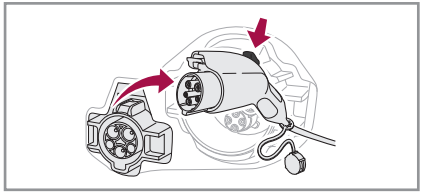
充電ポートリッドを閉めるときは、充電ポートのカバーが確実に閉まっていることを確認してください。

コンセントを使用した3kW普通充電のしかた

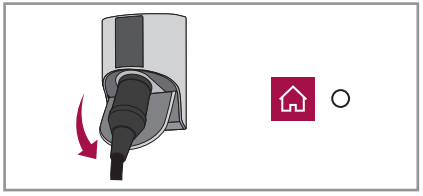


1. **ENGINE START/STOP**スイッチをオフにします。
2. シフトポジションが**P**になっていること、パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. 充電ポートリッドを開きます。
4. ツメを押して3kW／6kW普通充電ポート（左側）のカバーを開きます。
5. 充電ポートにゴミやほこりなどの異物が付着していないか確認します。
6. 車載充電ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込みます。
   コントロールユニットのすべての表示灯が一時的に点灯した後、**POWER**表示灯のみが緑色に点灯した状態になることを確認してください。
7. 車載充電ケーブルの充電コネクターから保護カバーをはずし、充電コネクターを3kW／6kW普通充電ポートにカチッと音がするまで差し込みます。
8. 充電が開始されると、車載充電ケーブルのコントロールユニットの**CHARGE**表示灯が緑色に点滅します。また、バックミラーの充電インジケーターが点滅します。

9. 充電が完了すると、車載充電ケーブルのコントロールユニットの**CHARGE**表示灯が緑色に点灯します。また、バックミラーの充電インジケーターが消灯します。
10. 充電コネクターのリリーススイッチを押しながら、3kW／6kW普通充電ポートから充電コネクターを引き抜きます。



11. 3kW／6kW普通充電ポートのカバーを閉めます。
12. 充電ポートリッドを閉めます。
13. 車載充電ケーブルの充電コネクターの保護カバーを取り付けます。
14. 車載充電ケーブルの電源プラグをコンセントから引き抜きます。 コントロールユニットの**POWER**表示灯が消灯します。



注 意

- ●充電後は充電ポートのカバーを必ず閉じてください。充電ポートに水やゴミなどが入り、故障の原因となります。
- ●充電後は充電ポートリッドを必ず閉じてください。
- ●充電後は、車載充電ケーブルの充電コネクターの保護カバーを必ず取り付けてください。充電コネクターに水やゴミなどが入り、故障の原因となります。

MEMO

- ●車載充電ケーブルのコントロールユニットの**CHARGE**表示灯が緑色に点滅、バックミラーの充電インジケーターが点滅しない場合は、充電が開始されていません。手順を最初からやり直してください。
- ●お好みの時間帯に充電を開始するには、充電コネクターを充電ポートに接続した後、MYDSアプリ上で充電予約のスケジュールを作成し、セットしてください。充電予約がセットされると、車載充電ケーブルのコントロールユニットの**CHARGE**表示灯が緑色に点灯します。
  充電予約の詳細は、P.5-17の「E-Tenseリモートコントロール」項を参照してください。

MEMO

●充電中にスマートキーを使用して車両を施錠、解錠の順に操作すると充電を中断できます。充電を中断すると、車載充電ケーブルのコントロールユニットの**CHARGE**表示灯が緑色に点灯します。また、バックミラーの充電インジケーターが消灯します。
充電を中断したあと、約30秒経過すると充電が再開します。充電が再開すると、車載充電ケーブルのコントロールユニットの**CHARGE**表示灯が緑色に点滅します。また、バックミラーの充電インジケーターが点滅します。

MEMO

●以下のときは車両の施錠／解錠ができないため、スマートキーの操作による充電の中断ができません。
- **ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき
- いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉まっていないとき
- スマートキーが車内にあるとき

ENGINE START/STOPスイッチをオフにし、すべてのドアおよびテールゲートを閉め、車内からすべてのスマートキーを持ち出してから再度スマートキーで施錠／解錠操作を行ってください。

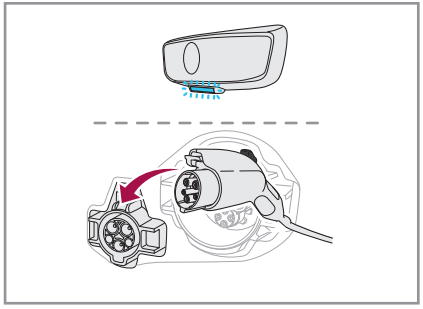
● 安全のために、充電ポートに充電コネクターが接続されている間はEVシステムの始動はできません。
ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにすると、充電コネクター表示灯が点灯します。

MEMO

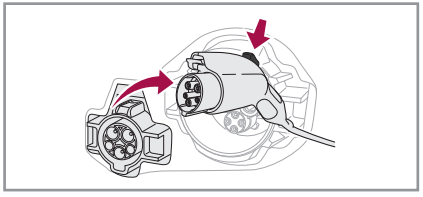
●充電中は**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにしてエアコンを使用できますが、充電時間が通常より長くなることがあります。
●充電中に運転席ドアを開けると、約30秒間インストルメントパネルに以下が表示されます。
- 充電完了までの時間
- 充電速度（1時間の充電で走行できる距離）
- 走行可能距離
- リチウムイオンバッテリーの残量（%）

表示される数値は目安です。この数値は充電状況によって変化する場合があります。
●バックミラーの充電インジケーターは走行中に点灯します。

充電器を使用した3kW ／ 6kW普通充電のしかた



1. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
2. シフトポジションがPになっていること、パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. 充電ポートリッドを開きます。
4. ツメを押して3kW ／ 6kW普通充電ポート（左側）のカバーを開きます。
5. 充電ポートにゴミやほこりなどの異物が付着していないか確認します。
6. 充電器本体の取扱説明書に従い、充電器に付属の充電ケーブルの充電コネクターを3kW ／ 6kW普通充電ポートにカチッと音がするまで差し込みます。
7. 充電器本体の取扱説明書に従い、充電を開始します。
   充電が開始されると、バックミラーの充電インジケーターが点滅します。
8. 充電が完了するとバックミラーの充電インジケーターが消灯します。
9. 充電器本体の取扱説明書に従い、充電コネクターのリリーススイッチを押しながら、3kW ／ 6kW普通充電ポートから充電コネクターを引き抜きます。



10. 充電コネクターを元の位置に戻します。
11. 3kW ／ 6kW普通充電ポートのカバーを閉めます。
12. 充電ポートリッドを閉めます。

注 意

- 充電後は充電ポートのカバーを必ず閉じてください。充電ポートに水やゴミなどが入り、故障の原因となります。
- 充電後は充電ポートリッドを必ず閉じてください。

MEMO

- バックミラーの充電インジケーターが点滅しない場合は、充電が開始されていません。手順を最初からやり直してください。
- お好みの時間帯に充電を開始するには、充電コネクターを充電ポートに接続した後、MYDSアプリ上で充電予約のスケジュールを作成し、セットしてください。
  充電予約の詳細は、P.5-17の「E-Tenseリモートコントロール」項を参照してください。

MEMO

●充電中にスマートキーを使用して車両を施錠、解錠の順に操作すると充電を中断できます。充電を中断すると、バックミラーの充電インジケーターが消灯します。
充電を中断したあと、約30秒経過すると充電が再開します。充電が再開すると、バックミラーの充電インジケーターが点滅します。
●以下のときは車両の施錠／解錠ができないため、スマートキーの操作による充電の中断ができません。
- **ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき
- いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉まっていないとき
- スマートキーが車内にあるとき

ENGINE START/STOP スイッチをオフにし、すべてのドアおよびテールゲートを閉め、車内からすべてのスマートキーを持ち出してから再度スマートキーで施錠／解錠操作を行ってください。

MEMO

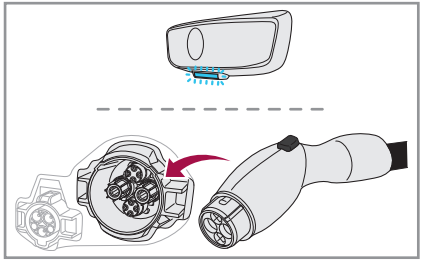
● 安全のために、充電ポートに充電コネクターが接続されている間はEVシステムの始動はできません。
ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにすると、充電コネクター表示灯が点灯します。
●充電中は**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにしてエアコンを使用できますが、充電時間が通常より長くなることがあります。
●充電中に運転席ドアを開けると、約30秒間インストルメントパネルに以下が表示されます。
- 充電完了までの時間
- 充電速度（1時間の充電で走行できる距離）
- 走行可能距離
- リチウムイオンバッテリーの残量（%）

表示される数値は目安です。この数値は充電状況によって変化する場合があります。

MEMO

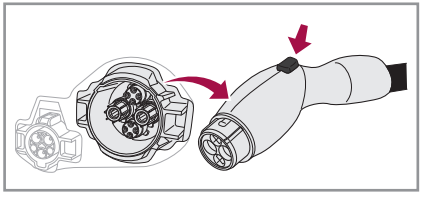
●バックミラーの充電インジケーターは走行中に点灯します。

急速充電のしかた



急速充電器の種類によって操作方法が異なります。急速充電器本体の取り扱い方法を必ずご確認ください。

1. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
2. シフトポジションがPになっていること、パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. 充電ポートリッドを開きます。
4. ツメを押して急速充電ポート（右側）のカバーを開きます。
5. 充電ポートにゴミやほこりなどの異物が付着していないか確認します。
6. 急速充電器本体の取扱説明書に従い、急速充電器に付属の充電ケーブルの充電コネクターを根元まで確実にカチッと音がするまで急速充電ポートに差し込みます。
7. 急速充電器本体の取扱説明書に従い、充電を開始します。
   充電が開始されるとバックミラーの充電インジケーターが点滅します。
8. 充電が十分に行われたら、急速充電器本体の取扱説明書に従い、充電を停止します。バックミラーの充電インジケーターが消灯します。
9. 急速充電器本体の取扱説明書に従い、充電コネクターのリリーススイッチを押しながら、急速充電ポートから充電コネクターを引き抜きます。



10. 充電コネクターを元の位置に戻します。
11. 急速充電ポートのカバーを閉めます。
12. 充電ポートリッドを閉めます。

注 意

- ●急速充電器の操作や取り扱いは、充電器本体の取扱説明書に従って正しく行ってください。誤った操作や取り扱いをすると、車両や急速充電器を破損するおそれがあります。
- ●充電後は充電ポートのカバーを必ず閉じてください。充電ポートに水やゴミなどが入り、故障の原因となります。
- ●充電後は充電ポートリッドを必ず閉じてください。

MEMO

●バックミラーの充電インジケーターが点滅しない場合は、充電が開始されていません。手順を最初からやり直してください。
●急速充電を中断したいときは、急速充電器本体の取扱説明書に従い急速充電器を操作してください。
● 安全のために、充電ポートに充電コネクターが接続されている間はEVシステムの始動はできません。
ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにすると、充電コネクター表示灯が点灯します。
●充電中は**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにしてエアコンを使用できますが、充電時間が通常より長くなることがあります。

MEMO

●充電中に運転席ドアを開けると、約30秒間インストルメントパネルに以下が表示されます。
- 充電完了までの時間
- 充電速度（1時間の充電で走行できる距離）
- 走行可能距離
- リチウムイオンバッテリーの残量（%）

表示される数値は目安です。この数値は充電状況によって変化する場合があります。
●外気温が0℃以下の場合は、通常より充電に時間がかかる場合があります。
●外気温が−20℃以下でも急速充電できます。ただし、バッテリーを暖める必要があるため、通常より充電に時間がかかる場合があります。
●リチウムイオンバッテリーの容量（蓄電能力）低下を防ぐため、頻繁な急速充電は避けてください。
●急速充電器本体にリチウムイオンバッテリーの残量、容量、充電時間の数値などが表示されていても、実際の値とは異なる場合があります。

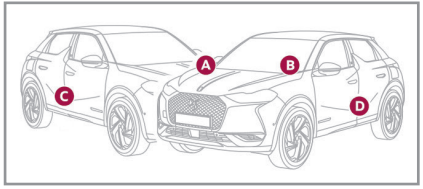
MEMO

●リチウムイオンバッテリーへの負担を軽減するため、満充電量の約80%に達したら、満充電になるまで急速充電器で継続して充電を行わないでください。
●急速充電器の最大充電時間を経過すると、満充電量の約80%に達する前に充電が停止することがあります。
●急速充電器で充電予約を行うことはできません。
●バックミラーの充電インジケーターは走行中に点灯します。

車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示…… 8-2
外形寸法…… 8-3
アクセサリー類…… 8-4
索引…… 8-6
付録……8-11

●識別表示



A　車台番号（モータールーム内）
B　車台番号（フロントガラス下側）
C　認証ラベル
D　タイヤ仕様と車体塗色コードラベル
タイヤとホイールサイズ、適正空気圧、車体色などが記載されたラベルが、助手席側のピラー部に貼られています。

⚠注 意

タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。

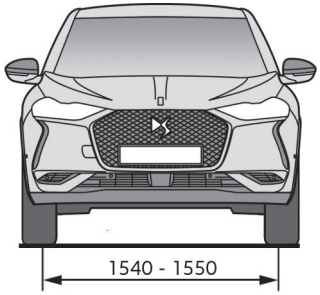
注 意

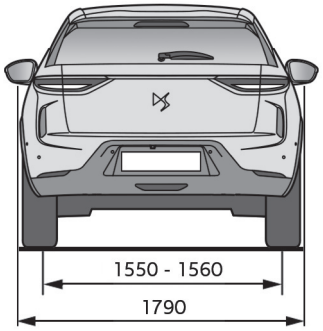
●タイヤのサイズによっては、タイヤチェーンが装着できません。詳しくは当社販売店へお問い合わせください。
●タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月1回の割合でチェックしてください。必ず当社が指定する空気圧に調整してください。

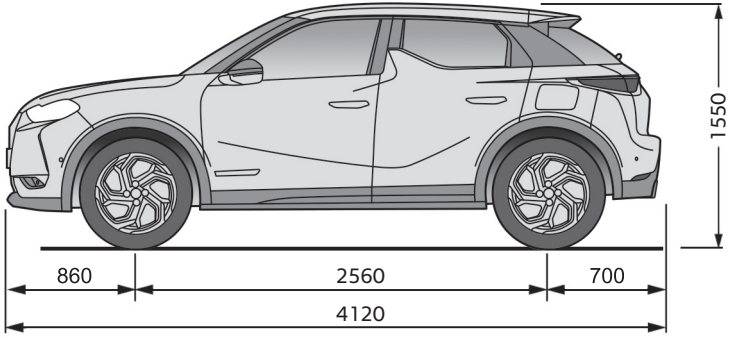
MEMO

タイヤの空気圧が低すぎると、電費が悪くなります。

●外形寸法





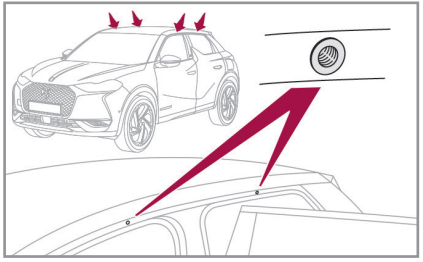


*数値は予告なく変更されることがあります。

アクセサリー類

アクセサリー類は、当社の純正部品を使用してください。取り付けは、付属の取扱説明書に従ってください。

●ルーフキャリア



キャリアを取り付けるときは、ルーフのマークに合わせて取り付けてください。

⚠警 告

- ●ルーフキャリアは当社純正品をキャリアに付属の取扱説明書に従って正確に取り付けてください。
- ●当社純正以外のルーフキャリアを使用したり、指示通りに取り付けなかったりした場合、ルーフキャリアや荷物が落下し、事故やケガにつながるおそれがあります。
- ●荷物の固定には、細すぎたり、損傷したひもや不適切なひもは使用しないでください。荷物を固定する際には、適切なひもを使用し、しっかりと固定してください。
- ●ルーフキャリアに荷物を積む際には、キャリアに付属の取扱説明書に記載されているルーフキャリア許容荷重を超えないようにしてください。
- ●ルーフに重たい荷物や大きな荷物を積んでいると、車両の重心が変わったり風の抵抗が大きくなり走行に影響を与えます。速度を控えたり、急ブレーキ、急ハンドルを避けるなど慎重な運転を心がけてください。

* 仕様により異なります。

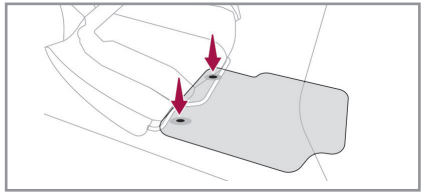
⚠注 意

キャリアの高さには注意してください。特に高速走行を行うと、予想以上に負荷がかかるので思わぬトラブルの原因となることがあります。

MEMO

使用しないときはルーフキャリアを取りはずしてください。

●フロアマット*



取り付けるときは、フロアマットを正しい位置に合わせ、クリップで留めてください。フロアマットがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠警 告

●車両側に装備されている固定フックに適したフロアマットのみ使用してください。また、2枚以上のフロアマットを重ねて使用しないでください。ペダル操作の妨げになります。

●当社指定以外のフロアマットの使用は、ペダル操作の妨げになるだけでなく、クルーズコントロール／スピードリミッター機能の使用の妨げにもなり、重大な事故につながるおそれがあります。

索 引

数字

12V電源ソケット ····· 5-23
12Vバッテリー ····· 6-5、6-7、7-8
3kW普通充電 ····· 7-22、7-27、7-30
400V高電圧システム ····· 7-16
6kW普通充電 ····· 7-23、7-30

アルファベット

ABS（アンチロックブレーキシステム） ····· 3-17
ASR（トラクションコントロールシステム） ···· 3-17
DSC(ダイナミックスタビリティコントロール) ··· 3-17
DSドライブアシスト ····· 3-45
DSマトリクスLEDビジョン ····· 4-31
EBA（ブレーキアシスト) ····· 3-17
ENGINE START/STOPスイッチ ····· 9、3-2
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール) ··· 3-17
E-Tenseリモートコントロール ····· 5-17
EVシステムの始動 ····· 9、3-2
EV車の充電システム ····· 7-15
i-Sizeチャイルドシート ····· 1-17、1-18
ISOFIXチャイルドシート ····· 1-17、1-18、1-21
USBポート ····· 5-23

あ

アクセサリー類 ····· 8-4
アクティブクルーズコントロール ····· 15、3-35
アクティブセーフティブレーキ ····· 3-25
アクティブブラインドスポットモニター ····· 3-57
アクティブランバーサポート ····· 1-5
イモビライザー（盗難防止システム) ····· 2-8
インストルメントパネル ····· 4-2
インストルメントパネルの表示モード ····· 4-3
インストルメントパネルの明るさ調整 ····· 4-25
インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト ··· 3-29
ウィンドウウォッシャー ····· 4-38、6-5、6-7
エアコンディショナー(エアコン) ····· 13、5-2
エアバッグ ····· 1-23
エアバッグの作動条件 ····· 1-27
エクステリアウェルカムランプ ····· 4-29
エクステリアサイドランプ ····· 4-30
エコノミーモード ····· 7-13
エマージェンシーブレーキ ····· 3-28

エレクトリックパーキングブレーキ……10、3-12
オートエアコン……13、5-3
オートドアロック……2-13
オートライト……11、4-28
オートワイパー……11、4-37
オドメーター……4-22

か
カーテンエアバッグ……1-26
外形寸法……8-3
回生ブレーキ……3-7
間接式タイヤ空気圧警告……4-40
急速充電……7-24、7-32
緊急用キー……2-11
クリープ現象……3-8
クルーズコントロール……15、3-35
グローブボックス……5-22
警告灯……4-8
けん引されるとき……7-14
工具……7-2
固定リング……5-26

さ
サービスインジケーター……4-21
サイドエアバッグ……1-25
シートの調整……5、6、1-2、1-3
シートヒーター……1-5
シートベルト……8、1-11
シートベルト着用／非着用ディスプレイ…14、1-12
識別表示……8-2
室内フィルター……6-7、6-14
自動防眩バックミラー……8、1-8
シフトポジション……3-6
シフトロック……3-8
車載充電ケーブル
（コントロールユニット付き）……7-19
車両接近通報装置……3-5
充電の種類……7-22
充電ポート……7、7-18
充電予約……5-18
助手席エアバッグキャンセルスイッチ……14、1-24
推奨交換時期……6-14
推奨点検時期……6-15

推奨油脂類…… 6-14
ステアリング…… 6、3-5
スノーチェーン／スノーネット…… 1-30
スピードリミッター…… 15、3-52
スマートキー…… 4、2-2

た

タイヤの点検…… 1-29
タイヤ空気圧…… 1-29、8-2
タッチスクリーン……12、5-8
チャイルドシート…… 1-14
チャイルドセーフティ…… 2-16
着座検知…… 1-12
駐車時照明機能（フォローミーホーム）…… 4-29
チルト・テレスコピックステアリング…… 6、3-5
デイタイムランニングランプ…… 4-27
ディスタンスアラート…… 3-27
テールゲート…… 2-4、2-19
テールランプの交換…… 6-11
電球の交換……6-9
電池の交換（スマートキー）……2-6
電動ドアミラー…… 8、1-7
ドアロック…… 2-10
冬季用タイヤ…… 1-29
ドライブコンピューター…… 4-41
ドライブセレクター……3-6
ドライブモード…… 15、3-11
トラフィックサインインフォメーション… 14、3-31

は

パーキングブレーキ…… 10、3-12
ハザードランプ…… 4-35
バックカメラ…… 3-61
バックミラー…… 8、1-8
パッシング…… 4-27
バッテリー……6-5、6-7
バッテリーが上がったとき……7-8
パワーインジケーター…… 4-23
パワーウィンドウ……7、2-14
パワーウィンドウの初期化…… 2-15
パンク修理キット……7-2
半ドア警告…… 2-11

非常ブレーキ……3-15
ヒューズの交換……6-12
表示灯……4-8
ヒルスタートアシスタンス……3-16
フォグランプ……11、4-27
プライバシー機能……5-15、5-16
ブラインドスポットモニター……3-55
プリコンディショニング……5-18
ブレーキ……10、3-12
ブレーキアシスト（EBA）……3-17
ブレーキフルード……6-5、6-6、6-14
フロアマット……8-5
プロキシミティキーレスエントリー機能……4、2-2
フロント／バックソナー……3-58
フロントアームレスト……5-25
フロントエアバッグ……1-23
フロントシート……5、6、1-2、1-3
フロントシートベルト……1-11
フロントワイパー……11、4-36
ヘッドアップディスプレイ……4-6
ヘッドランプの交換……6-10
ヘッドランプ照射角度調整……4-30
ヘッドレスト……6、1-4、1-9
保安炎筒……1-31
方向指示器……11、4-35
ホーン……3-5
ボンネット……7、2-18

ま

マップランプ……5-20
マニュアルチェック……4-25
マニュアルロック……2-12
ミラー……8、1-7
モータールームの点検……6-5

ら

ライトスイッチ……11、4-26
ラゲッジルーム……5-26
ラゲッジルームランプ……5-21
ランバーサポート……1-4
リアウィンドウキャンセルスイッチ……2-14
リアシート……1-9

リアシートベルト…… 1-11
リアパーセルシェルフ…… 5-26
リアフォグランプ…… 11、4-27
リアヘッドレスト……1-9
リアワイパー…… 11、4-36
リチウムイオンバッテリー…… 7-17
リチウムイオンバッテリー残量計…… 4-24
リチウムイオンバッテリーの充電…… 7-24
リトラクタブルドアハンドル…… 10、2-10
リモコン…… 4、2-2
ルーフキャリア……8-4
ルームランプ…… 5-20
レーンキープアシスト…… 3-20
レーンポジショニングアシスト…… 3-45
冷却水の点検…… 6-5、6-7

わ

ワイパー…… 11、4-36
ワイパーブレードの交換…… 4-39
ワイヤレス充電器…… 5-23

MEMO

- ●接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。
- ●このオーディオには盗難防止機能が付いています。他の車両では使用できません。
- ●利用可能な Bluetooth の機能、およびその表示内容は、携帯電話の種類とその設定、および契約内容によって異なります。詳細はお客様がお使いの携帯電話会社へお問い合わせください。
- ●Bluetooth® は Bluetooth SIG, Inc. の商標です。
- ●Apple、iPhone、Apple CarPlay、および Siri は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ●iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ●Android Auto は、Google LLC. の商標です。
- ●MirrorLink® は Car Connectivity Consortium LLC. の商標です。
- ●タッチスクリーンのシステムのバージョンアップやオプションのナビゲーションの接続によって、操作や表示、アイコンのデザイン、色などが変更されることがあります。

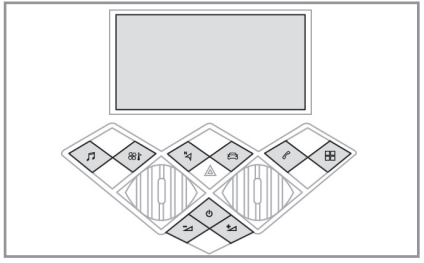
オーディオ／ハンズフリー通話（タッチスクリーン）

基本操作……8-12
ラジオ……8-14
USB／Bluetooth……8-16
画像ファイルの表示……8-18
ハンズフリー通話……8-19
通話をする……8-20
Apple CarPlay ……8-25
Android Auto ……8-26
プロファイルの設定……8-27
FAQ（よくある質問）……8-29

⚠警 告

安全上の理由から、各種設定など複雑な操作は、車両を停止し、EVシステムが始動している状態で実施してください。

基本操作



オーディオの操作はタッチスクリーンから行います。

ダッシュボードのアイコンにタッチすると、ラジオやUSBメディアの再生・設定画面に移動します。

●各画面共通のアイコン

各画面では、以下のようなアイコンが表示されます。

← 前のページに戻ります。

OK 設定を有効にします。

詳細設定画面を表示します。

MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

●オーディオのオン／オフ

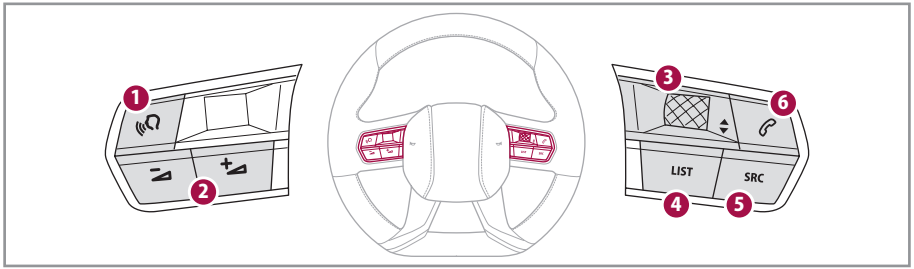
スイッチを押すと、音量のオン／オフが行えます。音量がオフの間は、USBなどの再生メディアは停止しています。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにした後しばらくの間は、スイッチを押すとタッチスクリーンの画面が点灯します。

●音量の操作

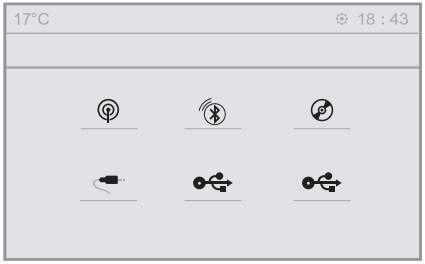
音量の操作はダッシュボードのアイコンにタッチして行います。

●ステアリングスイッチ



①：音声認識機能起動ボタン
　接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。
②：音量調整ボタン
　ボリュームが増減します。
　＋と－のボタンを同時に押すと音量のオン／オフができます。
③：設定ダイヤル
　登録したラジオ放送局やメディアのトラック選択に使用します。または、ダイヤルを回して設定項目を選択します。押し込むと、設定項目を決定できます。
④：**LIST** ボタン
　音楽の再生リストやラジオの放送局リストなどを表示します。
⑤：**SRC** ボタン
　入力ソースを切り替えます。
⑥：**TEL** ボタン
　発着信履歴や連絡先などの表示、ハンズフリー通話の受話および終話などに使用します。

●入力ソースの切り替え



1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **ソース**にタッチします。
3. 入力ソースにタッチします。

入力ソースの切り替えは、ステアリングの**SRC**ボタンを押しても行えます。

ラジオ

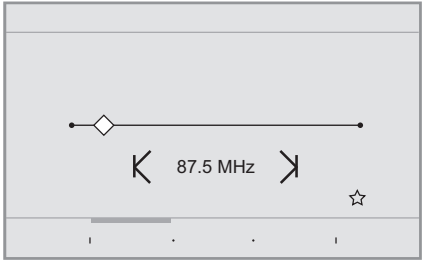
●ラジオモードへの切り替え

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **ソース**にタッチします。
3. **ラジオ**を選択します。

MEMO

入力ソースの切り替えは、ステアリングの**SRC**ボタンを押しても行えます。

●手動サーチ



タッチスクリーンのカーソルを左右に動かすと受信周波数が変わります。
または現在受信している放送局周波数にタッチし、タッチスクリーンから周波数を入入力して **OK** にタッチします。

●自動サーチ

タッチスクリーンの＜または＞にタッチすると、自動サーチが開始され、受信可能な放送局が見つかったところで止まります。

MEMO

自動サーチで合わせたい放送局に止まらない場合は、電波状況が弱いなどが考えられます。手動サーチで放送局を設定してください。

●プリセットへの登録

自動サーチまたは手動サーチでサーチした放送局を各プリセットに登録します。

1. **プリセット**にタッチします。
2. に長くタッチします。

MEMO

- ☆にタッチしてもプリセットへの登録ができます。プリセット済みの放送局はアイコンが白色で表示されます。
- ☆に長くタッチし、**Yes** にタッチするとプリセットへの登録を解除できます。

●登録した放送局の呼び出し

1. **プリセット**にタッチします。
2. 呼び出したいプリセット番号にタッチします。

MEMO

ステアリングの設定ダイヤルを上下に回しても登録した放送局の呼び出しができます。

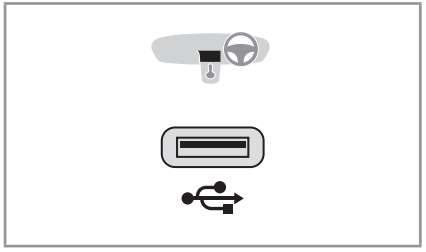
●受信可能放送局リスト

タッチスクリーンの**リスト**にタッチするか、ステアリングの **LIST** ボタンを押すと受信できる放送局のリストが表示されます。

リスト中の放送局を選択するには、タッチスクリーンの放送局リストにタッチするか、ステアリングの設定ダイヤルで放送局を選択して、押し込みます。

USB ／ Bluetooth

●USB ポートへの接続



まず、センターコンソールの USB ポートにオーディオ機器や音楽ファイルが記録された USB メモリを接続します。

●Bluetooth 接続

Bluetooth での接続を行うには、機器のペアリング／接続をします。手順は、「電話機との接続（ペアリング）」の項を参照してください。

●USB ／ Bluetooth モードへの切り替え

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **ソース**にタッチします。
3. 入力ソースにタッチして選択します。

MEMO

入力ソースの切り替えは、ステアリングの **SRC** ボタンを押しても行えます。

MEMO

- ●接続するオーディオ機器の仕様により認識できないことがあります。
- ●認識可能なファイルフォーマットは WAV、WMA（9のみ）、AAC、OGG、MP3です。
  接続するオーディオ機器の仕様により再生できないことがあります。
- ●再生可能な MP3のサンプリング周波数は32kHz 以上です。
- ●ファイル名などの表示できる文字数や種類には制限があります。
- ●USB ポートに、オーディオ機器以外の USB 装置やハードディスクなどを接続しないでください。オーディオが故障するおそれがあります。
- ●ストリーミング再生は電話機の機能に依存します。
- ●音質は、電話機からの送信品質によって決まります。
- ●オーディオファイルの再生・停止などは、電話機で操作しなければならない場合があります。
- ●接続に必要なケーブルは付属していません。

●再生と停止

メディアを接続すると自動的に再生が始まります。
再生と停止は、タッチスクリーンの**プレーヤー**にタッチし、再生／停止のアイコンにタッチして行います。ステアリングの＋と－の音量調整ボタンを同時に押しても再生と停止ができます。

●選曲

ステアリングの設定ダイヤルを回すか、タッチスクリーンの**プレーヤー**にタッチし、＜または＞にタッチすると前後の曲に変わります。
タッチスクリーンの＜または＞に長くタッチすると巻き戻し／早送りできます。

●再生リストの表示

再生リストは以下の手順で表示させます。

1. ステアリングの **LIST** ボタンを押します。
2. ステアリングの設定ダイヤルを回してフォルダまたは曲を選択します。
3. ステアリングの設定ダイヤルを押し込んで決定します。

MEMO

- ●再生リストはタッチスクリーンの**セレクション**や**ライブラリ**にタッチしても表示させることができます。
- ●接続するオーディオ機器の仕様により、ステアリングの **LIST** ボタンで再生リストを表示できない場合があります。

●再生オプション

以下の再生オプションを設定できます。
・ランダム再生
・リピート再生

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **オプション**にタッチして再生オプションを表示させます。

●オーディオの設定

再生時の音質などのオーディオの設定を行うことができます。

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3. にタッチしてオーディオの設定画面を表示させます。

●オーディオの設定項目一覧

項目名	説明
トーン	プリセットから音質を選択できます。ユーザー設定を選択した場合は、任意の音質に設定できます。
バランス	リスニングポジションに合わせた前後左右の音量バランスを調整します。
サウンド	操作音の音量や、車速感応式自動音量補正機能を設定します。
呼出音（着信音）	着信音量を設定します。

MEMO

接続する機器の仕様により**呼出音（着信音）**の設定ができないことがあります。

●ナビ／ TV のレベル調整 *

ナビやテレビの音量は、音量調整ツマミで調整します。

画像ファイルの表示

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. にタッチします。
3. 表示したい画像が格納されているフォルダにタッチします。
4. 画像にタッチして表示させます。

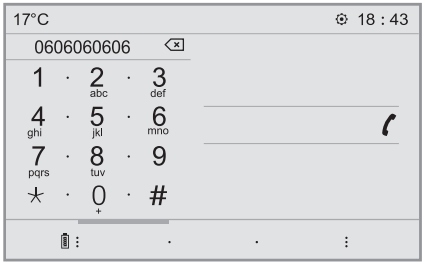
MEMO

●表示できるファイルは、gif、jpeg、bmp、png です。
接続する機器の仕様により表示できないことがあります。
●動画の再生はできません。
●同じ画面に表示される **SMS** のアイコンは日本国内では使用できません。

* 仕様により異なります。

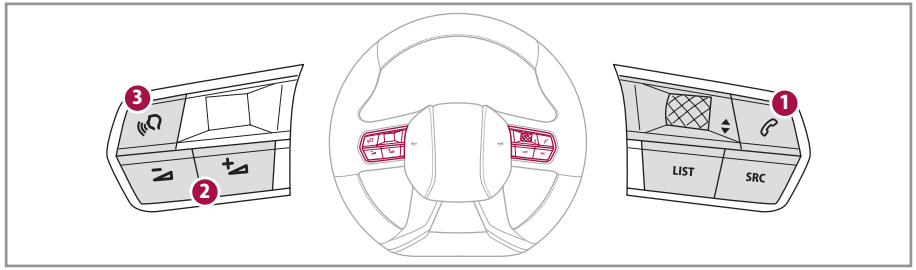
ハンズフリー通話

●ハンズフリーの通話・設定画面への移動



ダッシュボードのアイコンにタッチして、ハンズフリーの通話・設定画面に移動します。

●ステアリングスイッチ



①：**TEL** ボタン
着信があった場合に、短く押すと着信を受け付けます。長く押すと着信を拒否できます。
通話中に短く押すと、メニュー（**終話**、**保留**、**リダイヤル**、**マイク OFF**）を表示します。
通話中でないときに短く押すと、メニュー（**連絡先**、**発着信履歴**）を表示します。
②：音量調整ボタン
通話音量を調整できます。
③：音声認識機能起動ボタン
接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。

通話をする

●電話機との接続（ペアリング）

1. 電話機の Bluetooth 機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します（電話機の説明書を参照）。
2. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
3. **TEL** にタッチします。
4. にタッチします。
5. にタッチして Bluetooth 機器の検索を行います。
6. リストから接続したい電話機を選択します。
7. タッチスクリーンと電話機に表示されたペアリングコードを確認し、タッチスクリーンの **Yes** にタッチします。電話機側でも同様に操作します。ペアリングに失敗した場合は、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしたり、電話機の電源を OFF にするなどして、再度接続を試みてください。

MEMO

●初回接続時は、ダッシュボードの にタッチした後、 にタッチして Bluetooth機器の検索を開始します。
●電話機名の代わりに電話機の機種名が表示される場合があります。
●画面に表示される MirrorLink® は、日本仕様車では使用できません。

⚠警 告

安全上の理由から、Bluetooth ハンズフリーシステムのペアリングは、車両を停止し、EV システムが始動している状態で実施してください。

MEMO

●電話機として一度に接続できる機器は1台だけです。
●利用できる機能はネットワーク、SIM カード、および使用する電話機の仕様（互換性）により異なります。
●EV システムを始動する度に自動再接続を可能にするには、電話機側での設定が必要な場合があります。
●ペアリングは、電話機から Bluetooth デバイスを検索して開始することもできます。

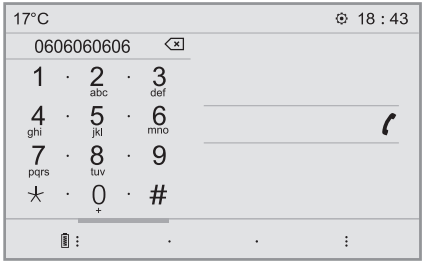
●電話をかける

⚠警 告

安全のため、車両を停止してから発信してください。

発信

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **キーパッド**にタッチして、タッチスクリーンから電話番号を入力します。



3. **発信**にタッチして発信を開始します。

発着信履歴からの発信

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **発着信履歴**にタッチします。
3. リストにタッチして発信を開始します。

MEMO

- ●発着信履歴は、ステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルで選択して表示することもできます。
- ●発着信履歴には、接続した電話機により車両経由で行った発信と受信が含まれています。
- ●電話機により、発着信履歴からの発信ができない場合があります。

連絡先からの発信

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **連絡先**にタッチします。
3. リストにタッチします。
4. 表示された電話番号にタッチして発信を開始します。

MEMO

連絡先は、ステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルで選択して表示することもできます。

音声認識機能を使用した発信

1. 音声認識機能起動ボタンを押します。
2. 「○○○に電話」などと話します。

MEMO

あらかじめスマートフォンの音声認識機能をオンにしてから操作してください。

●電話を受ける

1. 受信通話があると、着信音が鳴り、タッチスクリーンに表示されます。
2. ステアリングの **TEL** ボタンを短く押すか、タッチスクリーンの✆にタッチして通話を受けます。

MEMO

- ●着信を拒否するには、タッチスクリーンの**⬅**にタッチするか、ステアリングの **TEL** ボタンを長く押します。
- ●着信を保留にするには、タッチスクリーンの⏸にタッチします。
- ●受話後、**プライベート通話**にタッチすると、ハンズフリー通話から電話機での通話に切り替わります。
- ●受話後、**マイク OFF** にタッチすると、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。

●電話を切る

電話を切るには、タッチスクリーンの**終話**にタッチする、ステアリングの **TEL** ボタンを長く押す、またはステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルを回して**終話**を選択して、押し込みます。

●着信音量の設定

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3. にタッチします。
4. カーソルを左右に動かして着信音量を調整します。

MEMO

接続する機器の仕様により着信音量の設定ができないことがあります。

●連絡先の並べ替え

連絡先を苗字または名前で並べ替えできます。

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3. にタッチして苗字または名前で並べ替えます。

MEMO

日本語はひらがな、またはカタカナで登録された連絡先のみ並べ替えできます。

●連絡先の検索

タッチスクリーンで名前を入力して連絡先の検索ができます。

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **連絡先**にタッチします。
3. にタッチします。
4. タッチスクリーンから検索したい連絡先の名前を入力します。
5. 表示された連絡先候補の中から連絡先を選択します。

MEMO

●日本語はひらがな、またはカタカナで登録された連絡先のみ検索できます。
● にタッチすると、アルファベットで登録された連絡先の検索ができます。

●応答の保留の設定

着信をしたら自動的に保留に切り替わる設定ができます。

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3. にタッチして応答の保留をオンにします。

●接続設定の変更

Bluetooth による電話機との接続には、ハンズフリー接続およびオーディオ接続が含まれます。通常はどちらの機能も自動的に接続されます。

MEMO

電話機によっては、どちらか１つの接続しかできない場合があります。

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **TEL** にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth 機器のリストを表示します。
4. 接続設定を変更したい Bluetooth 機器のアイコンにタッチします。
5. ボックスにチェックをしてプロファイルを選択します。
6. **OK** にタッチします。

●電話機との接続（ペアリング）を切断する

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **TEL** にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth 機器のリストを表示します。
4. Bluetooth 機器のリストにタッチして接続を切断します。再度タッチすると、接続が再開されます。

●電話機との接続（ペアリング）を削除する

1. ダッシュボードのアイコンにタッチします。
2. **TEL** にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth 機器のリストを表示します。
4. Bluetooth 機器のリスト右上のアイコンにタッチします。
5. 接続を削除したい Bluetooth 機器のアイコンにタッチします。
6. **Yes** にタッチして接続を削除します。

* 仕様により異なります。

Apple CarPlay

Apple CarPlay に対応した iPhone は、USB で接続して iPhone のアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

⚠警 告

安全上の理由から、Apple CarPlay の操作は、車両を停止し、EV システムが始動している状態で実施してください。

●USB で接続する

iPhone をセンターコンソールの USB ポートに接続します。Apple CarPlay に対応したアプリが表示されます。

MEMO

- ●iPhone を接続する前にあらかじめ iPhone の Siri 機能をオンにしてください。
- ●USB で接続した後、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態から Apple CarPlay の画面を表示するには、ダッシュボードの🔗にタッチしてください。
- ●USB で接続した後、ダッシュボードの🔗にタッチすると Apple CarPlay のマップが表示されます。*
- ●プライバシー機能のメッセージが表示されたら **OK** にタッチしてから再接続してください。

●Siri を起動する

Apple CarPlay は Siri による音声操作が可能です。ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押すと Siri を起動できます（Siri が搭載された iPhone を接続している場合のみ）。

MEMO

- ●走行中は Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。
- ●接続する iPhone の仕様により認識できないことがあります。
- ●接続に必要なケーブルは付属していません。
- ●Apple CarPlay を使用するには、Apple CarPlay 対応の iPhone とアプリが必要です。
- ●Apple CarPlay の使用中は、Bluetooth の接続ができません。
- ●iPhone で Apple CarPlay の機能を制限している場合は、制限を解除してください。
- ●Apple CarPlay の使用にはパケット通信料がかかります。

Android Auto

Android Auto に対応したスマートフォンは、USB で接続してスマートフォンのアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

⚠警 告

安全上の理由から、Android Auto の操作は、車両を停止し、EV システムが始動している状態で実施してください。

●USB で接続する

1. スマートフォンをセンターコンソールの USB ポートに接続します。
2. スマートフォンおよびタッチスクリーンにメッセージが表示されることがあります。メッセージに従い操作します。Android Auto に対応したアプリが表示されます。

MEMO

- ●スマートフォンがロックされている場合は、ロックを解除してから再接続してください。
- ●USB で接続した後、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態から Android Auto の画面を表示するには、ダッシュボードの🔗にタッチしてください。
- ●USB で接続した後、ダッシュボードの📡にタッチすると Android Auto のマップが表示されます。*
- ●プライバシー機能のメッセージが表示されたら **OK** にタッチしてから再接続してください。

●音声認識機能を起動する

Android Auto の音声認識機能を使用するには、ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押します。

MEMO

- ●スマートフォンをUSBで接続し、Android Autoの設定を完了すると、スマートフォンが自動的にBluetooth接続されます。
- ●走行中は Android Auto の動作が制限される場合があります。
- ●接続するスマートフォンの仕様により認識できないことがあります。
- ●接続に必要なケーブルは付属していません。
- ●Android Auto を使用するには、Android Auto 対応のスマートフォンとアプリが必要です。
- ●Android Auto の使用にはパケット通信料がかかります。

* 仕様により異なります。

プロファイルの設定

タッチスクリーンの設定を、個別のプロファイルとして3つまで、または1つの共有プロファイルとして記憶できます。プロファイルには、タッチスクリーンの一部の設定を記憶できます。

●プロファイルを設定する

1. タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2. にタッチします。
3. 設定したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンの**プロファイル 1**、**プロファイル 2**、**プロファイル 3**、または**共有プロファイル**にタッチします。
4. にタッチします。
5. タッチスクリーンからプロファイルの名前を入力します。
6. **OK** にタッチして入力内容を保存します。
7. にタッチしてプロファイルをオンにします。

MEMO

共有プロファイルは名前の設定はできません。

●プロファイルの呼び出し

1. タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2. にタッチします。
3. 呼び出したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンの**プロファイル 1**、**プロファイル 2**、**プロファイル 3**、または**共有プロファイル**にタッチします。
4. にタッチします。

●プロファイルの初期化

1. タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2. にタッチします。
3. 初期化したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンの**プロファイル 1**、**プロファイル 2**、**プロファイル 3**、または**共有プロファイル**にタッチします。
4. ✔ にタッチします。
5. 00.0 にタッチします。
6. **Yes** にタッチします。プロファイルが初期化されます。

⚠警 告

安全上の理由から、プロファイルの設定は、車両を停止し、EV システムが始動している状態で実施してください。

FAQ（よくある質問）

ナビゲーション（地図／設定）の操作については、別冊の取扱説明書をお読みください。

質問	回答	対応方法
ラジオの受信感度が徐々に悪くなり、記憶させた放送局が表示されず、すべて同じ周波数が表示されてしまいます。	周囲に放送局がなく、電波を受信することができません。	その場所から移動してください。
	周囲に電波を遮るものがあり、電波を受信することができません。	
	アンテナが故障しています。	当社指定サービス工場にお問い合わせください。
プリセット設定を選択した後、低音・中･高音の個別設定を行うと、プリセット設定がユーザー設定になってしまいます。	プリセット設定と低音・中・高音の個別設定は同時に行えません。	どちらか片方で音質の調整を行ってください。
USB メモリを接続してから、長い時間反応がありません。	USB メモリを最初に接続すると、メディアに含まれる曲名やアーティスト名を読み込むために少し時間がかかります。	
USB メモリの音楽の再生に時間がかかっています。	音楽ファイル以外のファイルの読み込みには、時間がかかることがあります。	該当のファイルを削除してください。また、ディレクトリの階層を浅くしてください。
自動再生が始まりません。	一部の機器は自動再生に対応していません。	機器の側で再生を行ってください。
ラジオや USB などの入力ソースによって音質が異なります。	ボリュームや低音・中・高音などの音質設定は、入力ソースごとに保存されています。	入力ソースごとに最適な設定を行ってください。
EV システムを停止してもしばらくの間オーディオが作動しています。	EV システムを停止してもしばらく作動しますが、走行直後は最大40分で自動的に電源が切れます。	引き続きオーディオを使用したい場合は、EV システムを始動してください。

質問	回答	対応方法
Bluetooth で電話機を接続できません。	電話機の Bluetooth 機能がオフになっているか検索可能な状態になっていません。	Bluetooth 機能を ON にしてください。または、検索可能な状態にしてください。
Bluetooth で接続した電話機の音量が小さくて聞き取れません。	受話音量はオーディオ本体と電話機の両方で調節できます。	電話機の音量を上げる、または、オーディオの音量を上げてください。
電話帳に同じ宛先が複数載っています。	SIM カードと電話機本体の両方に同じ宛先が載っています。	SIM カードまたは電話機本体の電話帳のみを表示させてください。
電話帳の並び順がアルファベット順になっていません。	電話機での並び順設定が優先されています。	電話機側で並び順を変更してください。
Apple CarPlay 、Android Auto を使用できません。	接続に使用しているケーブルによっては Apple CarPlay 、Android Auto が有効になりません。	ご使用のスマートフォンに付属のケーブルを使用して接続してください。
SMS（ショートメールなど）が受信できません。	SMS（ショートメールなど）の送受信には対応していません。	
曲名や曲の時間が表示されません。	電話機の種類によっては、表示されないことがあります。	
Bluetooth 接続した iPhone を USB ポートにも同時に接続しましたが、音楽ファイルを再生できません。	iPhone を電話機としてハンズフリー接続した場合、自動的にストリーミング機能が優先して USB 再生はできません。	一度 USB ケーブルをはずして再度接続することで、USB 再生が優先されるようになります。
再生中の音楽の曲名などが正しく表示されません。	バージョンにより表示されない場合があります。	別の文字を使用してタイトルやフォルダ名を変更してください。

この取扱説明書は、お車のオーナーが最良の状態で車を使用し、維持できるように作成されています。

装備の解説は、このモデルの最上級仕様にもとづいています。

個々のお車においては、販売国の仕様によって、掲載されている装備のいくつかが該当しない場合があります。

テクニカルデータ、仕様、アクセサリーについては予告なく変更される場合があります。

取扱説明書内のイラストは、正確な描写を目的に作成されておりませんので、実車と一致しない場合があります。

DS AUTOMOBILES の文書による許可を受けていない、この取扱説明書に掲載されている写真、イラスト、文章の一部または全部の転載、複写を禁止します。

編集発行　Groupe PSA Japan 株式会社　2020/11

DS AUTOMOBILES

SPIRIT OF
AVANT-GARDE